**告訴状**

〒920-0912金沢市大手町6番15号

金沢地方検察庁御中

被告訴人

（幇助犯）本年7月告訴分

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　金沢弁護士会所属　木梨松嗣弁護士

金沢弁護士会所属　岡田進弁護士

金沢弁護士会所属　長谷川紘之弁護士

金沢弁護士会所属　若杉幸平弁護士

元名古屋高裁金沢支部裁判長　　小島裕史

元金沢地方裁判所裁判官　　　　古川龍一

（共謀共同正犯）

松平日出男

住所　金沢市糸田新町一七番八号（平成四年当時）

安田敏

住所 金沢市花里町壱五の五番地藤村アパート二階一号室

＜2007年3月の情報　住所 石川県鳳至郡能都町七見へ４０番地＞

現在は石川県鳳至郡能都町鵜川の町営住宅に家族とともに住み金沢市に単身トラ ック運転手として働き行っているらしい。

梅野博之

金沢市平和町二丁目八番三一号県営住宅一六棟一〇号（平成四年当時）

金沢市泉野町六丁目１９－３２（平成一五年当時）

池田宏美

住所 石川県石川郡野々市町本町六丁目一二番一三号（平成四年当時）

安田繁克

住所 金沢市東力四丁目一八六番地二（平成四年当時）

多田敏明

住所 金沢市間明町一丁目一一五番地（平成4年当時）

浜口卓也

石川県鳳至郡能都町（現在の鳳珠郡能登町）真脇出身

住所 金沢市粟崎付近（平成11年当時の情報）

[所在地](https://www.google.co.jp/search?biw=1131&bih=618&q=（有）浜口商運+所在地&stick=H4sIAAAAAAAAAOPgE-LWT9c3LMnKKjArs9SSzU620s_JT04syczPgzOsElNSilKLiwGv9rFWLgAAAA&sa=X&ved=0ahUKEwin2aSh7N7QAhVFErwKHTN_Bx4Q6BMIbzAN)： 〒920-0209 石川県金沢市東蚊爪町ラ19

有限会社浜口商運代表

東渡好信

住所・石川県七尾市　（さんちゃん、とも呼ばれる。理由は不明。）

大網健二

石川県鳳至郡能都町宇出津（大橋組）出身

住所・愛知県名古屋市在住（平成14年11月頃の情報

竹沢俊寿

住所・金沢市野町地内　事件の舞台となった市場急配センター、金沢市場輸送の平成4年当時における会長。

　左記の如く、被告訴人らは平成３年から平成４年にかけ、市場急配センター（**所在地：**〒920-0025 石川県金沢市駅西本町５丁目１０−２０）を中心に、同社の女子事務員であった安藤文（当時21歳）が、同じく同社の社員運転手として稼働していた告訴人廣野秀樹が行為を持っていたことを利用し、順次共謀の上、同人が同女に執拗に行為を迫っていたかの外形的な事実を作出し、二人を精神的に追い詰め、告訴人ら二人に生命の危険を発生させ、その事実を認容し、殺人未遂の結果を生じさせたものである。その所業は人知を超越したはるかに悪質なものであり、さらに補助犯である弁護士、裁判官の社会的信用と職務権限を利用し、告訴人廣野秀樹に全ての責任があり、被害妄想を伴った責任転嫁であると、事実審の事後審である小島裕史裁判長において事実認定を確定せしめ、被害者安藤文及びその家族の被害感情を増幅させるとともに、本来受けるべき救済の利益を根もこそぎ奪った。被害者安藤文に対する生命の危険の発生ははるかに具体的なものとなり、急性硬膜下血腫から２ヵ月ほどの間意識不明の状態となり、植物人間となることを危惧された。21歳という若さにおいて、未婚女性でもありながらその後も重篤な後遺障害を背負うに至った。告訴人母親も不当な判決によって余生を台無しにされ、絶望感もあってのことと想像されるが、78歳において統合失調症を発症し、数年後の平成21年8月31日には脳出血の再発を起こし、半身不随となり寝たきりの状態となって快癒の見込みのない長期の医療施設の入院となって87歳の現在に至っている。被告訴人らは何一つ責任に問われないまま、社会の批判を浴びることもなく平成4年の結果発生以来、なかには運送会社の社長、学校法人の理事長ともなりながら、警察、検察がとりあわず放置することを期待しながら平穏無事な生活を過ごしてきた。その罪責ははかりしれないものがある。被告訴人らの所為、所業はまさに天人ともに許さざるものであって、人間間における基本的な信頼関係を根底からなし崩しにした危険性、それに対する刑事政策としての社会防衛の観点からも、世人の想像を絶した悪行に見合う想像を絶する厳罰に処するべきであって、共同意思の一体性を重視し、一律懲役25年という伝説的で苛烈な刑事罰を求め、ここに告訴に及ぶ。なお、本年7月に提出済みの告訴状の通り、幇助犯としての弁護士、裁判官としての立場の利用はさらなる悪質性と社会的悪影響が認められるので、一律無期懲役という刑事罰を求めている。この世界に居場所を認めない、逮捕状の執行としての身柄の確保と同時に、行きてまた還らず、文字通りの娑婆捨て峠へと突き落とす大願成就を目指す。

適用法条 　刑法弟六十条、同第百九十九条、同二百三条、刑事訴訟法第二百三十九条

罪名、罰条 共謀共同正犯による殺人未遂事件

〒９２７－０４３１　石川県鳳珠郡能登町宇出津山分１０－３

廣野秀樹

平成28年11月30日

記

告訴状受理の電話連絡を受けて、テーマ性を重視した再編成での再スタートについて

:CATEGORIES: 2016年11月提出予定の告訴状 :TAGS: 告訴状の下書き,金沢地方検察庁,電話連絡

2016-11-12　土曜日　09：00　＞＞ ［［　←これからの記述範囲の開始時刻］］＞＞

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/11/08 09:40： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/795788091160031233> ： 引用→　 金沢地方検察庁の検察官から電話。

ツイート：kkhirono（告発-金沢地方検察庁御中ツイッター）：2016/11/08 12:49： <https://twitter.com/kk_hirono/status/795835657461649408> ： 引用→　 本日、金沢地方検察庁の宮下検察官より、木梨松嗣外金沢弁護士会所属弁護士4名、元裁判官2名を殺人未遂事件の幇助犯として本年7月8日付で提出した告訴状を受理する旨の電話連絡を受けました。今月一杯を目途に共謀共同正犯の告訴状を提出。＜改行＞https://t.co/vK2lw5hjlQ

　突然の電話連絡を頂いた直後に、時刻の確認と記録のため投稿したツイートです。長くて５分程度の会話で、電話を切った直後の投稿だったので、電話が掛かったのは9時35分ぐらいかと思います。

　その後、しばらく思案して、状況に大きな変化があったことを公開したのが2つ目のツイートになりますが、投稿のアカウントが異なり、別のアカウントとしてリツイートしたように思います。

　当日は、福岡市の博多で大きな路面崩落事故がありました。そのあとには、アメリカの大統領選挙があって、予想外の結果となったことから、テレビの報道もそれ一色という感じでした。

　11月8日が何曜日であったか、すぐに思い出すことは出来ませんが、東京のイベント会場において木製のジャングルジムが火災を起し、5歳の男の子が死亡する、という悲惨な事故もありました。学生の展示物が引き起こしたという事故で、注目していましたが、続報を目にすることはなくなりました。

　法科大学院の教員という軽県もあるモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）が、その火災事故に対して、とても厳しい内容のツイートをやっていて、これはどうかと考えていたタイミングで、御庁から電話連絡があったのも、虫の知らせのように思えるところがありました。

モトケン(@motokentw)/2016年11月08日 - Twilog <http://twilog.org/motoken_tw/date-161108/asc>

　上記のTwilogで調べたところですが、次のツイートがそれになるかと思います。とても深みのある内容です。

ツイート：motokentw（モトケン）：2016/11/08 09:00： <https://twitter.com/motoken_tw/status/795778086440615936> ： 引用→　 自分や家族の安全を図るためには、危険を察知する必要がある。しかし、親が子を危険から遠ざけることだけを考えて育てる、子に危険察知能力が身につかない。危険を知り、教えることが大事になる。

ツイート：motokentw（モトケン）：2016/11/08 09:07： <https://twitter.com/motoken_tw/status/795779857808388096> ： 引用→　 最近、小学生の算数の試験で授業で教えた解法以外の方法で正解を出したら点数をもらえなかった、という馬鹿げた話があったが、そんな教育は、自分で学び自分で考えることを否定するものだから、危険察知能力を身につけるのを邪魔しているようなものだ。

　ここ最近、かれこれ半月から一月ほど前からになると思いますが、私の頭の中で「弁護士脳汚染除去装置」という言葉が、ときおり浮かび上がるようになっていました。

　Twilogで調べれば、その都度記録を残しているので正確な流れを確認することが出来ると思いますが、まずアニメの宇宙戦艦ヤマトの初回あたりの放送をYouTubeの動画で視聴しました。一回分の放送を丸ごと一つの動画にしていないものもあるので、断片的な視聴になりました。

　その数日後に、珠洲市の外浦の海岸にバイクで魚釣りに行ってきました。夕方から初め夜釣りがメインの釣りでした。星空など眺めながら、やたらと頭に浮かんできたのが、YouTubeの動画で聴いた宇宙戦艦ヤマトのエンディングのテーマ曲でした。

　海に眠るようにずっと長い間、記憶の底に沈んでいた懐かしい曲でしたが、歌詞の「あの娘」が真っ赤なスカーフをどうしたのか気になっていました。「巻く」としか思い浮かばなかったのですが、それだと歌の歌詞としては陳腐すぎると考えていました。

　数日後になるかと思いますが、思い出して調べたところ、スカーフは「振っていた」ものだとわかりました。その時だったように思いますが、YouTubeの関連動画の紹介に、銀河鉄道999が出てきて、前から気になっていた同作品について調べました。

　それが御庁から電話連絡を頂いた8日の前日のことで、7日のことであったように思います。7日は小木港にアジ釣りに行ったように思いますが、その出発前にネットで目的で調べた何かを見たように憶えています。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/11/07 14:23： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/795496880369180672> ： 引用→　 真っ赤なスカーフ FULL【歌詞付き】 <https://t.co/nr9JWRe0gy>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/11/07 14:30： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/795498657663553536> ： 引用→　 Galaxy Express 999 ゴダイゴ 特別編集版 銀河鉄道999op <https://t.co/NtoO1CzJ2k>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/11/07 14:33： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/795499399606661120> ： 引用→　 【公式】銀河鉄道999 第1話「出発のバラード」 <https://t.co/h7RC42P5Xn>

　あらためて、ふと気がついたのですが、Galaxy Expressという英語の直訳が銀河鉄道ということになりそうです。エキスプレスという言葉は、ちょうど昭和から平成に移り変わる時期に、運送会社の社名の一部として目にすることが多くなったことで、思い出に残る言葉です。

奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語(@hironohideki)/「弁護士鉄道」の検索結果 - Twilog [http://twilog.org/hirono\_hideki/search?word=%E5%BC%81%E8%AD%B7%E5%A3%AB%E9%89%84%E9%81%93&ao=a&order=allasc](http://twilog.org/hirono_hideki/search?word=弁護士鉄道&ao=a&order=allasc)

　上記のようにTwilogで調べたところ、私が初めて「弁護士鉄道」という言葉を使ったのは次のツイートだと確認しました。思っていたほど前のことではなく、昨年の2月ということになっています。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2015/02/13 14:24： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/566105495648620544> ： 引用→　 太田裕美 さらばシベリア鉄道 - YouTube <http://t.co/KwS5qry3NL> この巨躯を聴いていると「さらば弁護士鉄道」という言葉が頭に浮かんできました。このテーマで行きたいと思います。よろしくです。

　ここでは「さらばシベリア鉄道」という楽曲をインスピレーションのように書いていますが、関連性を意識するようになったのは連続テレビ小説あまちゃん、で「銀河鉄道の夜」のことを見ていたことがベースにあったように思います。

　銀河といえば宇宙や惑星を当然にイメージしますが、当初、鉄道の部分は、インフラすなわち社会基盤ということを強く意識し、それは司法における弁護士の歴史や沿革を意味するものととらえてきました。基幹という意味でこれは今後も変わりません。

　9日の夕方、銭湯に入っている時に、次に提出する告訴状にテーマとしての副題を添えることが頭に浮かんできました。銭湯というのはもともとリラックス出来る場と思いますが、小さい頃、母親と女湯に入っていた頃と余り変化のない古い銭湯なので、広い空間思考になることもあります。

　もともとTwitterのプロフィールの名前は「奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語(@hironohideki)」としております。これは宇宙空間を見据えた未来と、神話という歴史の始まりを対象にしたテーマ性となっております。

　今朝は、コードネームのようなものをつけることも頭に浮かんできました。このヒントは、ずっと私がパソコン環境として使っているUbuntuに、開発段階からコードネームが使われていることがあります。野生の動物とも関連付けられています。

Ubuntu 16.10までのUbuntuのリリースとコードネームとマスコット | Ubuntuアプリのいいところ <http://ubuntuapps.info/blog-entry-421.html>

　8日の御庁からの電話連絡が大きな転機となりましたが、銀河鉄道という流れがその前にありました。次がその11月8日のTwilogになります。

奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語(@hironohideki)/2016年11月08日 - Twilog <http://twilog.org/hirono_hideki/date-161108/asc>

　私は気になったことをすぐに調べるのではなく、封印のようなかたちで留保し、別の機会に活かすため温存するようなところもありました。知らないでいることがプラスに働くような状態、より集中できる機会のためにとっておくようなものかと思います。

　銀河鉄道999は、テレビのアニメ番組として見た記憶がありましたが、何時頃の時期であったのか判然としませんでした。宇宙戦艦ヤマトの数年後の放送だとは思っていましたが、ヤマトとは異なり、生活と結びついた記憶もありませんでした。

／＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（引用開始）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ 引用URL＞＞＞＞：https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%8A%80%E6%B2%B3%E9%89%84%E9%81%93999(%E3%82%A2%E3%83%8B%E3%83%A1) 銀河鉄道999 (アニメ) - Wikipedia

フジテレビ系列で、1978年9月14日 - 1981年3月26日に全113話 + テレビスペシャル3話が放送され、翌1982年に総集編が放送された[注 1]。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（引用終了）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊／

　1978年の放送開始となっているので、昭和53年9月は中学2年生の時になりそうです。宇宙戦艦ヤマトも同じテレビのアニメ番組として、中学生の1,2年生の時に見たという記憶でしたが、小学校6年生の頃ということも可能性として考えていました。

　次の情報も同じ11月8日の夜に調べて知りました。

／＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（引用開始）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ 引用URL＞＞＞＞：https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%8A%80%E6%B2%B3%E9%89%84%E9%81%93999 銀河鉄道999 - Wikipedia

宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』とモーリス・メーテルリンクの『青い鳥』をヒントに執筆が始められ [3][4]、全体的に寓話性や教訓性がやや強いものの、物語や登場人物の印象的な描写によって多くのファンを得た。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（引用終了）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊／

　宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』には関心があって、YouTubeの動画でアニメのようなものを視聴したこともあるのですが、初めの方を少し見ただけで、内容はさっぱりわかっていません。

　宮沢賢治という有名な人物のことも少ししか知らないのですが、岩手県の遠野市の出身と聞いたことがあり、個人的にはその遠野市を長距離トラックで通過した頃の思い出として、考えるところの大きな存在でした。

　遠野市を朝方に通過した時、他に見たことがないぐらい霜が凄かったことが強く印象に残っていて、それが最近はさっぱり見ることがなくなった秋霜烈日という言葉と一緒に思い出すことがほとんどでした。検察庁を代表する言葉であったはずです。

　銀河鉄道を連想させる風景としては、同じ頃、同じ岩手県の雫石町で夕方遅い時間に見た風景がありますが、遠野市で見たものは朝もやの風景で、それと似たものは同じ頃、九州の由布院で見たことがあり、雲海のような風景になっていました。

　『青い鳥』の物語というのはさっぱりわかりませんが、私も題材をモチーフとして告訴状を小説のような自由な構成で書き、それを目的概念というかコンセプトとして表現したいと考えました。

2016-11-12　土曜日　11：58　＜＜ ［［　←これまでの記述範囲の終了時刻］］＜＜

社会に害悪と負担増をもたらす、寄生虫的危険生物としての弁護士脳汚染

:CATEGORIES: 2016年11月提出予定の告訴状 :TAGS: 告訴状の下書き,社会問題

2016-11-12　土曜日　14：13　＞＞ ［［　←これからの記述範囲の開始時刻］］＞＞

　まだ洗い物を済ませていませんが、遅い時間での昼食を済ませたところです。昨夜の残りの鯛チリの鍋を食べましたが、まだずいぶん残っています。火を入れなおすと切り身が固くなって味がずいぶん落ちていました。全体に味もくどくなっています。

　真鯛は一昨日の夕方に小木港の堤防で釣ってきたものです。頭から尻尾の先までのばすと45センチありました。一人で食べるには持て余す量の大きさで、鍋の水の量に対して栄養分が出すぎて、くどくなり過ぎている感じですが、それだけ強い栄養分を出す見事な鯛です。

　火を入れなおす前は、おでんの牛すじ肉などと同じように、完全なゼラチン状態で固まっていました。とにかく強い生命力を感じさせる立派な真鯛でした。これだけの大きさの真鯛を釣ったのも初めてのことで、それまでの記録が28センチでした。

　小木港では80センチを超える真鯛も釣れているので、45センチというのは、さほど大きなサイズとも思いませんが、今は真冬に水温の安定した深場に移るため栄養分を蓄えるための荒食いをする時期と言われています。

　真鯛は大きくなると警戒心が強くなり、なかなか釣れません。大きな真鯛の狙い方としてはハリスを長くすると言われています。コマセに群がる小魚から離れた場所に漂うの付けエサを食べるため、ハリスを長くする必要があるとのことです。

　船からの釣りだと9メートルほどハリスをとることもあるそうですが、堤防からの釣りでも4.5メートルほどとる人もあるそうです。普段はアジ狙いの仕掛けで、ハリスも絡みにくい長さにしていますが、それでも20センチ前後の真鯛はよく釣れます。

　前回の項目で書きましたが、先日、珠洲市の外浦の磯の方に夕方から夜釣りをやってきました。ようやく小アジが釣れたのは完全に暗くなってからで、夕方のまだ明るい時間は何一つまったく釣れませんでした。

　これは小木港の堤防でもよくあることで、最近はその傾向がより強くなっているのですが、そういうアジが釣れない時間に、小木港や宇出津の堤防では、小鯛がよく釣れる傾向があります。

　外浦の磯では、暗くなって小アジが釣れ出したあとに、何匹か小鯛が釣れました。6,7匹小鯛が釣れたように思いますが、針掛かりの浅いものなどは逃がして、一人で食べる分として3匹持ってきました。

　比較的大きく見えた真鯛でも家に持ってきてから測ると26センチほどで、もう一つが24センチぐらい。もう一つが20センチ以下のかなり小さいサイズのもので、針を飲み込んでいて助かりそうもなかったので、持ってきた小鯛でした。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-12 14:51 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/797315978967138308> 2016-11-0417.12.25.jpg <https://t.co/n3aL8QSDfP>

　上記の写真付きツイートが、当日の夕方の外浦の磯での写真になります。海はうねりが強く、大きな潮目が出来ていましたが、エサ取りもほとんどありませんでした。こういうときは大物がうろつき、小魚が隠れているとも言われています。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-12 15:00 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/797318073854267392> 2016-11-0512.38.11.jpg <https://t.co/y0nw2wmmaE>

　上記が、前の夜、外浦で釣ってきたさばくため冷蔵庫からまな板に出したところです。アジは大きいもので23センチ程度だったと思いますが、小さいのは痛むのも早いので、ほとんど逃してきました。

　次にアップロードするのが、問題の寄生虫の写真です。2つアップロードします。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-12 15:07 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/797319840209899520> 2016-11-0513.09.11.jpg <https://t.co/095qPruDQq>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-12 15:07 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/797319795393720320> 2016-11-0513.09.03.jpg <https://t.co/SxbeTDo8D0>

　この時はまだ寄生虫とはわからなかったのですが、魚の内臓の一部とは思えず、それもエラの上の頭の奥のような部分から出てきました。この部分はどの魚でも血合いの塊があるので、特に念入りに水洗いをする部分です。

　次がさばいた後の3匹の小鯛の写真です。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-12 15:13 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/797321472913965057> 2016-11-0513.12.23.jpg <https://t.co/VRiwjPg8mO>

　生物的な異様な物体が出てきたのは、意外なことに一番小さな小鯛でしたが、余り綺麗な色をしておらず、痩せているように見えていた小鯛でした。このような小鯛は、助かりようがなくても持ってこないようにしたいと考えています。

　魚の寄生虫といえば、春から初夏の時期、石川県ではガンドと呼ばれる60センチから80センチ以下のサイズのブリに大きと言われています。スーパーで見ても極端に痩せたものがいて、値段もずいぶん安いです。浜値が1匹30円とか聞いたこともあります。

　寄生虫はスルメイカにも多く、火を通さず刺し身で食べる場合、調理に気をつける必要があると聞いていますが、アニサキスのような寄生虫は、注意深く観察して見つけることが出来る米粒以下の大きさだと聞いていました。

　魚の体内から出てきた以上、寄生虫の可能性があるとは考えていましたが、虫のサナギのような寄生虫が魚にいるという概念や知識はまったくなかったので、そのうち調べてみようと思いました。

　思っていたより早く調べることになったのですが、「真鯛　寄生虫」とGoogleで検索をすると、思っていた以上に簡単に情報が見つかり、それもぴたりと当たっていました。次のツイートが調べた時のものになります。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/11/08 11:24： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/795814176841170944> ： 引用→　 台所で遭遇したら失神確実。タイや魚の口の中に生息する“タイノエ(ウオノエ)”が恐怖すぎる。 | 珍獣図鑑アルパカパカス <https://t.co/hsMgjsCK5d>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/11/08 11:28： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/795815228684587008> ： 引用→　 【閲覧注意】タイノエの姿が恐ろしすぎると話題に！！ <https://t.co/2TMo7DAgoD>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/11/08 11:33： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/795816440519688193> ： 引用→　 【グロ注意】アジの舌に寄生する「ウオノエ」！見つけたらトラウマになるかも・・・ <https://t.co/sjj0esP3XX>

　最も驚きの発見だったのが、アジにも同じような寄生虫がいるということでした。それもアジの場合、舌を腐らせ、寄生虫が舌のかわりになって栄養分を横取りする、という話で、真鯛も同じですが、寄生した魚が死ぬと、外に出て別に寄生する魚を探すという話です。

　このタイノエという寄生虫は、魚に寄生すると魚の脳を操縦席のように操る、というような話も書いてあって、まるで地球外生物やSF映画の怪物のモチーフのように思えました。

　真鯛の場合、1メートル近くまで成長すると聞いており、60センチを超えるものはほとんどいないと言われる黒鯛でも、体の一部が化石のようになった写真を見たことがあり、それもグロテスクでしたが、苔が生えるようになれば、寄生虫がいても不思議はないという思いはありました。

　私が実際に見た寄生虫は、20センチ以下のたぶん17,8センチというサイズの真鯛でした。天寿を全うすれば1メートルぐらいまで大きくなる魚なので、人間で言えば小学生以下の段階とも考えられます。

　寄生虫という生物に対する危険性を身近に感じる機会になりました。アジにもいるというのはさらなる驚きでしたが、アジは最も身近に釣れる魚であり、それだけ沢山の数のアジを、干物作りを含めさばいてきましたが、今のところ寄生虫らしいものを見たことはありません。

【閲覧注意】寄生虫が、擬態。舌を食べた後、舌に化けるｗｗ - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=lhkwryxu0SU>

　新たにみつけた上記の動画が分かりやすかったですが、ウオノエの別名がタイノエとなっているようで、舌を食べて舌に化けるという手口は同じようです。強烈な存在感ですが、海が身近にありながら今まで聞いたこともなく、知らずにいたことが、より不思議にも思えてきました。

　次が健康な真鯛の写真になります。エラを取り出した頭の部分が特にきれいでしたが、キジハタなども内蔵がきれいなことが多く、アジでも以前はたまにそういうものが釣れて、同じアジとは思えないような上品な味でした。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-12 16:51 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/797346072653762560> 2016-11-1119.47.16.jpg <https://t.co/LUVfQtkOdo>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-12 16:49 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/797345654351630337> 2016-11-1021.00.46.jpg <https://t.co/5zwO0oIJKI>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-12 16:49 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/797345457567514624> 2016-11-1020.33.24-1.jpg <https://t.co/gAzfQqlE4h>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-12 16:48 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/797345351590027264> 2016-11-1017.56.39.jpg <https://t.co/2fsfA3XI6S>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-12 16:48 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/797345200641216512> 2016-11-1017.52.27.jpg <https://t.co/YKJpBvqqwE>

　これだけの大きさの真鯛は釣ったのもさばいたのも初めての経験だったので、他との比較も出来ないですが、とにかくお腹の中がきれいで、以前は同じようにキレイなお腹のアジが釣れていたことも思い出した。脂の乗ったアジもほとんど釣れなくなっています。

　海の中の環境も変化があるものと想像していますが、海の中の世界というのは目に見ることが出来ないだけに、気になる、自分の経験としてのデータのみが意味を持つ世界です。ナブラという海面の変化はわかりやすいものですが、それもさっぱり見る機会がなくなっています。

　私生活では海に魚釣りに出かけて自然に触れる機会がありますが、絶好調だと思われるのが主にTwitterにおける弁護士の世界です。

　私が主に小木港でのアジ釣りを始めたのは2010年の10月だったと思います。2011年の3月の東日本大震災の前年だったと記憶しています。小木港では大きなアジが釣れるという話は聞いていましたが、初めはなかなかバイクで小木まで行く気にはなれずにいました。

　その頃は、ほとんど小木港の港の中の堤防でアジングをやっていました。始めた頃はアジングでもよく釣れたし、ほぼ例外なく21センチ以上の大きさのアジは脂が乗って、非常に美味でした。

　大きすぎるアジは食べても不味いという話も耳にはしていましたが、目指す30センチ以上の大きさのアジが釣れることはありませんでした。27から29センチというサイズはよく釣れていましたが、35センチから40センチぐらいのアジも沢山釣れることがあるとは聞いていました。

　「参考資料扱いにした過去の告訴状の下書き」には書いてきたと思いますが、3月の終わり頃、九十九湾で37センチのアジを手で捕まえました。まるまるとした大きなアジでしたが、そのアジを焼いて食べた時、脂が乗っておらず老いてしまったアジだと感じました。

　その後も、大きくて脂の乗ったアジを釣って食べることはありましたが、経験から個体差がすごく大きいと感じています。極端に脂の乗ったアジは、サンマ以上に燃えやすく焼いているとすぐに火がつき、煙にいぶされたような焼き加減で、魚とは思えないような味わいがありました。

　私がここでお知らせしたいのは、私のアジ釣りの経験を参考に、現在が法クラや弁護士の実態を知り、記録する豊潤の海であり、その絶頂期だと考えることです。

　最近は小木港でもアジがわずかにしか釣れないことが多くなっています。渡船で離れ堤防に行けば、数は釣れるのですが、以前のような美味しいアジは釣れなくなっており、痩せたものも多いです。

　刺し身やタタキ、アジフライなどにすれば、脂のないアジもそれなりに美味しいのですが、以前の良質のアジを知るだけにさみしい気持ちにもなります。

　宇出津のスーパーでも長崎の対馬産や島根の浜田港産という脂の乗ったアジの開きを買って食べることはありましたが、同じアジの脂でも、以前小木港で釣れていたものとは、鮮度もあるのでしょうが脂の質がずいぶん違って感じられました。寒ぶりに近い脂ではありました。

　11月7日に小木港の堤防でアジ釣りをした時も、アジが2匹しか釣れませんでした。夕方のマズメの時間帯の釣りなので、以前では考えられないことです。今年はアオリイカも不調でした。これで3,4年ぐらい不調が続いています。

　キジハタというのもほとんど釣れなくなりました。今年は1匹しか釣れていないかもしれません。数年前は短時間で数えきれないほど釣れたこともありました。

　漁師ではなく魚釣りで生計をたてているわけではないので、寂しい思いをしているだけのことですが、それが本業の漁師となればまさに死活問題であり、大漁祈願が神社への信仰やお祭りにもなっているのだろうと、考えるようにもなりました。

　職業への不満を強く目にする機会が多いのは、Twitterにおける弁護士業界であり、その代表格が深澤諭史弁護士であります。7月の告訴状では、「弁護士深澤まつり」としてご紹介したかもしれません。

　時刻は11月15日11時35分になっています。本書で取り上げておきたいことが次から次に出てきて、情報の収集にも時間を使っていました。限られた期間内の作成となるので、大まかに作業を実行していきたいと思います。

　項目の内容が中途半端に途切れることもあるかもしれませんが、それもできるだけ、別の場面でフォローというか補足を心がけたいところです。

2016-11-15　火曜日　11：42　＜＜ ［［　←これまでの記述範囲の終了時刻］］＜＜

「NHKで刑事弁護の神様」という刑裁サイ太のツイートと、勇敢なる者「えん罪弁護士」から紐解く弁護士業界の問題性

:CATEGORIES: 2016年11月提出予定の告訴状 :TAGS: 告訴状の下書き,刑裁サイ太,高野隆弁護士

2016-11-19　土曜日　16：29　＞＞ ［［　←これからの記述範囲の開始時刻］］＞＞

　タイトルというか項目名だけ書き、Twitterに投稿して、それから数日間中断していました。次のツイートがそれになります。

ツイート：kkhirono（告発-金沢地方検察庁御中ツイッター）：2016/11/15 22:01： <https://twitter.com/kk_hirono/status/798375333837697024> ： 引用→　 \* 「NHKで刑事弁護の神様」という刑裁サイ太のツイートと、勇敢なる者「えん罪弁護士」から紐解く弁護士業界の問題性

　ポイントとなるものとして、まず次の３つのツイートを挙げておきたいと思います。こういうのも時間が経つと探し出すだけで大変な手間と時間の浪費ということになります。

ツイート：uwaaaa（サイ太）：2016/11/16 00:40： <https://twitter.com/uwaaaa/status/798415441001644032> ： 引用→　 宮崎駿と刑事弁護の神様と呼ばれる弁護士の風貌が似てるからツイートしただけなのにバカじゃねーのコイツ

ツイート：uwaaaa（サイ太）：2016/11/14 06:02： <https://twitter.com/uwaaaa/status/797771705309507584> ： 引用→　 NHKで刑事弁護の神様

ツイート：okaguchik（岡口基一）：2016/10/06 16:56： <https://twitter.com/okaguchik/status/783802979883229184> ： 引用→　 元赤とんぼ准教授不倫の結末“嘱託殺人”の異例判決＜改行＞検察側は13年を求刑していたが，結果は懲役3年6カ月。＜改行＞傍聴席はざわめきに包まれた。＜改行＞https://t.co/AvjcrY9B0h

　始まりは11月14日6時2分となっている「NHKで刑事弁護の神様」という内容の刑裁サイ太のツイートを見たことでした。ここで大きな問題に気が付きましたが、本来の投稿時刻は21時02分のはずです。

　今まで気が付かずにいましたが、直接TwitterAPIから取得した投稿時刻は、どうやら日本時間になっていないようです。データベースに登録する情報は、ずい分前にそのことに気が付き、プログラムに修正処理を加えているはずです。

　ここでも刑裁サイ太のツイートのおかげで、大きな発見がありました。

ツイート：kkhirono（告発-金沢地方検察庁御中ツイッター）：2016/11/20 01:43： <https://twitter.com/kk_hirono/status/799880643786117120> ： 引用→　 ここでも刑裁サイ太のツイートのおかげで、大きな発見がありました。

　直前のツイートで確認をしましたが、日本時間より9時間進んでいるようです。日本時間は世界標準時刻より9時間進んでいるはずなので、9時間遅れならわかりやすいのですが、スプリクトの確認をしてみます。

　荒療治になりますが、find . -type f -name '\*.rb'|xargs sed -i 's/ + (60 60 9)//g'、というコマンドの実行で対処しました。

　TwitterAPIの仕様が変わったのだと思います。以前は9時間遅れとなっていたので、9時間加算する処理を加えていました。いずれTwitterの側で修正されるとは考えていましたが、気がつくのが遅くなりました。

　どこまで遡ることになるのか調べないとわかりませんが、少なくとも本日2016年11月19日16時台以前のスクリプトを使ったものは、データベースに登録したものを含め、投稿時刻やリツイートの時刻が9時間加算されていることになります。

　これまで「参考資料扱いにした過去の告訴状の下書き」などで何度かご指摘してきたことですが、Twitterの場合、通常のブラウザでのツイートの閲覧でも、日本語の使用を設定したアカウントでログインしていないと、アメリカ時刻で表示されます。

　今度は、時間の順序で再度、TwitterAPIでデータを取得し直します。

ツイート：uwaaaa（サイ太）：2016/11/13 21:02： <https://twitter.com/uwaaaa/status/797771705309507584> ： 引用→　 NHKで刑事弁護の神様

ツイート：uwaaaa（サイ太）：2016/11/15 15:40： <https://twitter.com/uwaaaa/status/798415441001644032> ： 引用→　 宮崎駿と刑事弁護の神様と呼ばれる弁護士の風貌が似てるからツイートしただけなのにバカじゃねーのコイツ

　初めに「 NHKで刑事弁護の神様」というツイートを目にした時、その時も私は時刻を勘違いしていました。ツイートは朝の8時過ぎの時点で、11時間前と表示されていたかと思います。スクリーンショットの記録もあるはずです。

　朝の8時の12時間前だと夜の20時ですが、そこでも私は1時間差し引くところを加算した解釈で、19時台に投稿されたツイートだと思い込んだのです。それというのもまず頭にあったのは19時からのNHKニュースという存在でした。

　11月13日の夜、何をしていたのか思い出せませんが、19時のNHKニュースは毎日録画予約をしているので、再生して番組内容を確認することが出来ました。弁護士が出てくるようなニュースはありませんでした。

　そこでも怪我の功名のような発見になったのは、録画していても再生して視聴することの少ない番組を視聴したことで、「社会的入院」という考えさせられる、他に見たことのない言葉を見つけたことでした。今でも他では見ていません。

　私は完全に19時台の刑裁サイ太の投稿ツイートだと思い込んでいたので、そのツイートをリツイートしているアカウントのタイムラインを探しました。その時見つけたのが、次のアカウントです。

シリウスＡ(@eeyy888777)さん | Twitter <https://twitter.com/eeyy888777>

　これまでに何度か見たことのある弁護士あるいは法クラという感じの数あるアカウントの一つでしたが、重視したことのないアカウントで、ブックマークにも入れていなかったかもしれません。

　初めに気になったのは、アイコンが惑星の星のようなデザインであったこと、アカウントのプロフィールの名前も宇宙を連想させるシリウスとなっていました。個人的に感慨深い、似たような言葉でソラリスがありますが、伝統的なコンピュータシステムの名前です。

　タイムラインを遡って行くと、沢山の発見がありました、それはその後も続いています。

　私が、「刑事弁護の神様」として納得したのは、タイトルの後段に使った部分に部分に当たります。私のTwilogから調べてみます。

　同じシリウスさんのタイムラインで見たように思っていたのですが、それは私の勘違いで実際は、次の村松謙弁護士のタイムラインであった可能性が高そうです。このような記憶違いの是正、確認のためにも私はスクリーンショットを記録するようにしています。

ツイート：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）：2016/11/14 07:43： <https://twitter.com/s_hirono/status/797933043226771456> ： 引用→　 2016-11-14-074351\_　弁護士　村松　謙さんがリツイートサイ太　@uwaaaa　11時間11時間前NHKで刑事弁護の神様.jpg <https://t.co/HCuL4C6Csw>

　わざとではないですが、上記のスクリーンショットの内容も私の勘違いで、村松謙弁護士が刑裁サイ太のツイートをリツイートしただけのものでした。

　ようやく見つけました。まだ一週間も経っていないぐらいですが、すっかり忘れていました。スクリーンショットで確認できたのですが、どうやら村松謙弁護士が奥村徹弁護士のツイートをリツイートしたもので知ったことになりそうです。

ツイート：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）：2016/11/15 15:43： <https://twitter.com/s_hirono/status/798416201651261441> ： 引用→　 2016-11-15-154345弁護士　村松　謙さんがリツイート児童買春／ポルノ／強制わいせつ／淫行弁護　@okumuraosaka　7　時間7　時間前ブレイブ　勇敢なる.jpg <https://t.co/n436hYNw1O>

ブレイブ 勇敢なる者「えん罪弁護士」 - NHK <http://www4.nhk.or.jp/P4012/x/2016-11-28/21/33589/2225445/>

　上記がリンクの記事になります。次に引用をします。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://www4.nhk.or.jp/P4012/x/2016-11-28/21/33589/2225445/ ブレイブ 勇敢なる者「えん罪弁護士」 - NHK

「無罪」獲得「14件」。その実績に他の弁護士は「異常な数字」「ありえない」と舌を巻く。“えん罪弁護士”の異名を持つ今村核（いまむら・かく）は、有罪率99.9%と言われる日本の刑事裁判で20年以上も闘ってきた。過去に取り組んだ放火事件や痴漢事件では、通常裁判の何倍もの労力をかけて科学的事実を立証し、矛盾や盲点、新事実の発見からえん罪被害者を救った。自身の苦悩を乗り越え、苦難の道を歩み続ける男に迫る。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　今村核という弁護士は、この時初めて知ったように思いました。以前、同じような実績を持つという弁護士は見たような気もするのですが、Twilogで確認しても過去に今村核でのヒットはありませんでした。

　「ブレイブ 勇敢なる者」という番組名も見たことがないのですが、NHKGなどとなっています。特別な契約がないと見れない放送なのかとも考えていますが、まだ確認はしていません。

　ホームページに「総合 11月28日（月）午後10時25分」というのを確認したのですが、「再放送予定」「過去の放送」というリンクは、どちらも「ありません。」となっていました。どうやら番組スタートの初回という可能性が高そうです。

　番組のテーマは「“勇気”をもって世界を変えた、知られざる日本人の姿に迫る『ブレイブ 勇敢なる者』。」となっているようで、その初回に弁護士が選ばれたことになるようです。

　「刑事弁護の神様」として、これまで私が目にした記憶があったのは、神山弁護士と高野隆弁護士ぐらいでしたが、それもごく一部の個人的評価という感じでした。

　今村核弁護士について検索をしましたが、不思議と手がけた著名な事件というのは見なかったように思います。手がけた事件の数と著名度ということで思い出しましたが、弘中惇一郎弁護士が有名ですが、刑事弁護に特化した神様という評価は見ていない気がします。

　今村核弁護士の写真も見ましたが、これまで見てきた弁護士のなかで最も真面目で誠実な人柄に見えました。刑事弁護に対して泥棒神社という最終評価を出している私ですが、それだけ立派な人物に見えただけに、興味深く思っています。

　刑裁サイ太本人が、数日後に高野隆弁護士のことだとツイートをしていましたが、久しぶりに高野隆弁護士について調べると、Facebookのアカウントがあとかたもなく消えていました。

　2,3回しか開いたことのないFacebookの高野隆弁護士のアカウントで、まともに読んだ記事も一つもなかったように思いますが、印象的だったのは、楽しそうな表情で理科室にあるような人間の脳の模型の写真と一緒に写っている姿でした。今更ですが、確認できなくなったことは残念です。

　高野隆弁護士については、ずい分前から、士業のことで本格的に取り上げておくことの必要性を考えながら実行には至っていませんでした。本書で取り上げることに決めましたが、それも刑裁サイ太のツイートがきっかけで、牛に引かれて善光寺、という感じです。

　刑裁サイ太については、7月の告訴状でも取り上げてご紹介しているように思います。仏門の守護神のような仏像がデザインされた切手を、Twitterのプロフィールのアイコンにしています。様々なインスピレーションを与えてくれました。神仏のお使いのようにも思うところがあります。

　その刑裁サイ太から枝分かれしたようなかたちになりますが、シリウスさんのツイートやリツイートのタイムラインでは、まだここ数日間ですが、知らずに終わったかも知れないという貴重な発見がいくつかありました。

　時刻の特定などすぐにやりたくなるのですが、紙面と時間の制限も差し迫っているので、大まかに出来るだけ多くのことを取り上げ、ご紹介して行きたいと思います。そろそろですが、本件告訴事件の事実との関連性もクローズアップをしていこうと考えています。

2016-11-19　土曜日　19：28　＜＜ ［［　←これまでの記述範囲の終了時刻］］＜＜

刑事弁護の神様と弁護士鉄道の夜

:CATEGORIES: 2016年11月提出予定の告訴状 :TAGS: 告訴状の下書き,刑裁サイ太,高野隆弁護士,向原栄大朗弁護士,深澤諭史弁護士,ほうたろう

2016-11-21　月曜日　11：17　＞＞ ［［　←これからの記述範囲の開始時刻］］＞＞

　まずは、今朝になって見た向原栄大朗弁護士のツイートを２つご紹介するところから始めたいと思います。

ツイート：harrier0516osk（向原総合法律事務所　弁護士向原）：2016/11/19 14:06： <https://twitter.com/harrier0516osk/status/799841324119666688> ： 引用→　 廃止しますといったらフルボッコにされるので、黙って無理して走らせてるのに乗客ほとんどいない列車をみてると切ないです。それでいて、トラブル続発でもうムリとなって声を上げたらまたフルボッコ。JR北海道に限らず、公共交通機関とかに対して… <https://t.co/vlBv9tYs91>

ツイート：harrier0516osk（向原総合法律事務所　弁護士向原）：2016/11/19 13:59： <https://twitter.com/harrier0516osk/status/799839505091936256> ： 引用→　 @yiwapon 鉄道は維持管理に相当なコストがかかるので、致し方ないことかと思います。もっと早く言うべきだった。でも考えてみればバスも鉄道も同じ「運ぶ機械」なのに、なぜ鉄道にこだわるのだろう、場所に応じて使い分けることを許さない理由がよくわかりません。私は鉄なのですが。

　私は鉄道ファンではないですが、鉄道には歴史的な歩みを感じます。印象的な思い出としては、昭和59年の10月頃、北海道に職探しに行った時、苫小牧の駅だったと思いますが、沢山の線路が並び、周囲には建物が少ないという風景を目にしました。

　同じ昭和59年の7月の10日頃には、富山県の漁港から漁網を積み、北海道の根室市にある花咲港に行きました。特に印象的だったのは、室蘭市を抜けた後だったように記憶していますが、地球岬という景勝地の壮大な風景でした。

　根室市からの帰りは、室蘭からフェリーに乗ったのですが、その時の室蘭市の街地の道路と街灯がオレンジ色の光に包まれ、宇宙や未来都市のように見えたのが特に印象に残っています。長距離トラックの仕事をしていたので他にも沢山の夜景を見ていましたが、不思議と特別に見えたのです。

　平成11年8月7日の夜に、安藤健次郎さんの自宅に行った時、階段の物陰に身を隠しながら集中して私の方を見る安藤文さんと思われる人影は、見えた姿が一瞬で表情など見えず、銀河鉄道999に出てくる車掌の姿と重なるものがありました。

　その時の安藤文さんの部屋ではないかと思われる2階の部屋の明かりもオレンジ色で、他に見たことのない照明という感じでした。

　そういう体験がありながらもそれほど強くオレンジ色の光を意識したことはなかったのですが、昨夜、小木港で見た中型イカ釣り漁船の明かりも、今までに見たことのないような強烈なオレンジ色の光でした。これまで見てきたものはオレンジが薄いか白熱のような光だったように思います。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-21 11:54 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/800532835639562240> 2016-11-2019.29.09＿小木港中型イカ釣り漁船のオレンジ色の光.jpg <https://t.co/WWMxCo0KiD>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-21 11:54 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/800532768631361536> 2016-11-2019.27.43＿小木港中型イカ釣り漁船のオレンジ色の光.jpg <https://t.co/Z91fP9yJyN>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-21 11:53 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/800532618613641216> 2016-11-2019.25.01＿小木港中型イカ釣り漁船のオレンジ色の光.jpg <https://t.co/6RnrKINTRy>

　小木港は遠洋のイカ釣り漁船の港ですが、テレビなどを見ていると現在の漁業は中型イカ釣り漁船と呼ぶようです。船の大きさもほとんど同じに見えますし、型も似ています。3年ほど前は27隻とテレビで見たように思いますが、その後も数は減っているようです。

　昭和50年代の頃は、船の数は比較にならないほど多く、サケマス漁もやっていました。中部船と呼ばれるオレンジ色の船体で、春に小木港を出てからは、北海道の花咲港とに他県の船とともに集まって、それから漁に出ると聞いていました。私が花咲港に行った時も小木港の船はいました。

　当時も小木港の遠洋漁船は12月に小木港に戻ってから休みに入り、5月から6月頃に次の漁に出ると聞いていました。基本的に約半年間、小木港には戻らないと聞いていましたが、日本海という小樽市との間で操業する船は、一月に一度ぐらい戻るとも聞いていました。

　前から書いておきたいと考えていたことですが、他にもいろいろあって、特に深澤諭史弁護士にはふりまわされて迷いがありました。最近になって、深澤諭史弁護士には本当に時間を無駄にさせられてきたという思いが強くなり、手に負えない暴走特急のようなものだと考えていました。

　銀河鉄道999も、宇宙空間をさまざまな列車が飛び交う場面があったように記憶していますが、深澤諭史弁護士や小倉秀夫弁護士も空間を飛び交う星のようなイメージを強くしていました。昨夜、より強く光を輝かせたのが小倉秀夫弁護士であり、それを深澤諭史弁護士のリツイートで初めに目撃しました。

　深澤諭史弁護士のタイムラインを再読込しましたが、相変わらず次の調子です。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/11/21 11:06： <https://twitter.com/fukazawas/status/800520841490472961> ： 引用→　 非弁問題に関する広報文，市民向けと弁護士向け，それぞれなかなかよいものができた・・・。これから圧倒的修正が加えられることになりそうだが。特に弁護士向けのそれを，かなりエグいものになった・・・。

　一つは、昭和55年のことだと思います。石川県立水産高校小木分校の通っていた頃ですが、なんどか珠洲市鵜飼にある個人病院の眼科に通っていました。川の橋のたもとの平屋の小さな建物だったように思いますが、建物自体がずっと前になくなっています。

　建物のとなりに喫茶店があって「オランダ」という名前だったように思いますが、この夏に通った時も店はあったように思います。営業しているのかどうかはわかりませんでした。

オランダ食堂(珠洲市/その他グルメ) | ホットペッパーグルメ <https://www.hotpepper.jp/strJ000347027/>

　確認のため調べたところ、食堂になっていたので少し驚きました。1回ぐらいは店に入ったことがあるように思いますが、よく憶えていません。通りかかるときに見ると、昔見たのと同じ、昭和の頃から変わっていない建物のように思っていました。

　眼科のことを地元では「めんしゃ」と読んでいました。目の医者がなまったものかと思います。鵜飼に隣接した地名に宝立がありますが、私もその区別はよくわかっていません。鵜飼の辺りには能登半島を代表する景観の見附島があります。

　駅名は鵜飼だったように思いますが、その近くには珠洲実業高校がありました。平成21年の頃はまだあって、翌年ぐらいに廃校となって飯田高校と統合したように思います。

　小木分校の鉄道の通学でも珠洲方面は、珠洲実業高校と飯田高校が一緒でした。ディーゼル車だったのかとも想像しますが、皆ふつうに「汽車」と呼んでいました。もちろん蒸気機関車ではありません。昭和55年はまだ国鉄の時代で、5両編成がほとんどだったように思います。

　その後、奥能登線は2両編成の電車のようになり、廃線となったのが平成17年だったように思います。能登鉄道という名前になっていたようにも思いますが、利用することも少なかったので、よくわかっていません。

　さきほどのオランダ食堂の情報を掲載しているホームページを見なおして、気がついたのですが、宝立町鵜飼となっていました。宝立と鵜飼は別の地区だと思い込んでいたので、いまさらながらの発見です。

　現在も鉄道が残っているのは穴水駅までです。昔は穴水駅から蛸島線と輪島線がありました。輪島線は輪島市内の輪島駅が終着駅でした。現在も跡地のホームが展示されていますが、次の停車駅がシベリアとなっていました。

　私は一度も輪島駅まで汽車に乗ることはなかったのですが、一度だけ三井まで行ったことがありました。穴水駅の次の駅だったように思いますが、三井は輪島市になります。

　三井に行ったのも町医者だったと記憶していますが、何の医者だったかは憶えにありません。母親と一緒に行ったこともぼんやりと記憶していますが、それが子供の頃、母親と一緒に乗った最後であったように思います。

　昭和50年、小学校5年生の進級の4月に辺田の浜から宇出津に引っ越してきましたが、宇出津に来てからは母親と一緒に出かけたという記憶もありません。

　鉄道を利用していたのも昭和57年頃までだったと思います。普通免許を取得したのは昭和58年7月でしたが、自動二輪で免許取り消しになっていたので、同級生より半年ぐらい遅れていました。それでも同級生などの車に同乗することが多かったので、汽車には乗らなくなっていました。

　そのうちJRなどと名称も電車のカラーも変わっていましたが、鉄道を利用することは考えることもなかったように思います。

　「参考資料扱いにした過去の告訴状の下書き」には書いたことがあると思いますが、平成9年1月18日の夜、福井刑務所を満期出所した日に、羽咋駅から最終便に母親と二人で乗りました。蛸島線の最終便は宇出津駅着が22時10分頃だったと思います。

　鵜川駅の先の矢波駅のあたりにくると、海岸線から宇出津の方の灯りも見えるようになりました。それまでは気に留めることもなかった灯りだったのだと思いますが、4年10ヶ月ぶりの社会の風景でもあり、特別な景色に見え、その時頭に浮かんだのが、昔見たテレビアニメの銀河鉄道999でした。

　向かい合う席の母親がすごく満足そうな満ち足りた表情をしていたのも印象的でした。平成4年の裁判では、私が金沢西警察署にいた2ヶ月ほどの間に、13回、鉄道で金沢に来ていたと聞きました。全て日帰りだと思います。子供の頃から金沢市には親戚はいませんでした。

　母親は事件の真相について何も知らなかったのだと思いますし、宇宙の果てのような距離感を度々感じてきました。平成4年の事件以来、母親の人生というのも哀れなものであったと思います。挙句は統合失調症を発症し、さらに脳出血で半身不随の寝たきりとなり、現在に至っています。

　半年ごとに入院している病院のカンファレンスがありますが、この前行った時も、現在87歳で、75歳の時初めに脳出血を起こし、78歳の時に統合失調症になったと説明を聞いたように思います。

　被告訴人の弁護士、元裁判官らが母親の人生を狂わせたと思っておりますし、その事実を知る唯一の存在であるとも自分のことを考えておりますが、岡田進弁護士や木梨松嗣弁護士の責任に思いを向ける人は、この目で一人も見た覚えがありません。

　単純計算だと母親が統合失調症を発症したのは年齢から9年前となり、平成28年の現在から9年前ということは平成19年ということになります。

秋葉原通り魔事件 - Wikipedia <http://bit.ly/2amsDFR>

　上記のページで確認すると平成20年6月の事件でした。この6月の20日頃だったように思いますが、私はモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のブログで袋叩きにあい、コメント欄から締め出されました。投稿は見つけ次第、削除すると通告されたようにも思います。

　平成19年の4月1日に殺人未遂罪の15年の公訴時効を時効を迎え、それでも金沢地方検察庁の捜査官室の大きな机に座っていた戸間さんには、告訴状を出してもよい内容を読んで、するべきことを検討するなどと言われていたのですが、度重なる打撃を受け、告訴の手続きは中断してままになりました。

　秋葉原の無差別殺傷事件に関しては、小沢一郎氏の刑事裁判終結後ほどなく削除で消滅していた市川寛弁護士のTwitterアカウントが、まったく別のアカウントとして復活しているのを見つけた時、そのタイムラインを遡り、見つけたのが兄弟が自殺していたというニュースでした。

　時刻は17時15分になっています。今しがた深澤諭史弁護士のタイムラインを再読み込みすると、見覚えのある刑裁サイ太のツイートがツイートされていました。一つ前には「そらまめ」のリツイートがあって、2つのリツイートは関連した内容であることに気が付きました。

リツイート：fukazawas（深澤諭史）＞2016/11/21 16:46／2016/11/21 15:12＞ <https://twitter.com/fukazawas/status/800606188958203905> ＞ uwaaaa （サイ太）＞ <https://twitter.com/uwaaaa/status/800582552067002368> ＞ 引用＞　 米の上に魚乗せるだけで金を取る寿司屋問題ですね

リツイート：fukazawas（深澤諭史）＞2016/11/21 16:46／2016/11/20 19:13＞ <https://twitter.com/fukazawas/status/800606174898884608> ＞ sollamame （そらまめbot）＞ <https://twitter.com/sollamame/status/800280818157383680> ＞ 引用＞　 満員の新幹線に揺られてウトウトしてたら隣のカップルが「弁護士は相談しただけで金とられる。めっちゃ高い。」とか話してて目が覚めました。

　今は違っているのかもしれませんが、中学校を出た私の同級生にも寿司屋の修行に入った人がいて、間接的に長い下積みの話など聞いたことがありますが、彼ら弁護士もそれと同じように考えているのかも知れません。

　寿司屋であれば、独立開業しても実力がなければ営業を続けることが出来ず、自然に淘汰されるのが、ありがちな行く末かと想像されます。品質の管理も重要なことであり、鮮度の悪いものは味が悪かったり、食中毒の発生という不利益を伴う社会の評価につながるはずです。

　魚の鮮度に関しては、プロにも負けないかも知れない経験があります。釣り上げて生きているところから家に持って帰り、調理することが多いからです。小さい魚ほど鮮度が落ちやすく傷みやすいので、小さい魚ほど早く内蔵と血を取り除くようにしています。

　予約がびっしりつまった人気店の寿司屋となれば別ですが、客入りも予想しづらい店であれば、仕入れの段階からよほど気を使うことだと、想像します。

　魚をさばくのもけっこう大変で、今ではけっこう慣れていますが、アオリイカなどは皮が剥きにくく、特に時間と手間がかかっていました。自分の食べる分だけでも大変なのに、不特定多数の客を相手に料理を出すとなると、それは大変なことだと考えるようになりました。

　弁護士の相談料は30分税別で5千円が相場になっているかと思います。それは平成9年当時も同じだったと思います。仕入れた材料費などは不要なはずで、鮮度に気を配ることもないはずです。それ以上の価値があって認められている制度なのだと思いますが、その辺りから大きな疑問を感じてきました。

　魚をとるのも漁師の仕事ですが、台風などで海が荒れて船が壊れるのも問題ですが、漁網が壊れても大損害になると聞いたことがあります。テレビを観ていても、県内のニュースとして、冬場は輪島の方で、月に1,2回しか漁に出ることが出来なかったという話を聞きます。

　今回、この項目で書いておきたかったことが2つあり、一つが途中になっている珠洲市宝立町鵜飼の目医者での体験であり、もう一つが、遠洋漁船に初めて乗った少年の体験談です。

　ここでいう遠洋漁船は、小木港の他に、姫の高倉漁港があります。今年の6月に姫の堤防の先端でアジ釣りをしていたとき、散歩で歩いてきた地元の人と話をしていたところ、最盛期は33隻の遠洋漁船がいたと聞きました。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/06/09 08:34： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/740688543534579714> ： 引用→　 2016年6月8日　能登町姫の堤防で釣ったガンド（ブリ）61センチ

奉納＼弁護士妖怪大泥棒神社・金沢地方検察庁御中: 刑裁サイ太のツイート→　「不法行為」と「うっほほーい」で踏める — サイ太 (@uwaaaa) <http://hirono2016k.blogspot.jp/2016/06/uwaaaa.html?spref=tw>

　Twilogで探しものをしていると、上記の記事のリンクが見つかりました。記憶になかったものですが、これもなかなか理解を超えたものなのでご紹介しておきます。

奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語(@hironohideki)/2016年06月08日 - Twilog <http://twilog.org/hirono_hideki/date-160608>

　最盛期33隻いた遠洋漁船が、今年は何隻になったという話を聞き、それをメモのようにツイートしたように思っていたのですが、見つけることが出来ませんでした。3隻になったとも、1隻になったとも、いなくなったとも聞いたように思うのですが、案の定、正確なことが思い出せなくなっています。

　鳳至郡能都町と鳳至郡柳田村、珠洲郡内浦町の３つが合併して現在の鳳珠郡能登町になりました。これも平成17年のことであったように思います。小木は内浦町でしたが、隣接する姫は能都町で、中学校も宇出津の四明ケ丘にあった能都中学校でした。

　姫と隣接して同じぐらいの規模なのが真脇で、当時は真脇小学校がありました。被告訴人浜口卓也は、この真脇の出身になります。旧能都町には、鵜川中学校もあって、被告訴人安田敏は、この鵜川の出身になります。

　被告訴人安田敏は、宇出津にあった石川県立水産高校本校漁業科を卒業しました。水産高校の建物は、現在、能登高校となっており、宇出津新港や辺田の浜に隣接しています。辺田の浜の住所は能登町藤波です。

　少年に話を聞いたのは、私の同級生が高校を卒業して社会に出た昭和58年の12月か、翌年の1から3月頃になると思います。どこで顔を合わせたのかも記憶にはないのですが、後輩の友達で、たまたまその場に居合わせたという感じでした。

　その少年は、私の同級生が高校を卒業したのと同じ時期に中学校を卒業し、そのまま遠洋漁船に乗り組んだという話であったと思います。そういうのは当時の私の同級生でも珍しく、ほとんどは高校に進学してから中退し、遠洋漁船の仕事をするというパターンでした。

　海が時化ると、天井から床にたたきつけられるような衝撃を長い時間繰り返し受けるとか、船酔いで血反吐を吐くとか、手荒いしごきを受けるという話は、よく聞いていました。沖で船から落ちると、まず助からない。数分も経たないうちに海中に引きずり込まれてしまう、という話も聞いていました。

　そういう話は不思議と、テレビなど他で聞いたことはありません。海に落ちたのを見ていても、船を停止させ、引き返すだけでかなりの時間がかかり、沖は潮の流れも速いので、落ちた場所からすぐに流され、海中に引きずり込まれてしまう、という話でした。

　その少年は、海が時化た時、これは絶対に助からないと思い、それでも助かったので、神様が絶対いる、助かったのはそのおかげとしか考えられない、というようなことを暑く語っていました。

　私自身、時化を経験したことはありましたが、小樽港の大型フェリーでのことでした。日本海が最も荒れるという2月のことだったので、他の時化との比較も出来ませんが、佐渡ヶ島に避難しているというアナウンスも聞いていました。

　漁師の友達にその話をすると、大型のフェリーと漁船では船の荒れ方も比較にならないと話していました。操船を誤って波を受けると、たちまち転覆するとも聞いていました。

　長距離トラックの仕事をするようになって、これも自分の運転が大事故や死に直結するものだと考えるようになりました。金沢市場輸送では鮮魚の仕事が多かったので、当時は気象等の条件にかかわりなく、時間内での必着が当然のことになっていました。

　秋田の市場を夜中の出て、それから能代の市場に立ち寄り、5時前に青森の市場に到着したこともありましたが、地吹雪で前がまともに見えない状況だったので、細かいことは忘れましたが、間に合ったのが信じられず、宇宙戦艦ヤマトに出てくる時空を超えるワープをしたのではと、不思議に思いました。

　その時に思い出したのが、なにげなく聞いていた少年の神様の話でした。それこそ全力で全身全霊のように一心不乱に向き合ったのは確かなことです。青森の市場についたトラックは、樹氷のかたまりのようになって、幻想的にきれいであったことも、目に焼き付くような光景でした。

　当時の金沢市場輸送のトラックは、車体のシャーシの部分が錆止めだったのだと思いますが、赤茶色に塗装され、たまに宇宙戦艦ヤマトの下の部分の色に似ていると思ったことはあったように思います。

　とにかく、青森までの距離と、地吹雪のなかの走行速度から計算して、どうにも着くはずのないような時間に着いたので、それがとても不思議に思えました。

　次の深澤諭史弁護士のツイートも見つけました。私は、弁護士鉄道という表現もつかっていますが、宇宙空間のような未知の世界の一幕です。最近は弁護士の脳内のものとして、「弁護士脳汚染除去装置」という言葉も使うようになりました。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/06/03 13:10： <https://twitter.com/fukazawas/status/738583701567635465> ： 引用→　 <https://t.co/G1yfomJb6D> ほんこれ。 ダメなほうの法律相談だと，結構な確率で相談者が勘違いをする（そして，取り返しが付かないことになる。） 中には，ダメなほうのスタイルを希望する相談者もいるけれど，弁護士はプロとして責任もってガイドしないとだめ。

　ここで深澤諭史弁護士のツイートは次のツイートのURLを引用しています。

ツイート：popohito（ぽぽひと@内閣総辞職ビーム）：2016/05/26 18:36： <https://twitter.com/popohito/status/735766456147673088> ： 引用→　 ダメな法律相談の流れ＜改行＞相談者が質問→弁護士が回答の繰り返し。依頼者が聞くことがなくなったら終了。＜改行＞＜改行＞いい法律相談の流れ＜改行＞弁護士が質問→依頼者が回答を繰り返して事情聴取。事情聴取が一通り終わったら弁護士が一気に説明。多少の質疑応答タイムの後に弁護士費用を説明して、受任の有無を尋ねる

　時刻は19時53分です。さきほど、Aコープ能都店に買い物に行ってきました。戻ったところ、深澤諭史弁護士のタイムラインを再読込すると、次のツイートがありました。6名ほどの共著で出版した本ですが、深澤諭史弁護士本人の言及を見るのは初めてかも知れません。リツイートが多かったです。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/11/21 17:53： <https://twitter.com/fukazawas/status/800623052660752384> ： 引用→　 弁護士　独立・経営の不安解消Q&amp;Ahttps://t.co/ZXVRgF5LXt大好評につき，早くも増刷決定です！！（・∀・）（・∀・）

　次が深澤諭史弁護士のリツイートの一つです。

ツイート：nodahayato（弁護士　野田隼人）：2016/11/21 18:11： <https://twitter.com/nodahayato/status/800627608077504512> ： 引用→　 「弁護士 独立・経営の不安解消Q&amp;A」の増刷が決まりました！１１月１０日の発売から１１日。お買い上げありがとうございます。 <https://t.co/YsDnLKgTzK>

　野田隼人弁護士は、私がTwitterを初めてすぐの頃から見知っているアカウントですが、比較的最近になってブロックされていることに気が付き、それから注目するようになったのですが、深澤諭史弁護士と出版すると知った時は、驚きとともに、何かの力が働いためぐり合わせなのかとも考えました。

　今から確認をしたいと思いますが、執筆は6名であったように思います。まったく初めて見る名前が一つありましたが、いずれも現役の弁護士だったように思います。想像ですが、パートごとに分担した単独の執筆ではないかと考えています。座談会形式という話は見ていません。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：https://www.amazon.co.jp/gp/product/4474054857?ie=UTF8&camp=1207&creative=8411&creativeASIN=4474054857&linkCode=shr&tag=grebelawlibra-22&qid=1479719344&sr=8-1&keywords=%E5%BC%81%E8%AD%B7%E5%A3%AB%E3%80%80%E7%B5%8C%E5%96%B6 弁護士 独立・経営の不安解消Q&A | 北周士, 田畑淳, 野田隼人, 深澤諭史, 向原栄大朗 |本 | 通販 | Amazon

弁護士 独立・経営の不安解消Q&A 単行本 – 2016/11/10 北周士 (著), 田畑淳 (著), 野田隼人

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　6名ではなく5名でした。全くしらなかったのは、田畑淳という人物です。他はTwitterでよく知っていた弁護士ですが、北周士というのは、比較的最近になってTwitterのアカウントを削除したノースライムのことです。7月の告訴状に紹介済みのように思います。

　ノースライムは#ノースの珍事 、というようなハッシュタグがつけられ、結婚式の写真が複数Twitterにアップロードされていました。特に印象的だったのは、ブーケを受け取ったという壇弁護士の写真でした。

　壇弁護士は大阪の弁護士だったと思います。まだ、羽咋市のアパートに住んでいる頃にブログを見ていたように思います。そこにはWinny裁判のことが書かれており、担当の弁護人だったと思います。正確には弁護人の一人だったように思いますが詳しいことは記憶から消えており、知れべてもいません。

　書き綴って提出した後、見直しはしていないので正確にはわかりませんが、7月の告訴状では壇弁護士のこともご紹介しているかも知れません。不思議なタイミングで見つけたのが、「ぺぺぺの弁護士」と空目したかも知れない「べべべの弁護士」というタイトルの記事でした。

　大地主神社のチャンペ饅頭を調べていたときに、検索で見つけた記事であったように思います。代表作がゲゲゲの鬼太郎の漫画家水木しげる氏の訃報に接した内容であったと思います。

　壇弁護士のブログと同じ頃に見たのが、山口貴士弁護士のブログで、どちらも更新の数は少なかったですが、実名と実在がわかるようなかたちでの弁護士のブログでの情報発信というのも、当時はまだ珍しい時代でした。Twitterの普及前だったと思いますしSNSという言葉も出る前かもしれません。

　山口貴士弁護士のブログで一つだけ記憶に残っていたのは、漫画家からアニメで有名になった松本零士氏の裁判についての記事でした。その代表作が、宇宙戦艦ヤマトと銀河鉄道999です。記憶に残っていたのは、松本零士氏が裁判に関わったという事実だけでした。

　まだ、10日も経っていないように思いますが、つい最近になって、過去の記憶の確認のため、他で見つけた山口貴士弁護士のブログのURLをサイトに指定し、Googleで検索を掛けてみました。それらしい記事はすぐに見つかりました。

【松本零士vs槇原敬之】槙原「証拠出せ」松本零士氏訴える: 弁護士山口貴士大いに語る <http://yama-ben.cocolog-nifty.com/ooinikataru/2007/03/vs_b5a0.html>

【松本零士vs槇原敬之】槇原敬之に「９９９」盗作騒動: 弁護士山口貴士大いに語る <http://yama-ben.cocolog-nifty.com/ooinikataru/2006/10/post_47dd.html>

　一つは平成19年3月の記事となっていて、その前のものが平成18年10月の記事であることが、記事のURLからもわかります。どちらを先に見たのかも記憶にはなくなっていますが、私は誤読をしていたらしく、松本零士氏の方が著作権をたてに民事訴訟を吹っかけたものと思い込んでいました。

　銀河鉄道999の「時間は夢を裏切らない　夢も時間を裏切ってはならない」というセリフが争点になっていることも、銀河鉄道999が裁判の対象になっていたことも記憶には残っていなかったので、まったく新たな発見をしたような気持ちになりました。

　深澤諭史弁護士やモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）、小倉秀夫弁護士には本当に大きな時間を無駄にさせられてきたという思いが強かっただけに、争点になった言葉には考えさせられました。それとともに時空を超えた星空の運命的な巡り合わせという思いも、新たに強くしました。

　松本零士氏や宇宙戦艦ヤマト、銀河鉄道999のことは本腰を入れて調べ、自分なりの納得とともに新たな発見がいくつもありました。紙面の都合と時間の制約もあり、いちいち書くことは出来ませんが、知らずにいた世界の断片を垣間見ることが出来ました。

　松本零士という漫画家については、私自身の体験として、「男おいどん」や「スタンレーの魔女」というマンガを、看板もない宇出津の三番町の古本屋で目にしたことが、忘れることのない記憶の断片として残っています。

　私が小中学生の昭和40年代後半から50年代前半の時期は、娯楽の少ない時代でもありましたが、人一倍漫画が好きで、梶川の横にあった千間書店で単行本の立ち読みもよくやっていました。

　松本零士氏も著名な漫画家の一人でしたが、テレビで脚光を浴びるようになったのは、宇宙戦艦ヤマトの放送があってからだと思います。辺田の浜から宇出津に引っ越してきたあとに、カラーテレビで見たという記憶があって、確認のため調べました。

　調べたところ、テレビでの宇宙戦艦ヤマトの放送は昭和49年が最初で、その時は同じ放送時間帯の人気番組におされ、不発に近い人気だったものが、再放送で社会現象を巻き起こすような大ヒットになったという情報を見つけました。

　これまで何度か書いてきたことですが、私は自分の記憶から辺田の浜で再開された春祭り、酒樽返しを見ずに宇出津に引っ越してきました。ネットで調べると再開されたのが昭和50年と確認できました。それで宇出津に引っ越してきたのを昭和50年としていますが、それ以前の記憶は49年でした。

　宇出津に引っ越してまもなく家のテレビが白黒からカラーテレビになりました。母親が事前にテレビを買い換えるという話もしていなかったので、余計に印象的な記憶となっていますが、当時のカラーテレビは相当高価なもので、私を驚かせるのが狙いだったのかと想像すると、母親の意外な一面になります。

　繰り返しになりますが、テレビゲームもなく娯楽の少ない時代だったので、テレビ番組も特別なものでした。色々と番組を見ましたが、現実的な肌感覚や切迫感を伴って見たのが、宇宙戦艦ヤマトの初めの、放射能除去装置を求めた宇宙への旅立ちの場面でした。

　その宇宙戦艦ヤマトのテレビ放送も、デスラー総統が出てくるようになると、自分の理解を超えて現実感も薄れていましたが、記憶に残った場面は、沖田艦長が地球への帰還を目前に亡くなるという場面でした。

　先日、YouTubeで探しだして、最終回と思われる宇宙戦艦ヤマトの放送を動画で見ましたが、ヒロインの森雪が放射能除去装置の作動で死亡し、そのあと蘇生したということは、自分の記憶に残っていませんでした。全体的に荒削りなストーリーという印象は否めず、時代の違いというのも感じました。

　放射能という危険な存在を知ったのも宇宙戦艦ヤマトが初めてのきっかけだったと思いますが、その放射能の危険性が現実のものとなったのも、2011年の東日本大震災の原発事故が始まりでした。

　この放射能の問題は、今テレビのNHKでも見たところですが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートで多く見ています。関連のツイートは漫画以上に理解の出来るものではなく、不安を煽り弁護士が頼れる存在であると印象づけるのが目的としか、納得の理解はありませんでした。

　数も多いので読まないものが多かったと思いますが、放射能といえばモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）という印象も強く残っています。彼の主張の根拠自体が仮定として、確認の仕様のないものを土台をしていて、冤罪問題に通じる弁護士らしさの本領発揮だという思いを強くしました。

　これまでの経験として、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）が真剣に取り上げるツイートの一連の内容は、どれだけタイムラインを遡っても理解の出来るものではなく、他の人物のツイートでようやく理解に至るというものがありました。

　司法サービスの消費者という立場にたってみても、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートは、まったく役立たずの時間の無駄ということを痛感してきました。コントロールしやすカモを探し出すことを主眼にしているとしか思えないもので、扇情性や恫喝性も際立っていると思います。

　それは対立も多い、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）と小倉秀夫弁護士のツイートの共通点という理解にも達しています。彼らの儲けのネタは人の不幸や争いごとであり、疫病神を絵に書いたような泥棒神社の祭神だとも考えるに至りました。

　私が問題の提起をする弁護士妖怪大泥棒神社は、そのような弁護士の泥棒根性の危険性、有害性、危険生物性を啓発し、封じ込める意味合いや目的の方が強いです。それは私が20年以上の歳月をかけ、大きな犠牲を伴って他に見ない世紀の発見をしたものであり、それ故の大々的な記録もやっております。

　時刻は23時21分となっています。21時前からだったと思いますが、ずっとテレビをNHKにしたまま、ながらで見ていました。偶然、数時間前に書いたことと通じるところがありましたが、次の番組も興味深く観ていました。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/11/21 22:33： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/800693527931928576> ： 引用→　 プロフェッショナル　仕事の流儀「諦めるな、それが魚屋の心意気」＜改行＞2016年11月21日（月） 22時25分～23時15分 の放送内容 <https://t.co/74dEy940pJ>

　あと37分ほどで日付が変わってしまいますが、昨夜は小木港でのアジ釣りから戻ってから、銭湯にも行ってきましたが、次の２つのアカウントに照準をあて、集中的にタイムラインを遡るという作業もやっていました。

　その作業の過程は、スクリーンショットなどで記録に残しています。

ＫＢブラック(@bengoshiblack)さん | Twitterからの返信付きツイート <https://twitter.com/bengoshi_black/with_replies?lang=ja>

君の名はドナルド・ほうたろう(@lawyerhotaro)さん | Twitterからの返信付きツイート <https://twitter.com/lawyerhotaro/with_replies>

　紙面と時間の関係もあるので、ごく大雑把なご紹介にしておきますが、ＫＢブラックというアカウントに着目し、タイムラインを遡ったのは、お隣富山県の高岡市の名物、ブラックラーメンのこともありました。他は、氷見の強姦冤罪事件もあると思いますが、近々大々的に取り上げる予定です。

　私が生まれ育った宇出津の名物は、寒ブリですが、氷見の寒ブリよりは全国的な知名度も遥かに劣っていると思います。肝心の魚の品質は、高価で入手が困難な食材でもあり、個人的に比較することは出来ませんが、スーパーの刺し身は、地元でも品質の劣るものが多いという経験則があります。

　宇出津ではだいぶん前から1月の中頃に、寒ぶり祭りというイベントがありますが、今年の1月は記録的な不漁で中止になってしまいました。

　前回は昨年の2015年で、その時は寒ぶり祭りのイベントが、昔、青柳の靴屋があった廃業したパチンコ店の駐車場の更地でありました。その前が、能登町役場前だったと思いますが、その時にイベントの出店にあった、富山の名物ブラックラーメンを食べたという思い出があります。あるいはその前年。

　あまり関連性のないことですが、寒ぶりの豊漁こそが地域の潤いと祈願という思いもあり、漁業とは無関係の部外者ですが、ふと気になってアカウントのタイムラインを遡ってみました。いくつかの発見はあったように思いますし、その都度、記録しているはずです。

　ほうたろう、のことは、7月の告訴状でもご紹介しているかもしれません。妖怪ウオッチという子どもの人気アニメの、コマさんというキャラクターをプロフィールの画像にしていた時期があり、それがアニメのキャラクターだと、知ったのが後のことでした。

　これも大地主神社のチャンペ饅頭と同じ時期のことだったと思います。連続テレビ小説まれ、で神社の狛犬にサングラスをかけるなどいたずらがされたいた放送の頃のことでした。その大沢の神社のことは、まだ調べていませんが、写真は現地で撮影したものがあります。

　大泉洋という俳優が演じた父親が都会で事業に失敗し、その生活が窮地になった社員の恨みで、家族までも不安にさらされる、というようなストーリーで、ドラマに「ぺぺぺ」などと出てきたところからネットで調べたところ、大地主神社のチャンペ饅頭などに行き着くという発見がありました。

　昨夜のことですが、疲れもあったので細かいことは記憶にありません。主にやったのはこの2つのアカウントのタイムラインを遡ったことですが、なにかを辿っているうちに、次の弁護士の懲戒事例の発見がありました。

　そのような弁護士の理解を超えた行動の不祥事としての懲戒事例、さらには大きな刑事事件というのもお腹いっぱいになるぐらい見てきましたが、いずれもごく限定的な情報というかニュースで、免疫性というそれを踏まえても、これはすごいという内容の懲戒事例でした。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://blogs.yahoo.co.jp/nbichii/35964740.html 池谷友沖弁護士(東京）退会命令・訴訟放置し虚偽説明 ( 事件 ) - 弁護士自治を考える会 - Yahoo!ブログ

東京弁護士会は１３日、民事訴訟を放置して敗訴したのに、依頼者にうその説明をして着手金などを請求したとして、池谷友沖弁護士（４３）を退会命令の懲戒処分にしたと発表した。 　同弁護士会によると、池谷弁護士は２０１４年１０月、民事訴訟を起こされた企業から依頼を受けたが、答弁書や準備書面などを提出せず、口頭弁論も欠席。相手方の主張通りの判決が確定したのに、「双方敗訴の判決がされた」とうその説明をして、着手金と成功報酬を請求した。（2016/07/13-18:41）

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　弁護士が何をやって懲戒になったのかということも呆れる内容でしたが、それ以上に深刻なことだという思いを強め気を引き締めてくれたのが、全く知らずに見過ごして来た、という事実における弁護士業界の異常と欺瞞性の途方もなさです。末期を通り越しいながら、事実を知ることの難しさがより大きい。

　すべての弁護士が異常な異星人に見えてくることは言うまでもないことですが、その思いをより深刻に新たにしました。おそらく他のどの職業でもありえないデタラメぶりが、これでもかと続出しながら、まともに報道されることのない闇の深さと異常性に目を奪われました。

ツイート：motokentw（モトケン）：2016/11/21 22:24： <https://twitter.com/motoken_tw/status/800691453609447424> ： 引用→　 フランス娘げと(^\_^)v

　比較的ツイート数が少なくなっていたので、なにか危機感でも感じているのかとも考えていたモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の最新ツイートが、上記のものですが、意味不明でありながら、なにか楽しげなツイートです。

　弁護士鉄道の夜の闇は、いつまで続くのかと考えるとともに、それを打ち破らなければ先には進めないという必要条件性も感じています。

　時刻は11月22日10時41分になっています。昨夜はテレビと電気をつけたまま寝てしまい、6時10分前ぐらいに目が覚めました。水を飲むなどして寝ていた場所に戻り、寝直すためテレビの電源を切ろうとしたところ、緊急地震速報が出ました。

　すぐに福島県を中心に最大で震度5弱と出たので、大きな被害が出るような地震ではないと思い、リモコンでテレビの電源を切ろうとした瞬間、大きな文字で画面に津波警報と出たので驚きました。それからそのまま起きています。

　ずっとテレビをつけていますが、10時までは地震と津波警報の情報一色でした。準備され予定されていた番組内容はあったはずですが、まさに全てが流されたという感じでした。幸い今のところ特に被害は出ていないようですが、津波注意報は解除されておらず、まだ影響が続いています。

　当初の予報では、福島県の小名浜港と相馬で3メートルの津波が予想され、小名浜港の現地の映像が多く流されていました。実際は宮城県の方でより大きな津波が観測され、仙台港では津波が1メートル40センチだったとのことです。

　9時ころかとくダネ！という番組で見るまで、平常のスタジオ内の放送というのはどの局にもなく、ずっと現地の映像とともに、文字情報が大きく表示され続けていました。より大きな被害が出ることを想定し身構えた、かなり異様な緊急事態に見えました。

　時刻は11月25日10時18分となっています。また数日間の中断をしていました。深澤諭史弁護士など深く考えこまさせられるツイートを目にしていたことも、停止、中断の大きな理由です。本当に時間を無駄にさせれてくれるとあらためて実感しました。

　昨日はTwitterのツイートをAPIで取得するスクリプトに少し修正を加えました。大きな変更は、これまでツイートの中の改行を＜改行＞と置き換えていたものを、半角スペースに置換することにしました。文字数を減らすことと、URLのリンクが無効なものになることを防ぐためです。

　改行が特に多いのは深澤諭史弁護士のツイートです。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/11/24 12:12： <https://twitter.com/fukazawas/status/801624508796809216> ： 引用→　 （＃＾ω＾）赤字だから利権じゃないんだお！変な言いがかりは止めるんだお！！（・∀・）修習生の借金暮らしと引換えになったかもしれない補助金と，勤務先の赤字から貰う給料で食べるご飯は美味しいですか？#司法改革コント

　＾Mというような文字はWindowsパソコン環境での改行を意味する制御コードかと思いますが、10年ぐらい前は普通にあったものですが、最近では他に見かけることがありません。Windows環境が多いはずですが、なぜか他には見当たりません。

　本来この項目で取り上げることを予定していたものを、別の項目でということにしたいとも考えました。長く長すぎている、というのも理由ですが、他のことと関係づける目的もあるので、さらに長いものとなってしまうからです。鵜飼の目医者のこともそれになります。

2016-11-25　金曜日　10：37　＜＜ ［［　←これまでの記述範囲の終了時刻］］＜＜

国選刑事弁護という宇宙空間弁護士鉄道の理想世界、と被告訴人岡田進弁護士の罪責

:CATEGORIES: 2016年11月提出予定の告訴状 :TAGS: 告訴状の下書き,深澤諭史弁護士,向原栄大朗弁護士,岡田進弁護士

2016-11-25　金曜日　10：45　＞＞ ［［　←これからの記述範囲の開始時刻］］＞＞

　一昨日の夜になるかと思いますが、テレビのチャンネルをNHKにしていて、チャンネルを変えようと思っていたタイミングで、江戸時代の絵師、葛飾北斎をテーマにした番組が始まりました。

　初めにどこの星であったか忘れましたが、クレータの名前に「ホクサイ」があると紹介され、いきなり宇宙のことが出てきたので興味を惹かれ、チャンネルを変えないことにしたのですが、次に「須佐之男命疫神退治之図」が出てきたので、驚きを通り越し、巡り合わせを感じました。

　北斎といえば東海道五十三次など風景画や写実的な人物の描写しかイメージになかったのですが、疫神の絵はまるで多種多様なゲゲゲの鬼太郎の妖怪のようなものでした。これまでのイメージが一変しました。

　同じくNHKの番組でたまたま見たように思うのですが、宇宙と人体の神秘を同じようにとらえ、謎に迫るような番組を見たような記憶があります。最近私は、弁護士という人々を人体の神秘の一つ、生物学的な悪性の変種として考えるようになっていました。

　告訴受理の電話連絡を頂いたのは今月8日のことであったと思いますが、既に書いたようにその前日に、私は銀河鉄道999の初回放送をYouTubeで視聴していました。

　「さらば弁護士鉄道＼泥棒神社の物語」をメインテーマに掲げているぐらいなので、銀河鉄道999のことを考えることは多かったのですが、ラストの場面やメーテルという女性の謎について考えたり、調べることはあったのですが、物語の初めのことはすっかり抜け落ちていました。

　動画をみて、長い間深い底に眠っていた記憶が呼び起こされたのは、銀河鉄道999の旅の目的、目指すところが、機械の体を手に入れるため、であって、それも「タダ」ということでした。

　「タダ」と言葉でまっさきに思い浮かんだのは、日頃の深澤諭史弁護士の発言、ツイートの内容です。すでにまとめたものがありました。

参考資料：「タダ」をキーワードに含む「深澤諭史弁護士（@fukazawas）」のツイート（2013-08-06 10:19〜2016-10-21 11:39）「1／46」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=44233>

　上記のページからそこにあるツイートを次にいくつか直にご紹介しておきます。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2014/05/29 12:34： <https://twitter.com/fukazawas/status/471857063488786433> ： 引用→　 「淘汰だ！」「成仏だ！」「市場原理だ！」「他の職業だって大変だ！ただの資格に過ぎない！」「稼がないなら潰れろ！」 　　↓ 「弁護士なんだからタダで仕事しろ！」「泣き寝入りしろって言うのか！」「●●先生はタダでやっている！」「弁護士の不祥事は弁護士会が責任取れ！」

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2014/08/30 10:00： <https://twitter.com/fukazawas/status/505520503679758337> ： 引用→　 「お金ないから，タダで質問に答えて，訴状書いて，準備書面書いて，書き方教えて。」 うちの業界ではしょっちゅうですね。 ただ，お金がないからラーメン食べられないはともかく，医療同様，法律サービスが受けられないのはゆゆしき自体ですので，法律扶助の拡大が課題ですね。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2015/04/16 11:34： <https://twitter.com/fukazawas/status/588530856056131584> ： 引用→　 タダでトラブルの相談ができる場所，ということで警察が使われる傾向。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2015/10/12 22:27： <https://twitter.com/fukazawas/status/653562645824430080> ： 引用→　 ＞ＲＴ 「人を増やせば、無料だったり、持ち出しでも頑張ってくれる人が現れるはず！」 とかいう白昼夢は、平成の司法改革で懲りたとおもったんですがね。 まだまだ、夢から覚めません。 （・∀・；）

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/04/05 13:15： <https://twitter.com/fukazawas/status/717203956867448832> ： 引用→　 警察は正義の味方っぽいし，強制的に目的を実現してくれそうだし，悪い相手をやっつけて正しい私の願いを聞き届けてくれそうだし，なによりも「タダ」だし，って感じでなんでも相談に行かれる方は多いです。 ですが，刑罰法規に触れる行為って，数多くある「悪い」行為のなかでもごくごく一部です。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/05/11 17:54： <https://twitter.com/fukazawas/status/730320238789550080> ： 引用→　 @harrier0516osk 「タダみたいな仕事はしていないので、タダみたいな仕事をする五流弁護士を探してください」ですね(笑)

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/07/22 11:12： <https://twitter.com/fukazawas/status/756310986752163844> ： 引用→　 法テラスもそうだけれど，いい加減，弁護士に全部負担とリスクを押しつけて，「ぼくのかんがえたさいきょうのしゃかい」を実現するのをやめるべきです。

ツイート：harrier0516osk（向原総合法律事務所　弁護士向原）：2016/07/22 13:27： <https://twitter.com/harrier0516osk/status/756344848806846464> ： 引用→　 @fukazawas そういうことを言ってくる人や団体は、弁護士の労働力なんてタダだと思われている、すなわち弁護士は人とみなされていない無料で動く機械ないしはプログラムみたいなものだということでしょうから、ビジネスパートナーには成り得ないでしょうね。　＃法テラス問題

ツイート：HideoOgura（小倉秀夫）：2016/10/21 11:17： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/789289390182805504> ： 引用→　 一家に一冊、著作権法コンメンタールですね。RT @fukazawas: 著作物を盗む行為は，物を盗む行為より法定刑が重いとか，タダで公開されているからといって，自分の所に掲載しちゃダメとか，著作権法違反は指先だけで出来ちゃうから，このあたり，義務教育で少し教えた方が良いと思う・・

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/10/21 11:18： <https://twitter.com/fukazawas/status/789289782773821440> ： 引用→　 「漬け物石にも使えます！」「護身用武器にもどうぞ！」といえばいけるかもしれないですね（・∀・）RT @HideoOgura 一家に一冊、著作権法コンメンタールですね。RT @fukazawas: 著作物を盗む行為は，物を盗む行為より法定刑が重いとか，タダで公開されているからとい

　時刻は12時06分になっています。昼食をどうしたものかと思案しているところですが、深澤諭史弁護士のタイムラインを再読込すると、次のツイートが目に付きました。ストーカー関係のツイートです。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/11/25 10:52： <https://twitter.com/fukazawas/status/801966647971938305> ： 引用→　 ストーカー厳罰化、今国会成立へ＝SNS上の嫌がらせも規制（時事通信） - Yahoo!ニュース <https://t.co/sJAWhHvSm8> #Yahooニュース 厳罰化も結構だけれども，治療措置についても手当が必要だと思っています。

　引用されている記事をリンクを開いて読んだところですが、「時事通信 11/17(木) 19:32配信 」という記載があったので、一週間ほど前の配信のようです。毎日テレビを見ている時間も長いですが、これは初めて知りました。テレビは情報番組を中心に見ています。

　これまでの経験で、深澤諭史弁護士がストーカーのツイートをするときは、私の投稿を意識したタイミングであてつけと思われるところがあります。本人が表明しない限り確認は難しいかと思いますが、ストーカーに対する稚拙、短絡的な認識をうかがわせるもので、消費者被害を強く考えます。

　弁護士脳の治療というのは無意味なものと考えるようになっていますが、消費者被害の防止と社会防衛のため、法務検察においては厳重なる警戒とともに対策を講じていただきたいところです。それ故の資料提供でもありますし、社会共有の財産として、弁護士脳の深刻な問題性を提起しています。

　深澤諭史弁護士が紹介していた記事ですが、誤解を与えそうなところもあるので、全文を引用で次にご紹介します。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20161117-00000144-jij-pol ストーカー厳罰化、今国会成立へ＝SNS上の嫌がらせも規制 （時事通信） - Yahoo!ニュース

ストーカー行為の罰則を強化するとともに、インターネット交流サイト（SNS）上での嫌がらせも新たに規制対象とすることなどを柱としたストーカー規制法改正案が今国会で成立する見通しとなった。

　与野党が17日の参院内閣委員会で内容面で合意し、委員長提案の形で提出。18日の参院本会議で可決され、衆院に送付される。

　改正案は、ストーカー行為に対する罰則の上限について、現行の「懲役6月または罰金50万円」から「懲役1年または罰金100万円」へ引き上げる。また、SNS上で中傷したり、執拗（しつよう）にメッセージの送信を繰り返したりするなどの行為も規制対象に加える。

　同案はこのほか、被害者の告訴なしに起訴できる「非親告罪」とすることや、事前に警告を行わなくても「禁止命令」を出せるようにすることなども盛り込んだ。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　「SNS上で中傷したり、執拗（しつよう）にメッセージの送信を繰り返したりするなどの行為も規制対象に加える」という部分ですが、ストーカー規制法は、恋愛感情を必要要件としているはずで、この点に理解がないと誤解を与えそうです。

　深澤諭史弁護士その人も、私の評価や問題の提起を、誹謗や中傷の類いと認識している可能性がありそうです。

　酷評となっていることは否定しませんが、それだけ深刻な問題であると私は考えており、弁護士の情報発信力が高いこともあり、現状を正しく踏まえた上での対処を求めるため、本件告訴の告訴状と非常上告の参考に資料を提供しています。事後的な検証という意味合いを現段階では重視しています。

　次が深澤諭史弁護士を代表するようなツイートで、タイムラインの固定したツイートになって長いです。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2014/11/21 15:32： <https://twitter.com/fukazawas/status/535682105087238144> ： 引用→　 その「つぶやき」は犯罪です－知らないとマズいネットの法律知識（新潮新書） <http://t.co/1u2EdgwKxG> 電子書籍版も発売です。 ネットの書き込み等がどういうときに犯罪になるのか。 また，ネット上でまことしやかに流れる「神話」「デマ」についても徹底解説しています。

　このツイートを見るたびに私は、「私は神です。」と言っているような印象を受けてきました。小倉秀夫弁護士に対する当初のイメージも、「唯我独尊」であり、２ｃｈの掲示板のコメントで、「ご本尊」と名指しされているのを目にしました。2009年より前のことです。

　深澤諭史弁護士においては、天真爛漫な無邪気さのようなものも強く感じています。昨日あたりも書籍について、次のツイートをやっていました。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/11/24 08:59： <https://twitter.com/fukazawas/status/801575935275241472> ： 引用→　 お。つぶ犯の印税キター（・∀・）

　深澤諭史弁護士は目指す夢として、法曹、弁護士を目指し、それを実現したのだと思います。そして現在も、あるべき姿のような弁護士の理想郷、夜空にきらめく夢の世界を物語にしている、と私は見ています。その大きな投影がいわゆる「成仏理論」であり、同じ方向を目指す流星群の弁護士も多数。

　前の項目で書こうと考えたのですが、テレビでアニメの宇宙戦艦ヤマトやあるいは銀河鉄道999を見ていた頃、私はなにかで宇宙のブラックホールのことを知りました。今では見かけることのない言葉ですが、永遠にさまよい続ける宇宙の墓場だと聞いたように記憶しています。

　時刻は15時42分になっています。小雨の降るなか宇出津新港に行き、買い物をして戻ったのが14時半頃だったと思います。それから簡単に昼食を済ませました。

　買い物に出かける前に、ブラックホールについて調べていました。次に一部を引用します。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%96%E3%83%A9%E3%83%83%E3%82%AF%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%AB ブラックホール - Wikipedia

ブラックホール（black hole）とは、極めて高密度かつ大質量で、強い重力のために物質だけでなく光さえ脱出することができない天体である[1]。名称は、アメリカの物理学者ジョン・ホイーラーが1967年に命名した[2]。それ以前は、崩壊した星を意味する“collapsar”[3]（コラプサー）などと呼ばれていた。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　宇宙の墓場のようなものをイメージしていたので、違うような気もしましたが、思っていた以上に科学的な裏付けがありそうな理論です。昭和42年の命名とありますが、月面着陸も幼い頃の記憶として残っているので、それに近い時期ということになりそうです。

　今、ミヤネ屋が終わった後の石川県内ニュースで、小松市がDV被害相談で金沢弁護士会と提携というようなニュースをやっており、弁護士会会長の姿もありました。無償とのことですが、どこから活動の収入源をもとめているのか不思議です。職域の拡大を狙ってのことかとは思いますが。

　弁護士と関わること自体が、人生の墓場でありブラックホールへの入り口ではないかと考えていたところです。私も平成4年以来、弁護士と関わったことで、ブラックボックスのような空間を漂流し続けてきたようなものです。そこからだ脱出が「さらば弁護士鉄道」というテーマでもあります。

　病院で寝たきりになっている私の母親も、生存の確認さえ出来ない距離にある安藤健次郎さん夫妻も、かけがえのない人生を弁護士らに踏みにじられてしまいました。弁護士らはその自覚すらなく、都合のよい解釈をしていることでしょう。それが弁護士脳たる所以でもあります。

　弁護士の生物学的論理思考パターンの危険性をわたりやすく物語ってくれているのが深澤諭史弁護士やモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）、小倉秀夫弁護士だと考えています。それぞれに違いはありますが、弁護士の資格で人生を謳歌し我欲をみたす、自己肯定の強固な思い込みが前提です。

　彼らに比較して、被告訴人の弁護士らは、より慎重で用心深い動物的な本能さを感じさせます。それだけに裁きの場に引きずり出すまでの、準備は周到を要すると考えてきました。調べてはないですが、彼らはネットの利用もしてはいないようです。

　彼らは業火に包まれて燃え尽きるべきだと思っていますし、人間社会に居場所を与えてはならない、という意味で、私はネットのカバー写真にずっと前から「娑婆捨て峠」の看板の写真を掲げています。無期懲役という無限地獄を与え、二度と戻ってこれない世界に旅立たせ実在の伝説にすることが目標です。

　2,3日前にあらためて考えたことですが、一度だけ拘置所に接見に来た時の岡田進弁護士の態度は、どのように考えても異様すぎるものでした。帰り際には、ドアのノブに手を掛け、半開きにしたまま、立ち止まり、私を見据え睨みつけていました。

　何から何まで初めての経験であり、他との比較も出来なかったので、長い年月、謎として考え続けてきましたが、刑事弁護や国選刑事弁護という制度自体に強い疑問を持つようになり、比較として大いに考えさせられたのが、小倉秀夫弁護士や刑裁サイ太のツイートやブログへの書き込みでした。

　刑裁サイ太においては、その件で同業者である弁護士から品位を汚すものとして懲戒請求されそうになったという経緯もあるようです。それはFacebook上で巻き起こった反応らしく、閉鎖性が強く過去記事を辿りにくいというFacebookの特性もあって、内容は確認していません。

　人間社会から消えてなくなるべき存在という意味を込めて、これからは「弁護士流星群」という言葉を使って表現をしたいと思います。

　この2,3日の間も、国選刑事弁護について考えこまさせられるツイートがいくつかあったので、ご紹介をしておきます。まずは、深澤諭史弁護士のタイムラインからです。

リツイート：fukazawas（深澤諭史）＞2016/11/24 12:12／2016/11/24 12:10＞ <https://twitter.com/fukazawas/status/801624623754289152> ＞ mackckckck （弁護士ワック）＞ <https://twitter.com/mackckckck/status/801624100250652672> ＞ 引用＞　 国選弁護報酬の安さについては法テラス（政府）にだけ問題があるのではない。日弁連や各単位会も国選制度を「プロボノ」化し、一部の弁護士の問題提起に目を瞑っていた。 弁護士の所得が低下し採算性を考えなければならない状況になった今日、プロボノ化した国選制度に対する批判の目は鋭い。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/11/24 12:12： <https://twitter.com/fukazawas/status/801624508796809216> ： #司法改革コントの借金暮らしと引換えになったかもしれない補助金と，勤務先の赤字から貰う給料で食べるご飯は美味しいですか？

リツイート：fukazawas（深澤諭史）＞2016/11/24 12:07／2016/11/21 12:24＞ <https://twitter.com/fukazawas/status/801623360874524672> ＞ okaguchik （岡口基一）＞ <https://twitter.com/okaguchik/status/800540296312295424> ＞ 引用＞　 某弁護士さん「ロースクールの経費の大半は、教員と事務局員の経費でしょう。つまりロースクールは、赤字分だけでも年間5億円相当の雇用を創出しているわけです。そしてそれが、ロースクールの最大の存在意義です。制度開始当初から。」

　次は深澤諭史弁護士の書籍の共著者ともなっている向原栄大朗弁護士のタイムラインからです。

ツイート：harrier0516osk（向原総合法律事務所　弁護士向原）：2016/11/25 00:03： <https://twitter.com/harrier0516osk/status/801803525210525696> ： 引用→　 仕事なのにプロボノ扱いして、予算をつけるべき国に予算を取らせずして、そのリスクを全面的に弁護士に負わせてるのが国選であり法テラスであり、それらを推奨する日弁連、弁護士会で、そんなもんに月何万もの会費を取られて、弁護士会の求心力とか… <https://t.co/nh4dvnM1oK>

ツイート：harrier0516osk（向原総合法律事務所　弁護士向原）：2016/11/23 00:18： <https://twitter.com/harrier0516osk/status/801082435156905984> ： 引用→　 この制度ほど しょうもない という言葉が似合う制度はなかなかない。 <https://t.co/ZpzT4Jigse>

リツイート：harrier0516osk（向原総合法律事務所　弁護士向原）＞2016/11/22 23:57／2016/11/22 21:07＞ <https://twitter.com/harrier0516osk/status/801077029198172160> ＞ kotadon （こたんせ～食欲の秋）＞ <https://twitter.com/kotadon/status/801034439782342656> ＞ 引用＞　 法テラスは手を抜いて、さっさと事件を終わりにして手をかけないようにしないと、利益が上がりにくいので、依頼者にとっても損を招く構造的な問題がある

ツイート：harrier0516osk（向原総合法律事務所　弁護士向原）：2016/11/22 23:53： <https://twitter.com/harrier0516osk/status/801076123333332993> ： 引用→　 当たり前や。法曹養成制度を決めてる奴らが、弁護士が食えなかろうが知ったことかと言い放ち、リスクと負担だけを負わせてるんだから自然とそうなる。まともに付き合ってたら潰されるわ <https://t.co/eWBb2PBwbx>

ツイート：harrier0516osk（向原総合法律事務所　弁護士向原）：2016/11/22 23:47： <https://twitter.com/harrier0516osk/status/801074672737533952> ： 引用→　 産業の発展を考えたとき、法テラスは発展の基礎である人材を安く使ってるだけであり、これを推奨している限りは弁護士業の発展はない。 少なくとも自分はそれでは嫌なので <https://t.co/CwvhIHqRMA>

ツイート：harrier0516osk（向原総合法律事務所　弁護士向原）：2016/11/22 13:12： <https://twitter.com/harrier0516osk/status/800914930526351360> ： 引用→　 弁護士会がそもそもなんのためにあるのかから問い直されなくてはならないと思います。公益活動のためにあるんじゃないでしょ。会員の名簿管理と懲戒機能が基本でしょ。 <https://t.co/tAJHTuGOwL>

　「この制度ほど しょうもない という言葉が似合う制度はなかなかない。」というツイートが引用しているのは、次のツイートです。深澤諭史弁護士も裁判員制度には批判的ですが、ここまで否定的なものはないと考えこまされました。

ツイート：googlenewsso（GoogleNews 社会）：2016/11/18 23:11： <https://twitter.com/googlenews_so/status/799615918552645633> ： 引用→　 裁判員が次々に辞退 裁判が取り消しに… - 毎日放送 <https://t.co/G8MDh1Gj4Q> 2016-11-18 20:10:33

　弁護士による裁判の私物化というのは、本件告訴事件の根本的問題の一つなのですが、私は制度が実現する前から弁護士活動を監視する裁判員制度には社会の浄化、健全性という未来への希望を託してきました。

　ことあるごとに逆恨みと決めつけるか、分が悪ければ徹底的に無視するだけというのが弁護士の基本的スタンスです。極端な例では無差別殺傷事件という社会への報復もありますが、無差別の被害者は弁護士の泥棒根性、泥棒商売のとばっちりという可能性も大きいのではないかと、私は考えています。

　そういえば、4,5日前ぐらいに次の村松謙弁護士のTwitterアカウントが非公開になったことに気が付きました。プロフィールの写真も、それまで顔写真であったものが、アヒルのような動物の写真になっています。

amat(@kmuramatsu)さん | Twitterからの返信付きツイート <https://twitter.com/kmuramatsu/with_replies>

　村松謙弁護士は、神奈川県の小田原市で弁護士をやっているようにツイートをしていましたが、学校で法教育の講義をやっているようなことも言っていました。光市母子殺害事件の弁護士批判について、とても気になるツイートをやっていたので、取り上げておきたかったのですが、それも心残りです。

　もう一月以上前になるかと思いますが、気になることがあって村松謙弁護士のTwitterのタイムラインをかなりの数さかのぼりました。そこから間接的に発見したのは、宇都宮の爆発物自殺事件で、自殺者が家事裁判で揉めた相手方の代理人弁護士の名前を知ったことでした。

　元検事の女性弁護士でしたが、驚いたのは今市女児殺害事件の刑事裁判で、被害者側の弁護をしていた弁護士ということです。被害者参加制度という法律に基づく役割なのだろうと想像しましたが、刑事弁護人とは名称も違うのではないかと考えます。職務の内容もよくわかっていません。

　私が神について関心を強くし、いろいろ調べるきっかけになったのも、今年の3月の初め頃と記憶する今市女児殺害事件の刑事裁判の報道のことがありました。見たこともない立派な墓石をテレビで見て、神仏にたくす家族の思い入れの強さを感じました。

　それと同じ頃に見たのが、その今市女児殺害事件の刑事裁判に対する落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイートです。今から探しだして、ご紹介をしておきたいと思います。刑事弁護について深く考えさせられました。

"今市" from:yjochi - Twitter検索 [https://twitter.com/search?q=%22%E4%BB%8A%E5%B8%82%22%20from%3Ayjochi&src=typd&lang=ja](https://twitter.com/search?q="今市" from%3Ayjochi&src=typd&lang=ja)

　上記の検索結果からご紹介します。私の記憶とはずれているようなところがあり、3月の初め頃というものはないようです。これまでご指摘してきたように精度にかなり疑問のあるTwitterの検索ですが、それにしてもキーワードを含む期間の範囲が3週間程度に限定というのも気になりました。

ツイート：yjochi（落合洋司 Yoji Ochiai）：2016/04/01 20:44： <https://twitter.com/yjochi/status/715867489435910144> ： 引用→　 今市事件で、もし無罪になったら、というインタビュー依頼があった。

ツイート：yjochi（落合洋司 Yoji Ochiai）：2016/03/11 09:40： <https://twitter.com/yjochi/status/708090188577157120> ： 引用→　 今市事件は自白と遺体の状況、現場の状況が合わないというのも有罪認定上、かなり響くと思う。外形上、自発的に自白していた時期があるにしても、かなりのプレッシャーを取調べでかけられ苦し紛れの虚偽自白という要素を払しょくできないのではないか。客観証拠と重要部分で矛盾する自白ではまずい。

ツイート：yjochi（落合洋司 Yoji Ochiai）：2016/03/14 16:44： <https://twitter.com/yjochi/status/709284158984486912> ： 引用→　 今市事件は、自白→否認→自白という変遷状況を、録音録画による立証で、かえって裁判所に印象付け検察にとって逆効果にならないかと、素朴に疑問を感じる。

ツイート：yjochi（落合洋司 Yoji Ochiai）：2016/03/11 10:23： <https://twitter.com/yjochi/status/708100908282843136> ： 引用→　 取調べが可視化されると、取調べる側も、良い意味で演技力みたいなものがないとまずくなる。任意性、信用性のある供述を得る取調べであったと感じさせる演技力。アメリカではそういうトレーニングも盛んに行われていると聞く。今市事件には、いまいちなことが多い。

ツイート：yjochi（落合洋司 Yoji Ochiai）：2016/03/11 10:06： <https://twitter.com/yjochi/status/708096641127960576> ： 引用→　 過去の再審無罪事件でも、自白と客観証拠との矛盾について、信用性を大きく減殺する判断が裁判所により示されている。今市事件でも、裁判所は、そこは厳しく見てくるだろう。

ツイート：yjochi（落合洋司 Yoji Ochiai）：2016/03/11 01:19： <https://twitter.com/yjochi/status/707963993713868800> ： 引用→　 落合コメントあり。→Reading:今市事件 ７時間以上の取り調べの録音録画 再生始まる　NHKニュース <https://t.co/gvLBzSTycq>

　3月10日から4月1日のツイートになっています。3月3日の桃の節句、雛祭りのことを強く意識しながら今市女児殺害事件の刑事裁判の報道を見ていたという印象が自分のなかで固定されたものとなっていました。自分のTwilogから調べ少し確認をしておきたいと思います。

奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語(@hironohideki)/2016年03月01日 - Twilog <http://twilog.org/hirono_hideki/date-160301/asc>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/03/01 06:33： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/704419266104262656> ： 引用→　 殺人未遂で懲役２５年求刑、大阪　舞鶴事件無罪確定の男 <https://t.co/gHYWU7SRpP>

　何年も前の事件だと思っていたのに、この時期に求刑があったというのは意外でした。判決は求刑よりずいぶん軽くなっていたという印象が残っています。わいせつ目的だったことが、世間の関心がほとんどなくなった頃に、さりげなく報道され、ささやかなものとなっていたのも印象的な裁判でした。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/03/01 10:13： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/704474714564120576> ： 引用→　 東被告に求刑上回る無期懲役判決　宮崎市女性殺害（宮崎日日新聞） - Yahoo!ニュース <https://t.co/c9UDpnvaPu>

　記事はリンク切れでしたが、調べるとすぐに別の記事が見つかりました。有期懲役の懲役が無期懲役となったというのも、初めて知るような驚きがありましたが、他に気になる点もあるので、無期懲役という量刑について参考にして頂きたく、一部引用でご紹介しておきたいと思います。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://mainichi.jp/articles/20160301/k00/00m/040/077000c 宮崎女性殺人：求刑上回る無期懲役判決　交際の無職男に - 毎日新聞

被害者側の弁護士によると、遺族３人が涙を流して判決を聴いた。公判で「友美を人間として扱わなかった被告を死刑にしてほしい」と訴えた母親は遺品の黒いスーツに沢木さんの写真が入ったペンダントを着用。判決後「私たちの訴えたいことを酌んでいただき、ありがたい」とのコメントを出した。被告の弁護士は判決後、控訴の方針を明らかにし、宮崎地検の河原将一次席検事は「上級庁と協議し適切に対応したい」と述べた。【尾形有菜】

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/03/01 12:05： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/704502847623266305> ： 引用→　 検察官役に敏腕弁護士＝記録膨大、準備7カ月―福島原発（時事通信） - Yahoo!ニュース <https://t.co/qTqKuu5tmG>

　yahooニュースはリンク切れが早いと思うので、確認もしていませんが、検察官役の弁護士の一人は、東電OL殺害事件で成果をあげ、刑事弁護の神様とも呼ばれることのある神山弁護士のことだと思います。

東電　神山 - Google 検索 [https://www.google.co.jp/#q=%E6%9D%B1%E9%9B%BB%E3%80%80%E7%A5%9E%E5%B1%B1](https://www.google.co.jp/" \l "q=東電　神山)

　確認のため上記のように検索をすると、意外なことに次の記事がトップに来ました。原発事故のつもりでキーワードを指定したのに、おかしいと思ったのですが、どちらも東電ということで同じでした。原発反対だった被害者が売春婦という汚名とともに抹殺されたという都市伝説のようなものもあります。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://gendai.ismedia.jp/articles/-/34136 東電OL殺人事件　テレビにも出ないしカネももらわない　ゴビンダさんの弁護団　15年間の冤罪法廷で勝ち取ったもの（週刊現代） | 現代ビジネス | 講談社（1/4）

司法の判断に納得していない、という本音が行間から伝わってくる。

「あの事件では弁護人にものすごく捜査妨害された。ゴビンダを逮捕した晩、弁護人が接見した途端に完全黙秘になった。留置場から(取り調べに)出てこないこともあったが、それも弁護人の入れ知恵。神山、神田、佃の『カンカンツク』ですよ」(平田氏)

 当時、捜査一課の刑事たちはゴビンダについた神山啓史、神田安積、佃克彦の三弁護士を「カンカンツク」と呼んで忌み嫌っていた。このエピソードを聞き、「それはむしろ名誉なことですね」と語るのは、カンカンツクの一角をなした佃克彦弁護士(48歳)だ。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　一部引用しましたが、閲覧できたのは4ページあるらしい1ページ目だけで、続きを読みにはプレミアム会員登録が必要（初月無料）と出てきました。この部分に神山弁護士の具体的紹介はありません。

　アーカイブ扱いのためか以前見たページのデザインともことなっていますが、見出しの上の方に「２０１２．１１．２９」という日付のあることを確認しました。ちょうど今から4年ほど前の記事であったことになりそうです。

　東電OL殺人事件のことは、「参考資料扱いにした過去の告訴状の下書き」にも書いたと思いますが、まだ宇出津小学校の近くにあった公民館のなかの図書館で、「検察の疲弊」という本と一緒に借りた本で読みました。読んだ本の内容のことは余り記憶に残っていないですが、ミステリアスな印象でした。

　最終的に再審無罪となった事件かと思いますが、別人の皮膚片のDNAまで出てきたというもので、物理的に犯人性がもともとなかったことになりそうですが、弁護団が先走って捜査を引っ掻き回し、傷を大きくした事件という印象が強くなっています。弁護士の目の向けどころが端から別にあったとも。

　DNA鑑定が決め手となって再審無罪となったのは、宇都宮や今市と同じ栃木県の足利事件ですが、あれはもっとも大きな報道となり、それをプロモートしたのも佐藤博史弁護士という印象でした。

　佐藤博史弁護士とは別の弁護士が中心的に関わっていたという話を比較的最近になって知りました。7月の告訴状を提出した後だったように思いますが、はっきりと思い出せません。それも今市女児殺害事件につながっています。あとで取り上げたいと思います。

　1700万部を超す「宇宙兄弟」の作者というのをテレビでやっています。「沸騰ワード10スペシャル」という番組のようです。その前にいくつかチャンネルを変えていました。テーマが肉食産業になったので関心が薄れましたが、その前に種子島の宇宙開発基地が取り上げられていました。

　ジャクサというのか英語の頭文字の綴りは忘れましたが、そこの社員食堂が紹介されていて、東大出身ということでリポータが驚いていました。宇宙開発に携わっていることで学歴には納得ですが、東大出身者を含め、弁護士には異常者、規格外生物の異常性という印象しかないと、改めて思いました。

　光市母子殺害事件の安田好弘弁護士が手始めですが、弁護士には本当に異常という印象が何よりも強く大きくなっています。神様の目線でふざけたやつらです。根こそぎ消えてなくなってもらうか、焼け野原からの抜本的な改革が急務であると考えます。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/03/01 12:21： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/704506705745293312> ： 引用→　 葬式騒動 - 恒心史 唐澤貴洋弁護士の炎上 <https://t.co/jkp1mvYBJw>... <https://t.co/9jFMAYpJQD>

　唐澤貴洋弁護士の影響力についても取り上げてご紹介しておきたかったのですが、打ち切りました。何より経験になったのは、まとめサイトを一通り読んだことで、労力と時間の消費に暗澹たる思いになりました。NHKで素顔を見た頃、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）の気になるツイートが。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/03/01 15:48： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/704558835260792832> ： 引用→　 「栃木７歳女児殺害 公判２日目、捜査した警察官に証人尋問」　News i - TBSの動画ニュースサイト <https://t.co/mhRLwiWV5D>

　今市女児殺害事件関連のものとしてみつけましたが、元の動画記事は削除されリンク切れとなっていました。はてなダイヤリーで記事にしたことを含め、記憶にはなかったものです。

リツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）＞2016/03/01 17:56／2016/03/01 12:21＞ <https://twitter.com/hirono_hideki/status/704591097314435072> ＞ kenkataoka （片岡健）＞ <https://twitter.com/ken_kataoka/status/704506831154999297> ＞ 引用＞　 午前の部終了。前出マルヤマさんは今市事件捜査本部で特捜班長という肩書きを与えられ、事実上現場のトップだったとか。そんな彼が別件の偽ブランド品販売事件の捜査に関与していた事情を弁護人が追及し、マルヤマさんがのらりくらり答えるという、ありがちな尋問が終わりました。♯勝又拓哉被告公判

リツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）＞2016/03/01 17:56／2016/03/01 06:17＞ <https://twitter.com/hirono_hideki/status/704591196878827521> ＞ ralutake （田中一郎／名無しの編集総務さん）＞ <https://twitter.com/ralutake/status/704415228700721153> ＞ 引用＞　 無罪を主張する弁護側は、検察側の証拠にことごとく反論。凶器などの直接証拠がない中、裁判員は自白の任意性や信用性などについて難しい判断を迫られる。 栃木・旧今市の小１女児殺害：全面対決　客観証拠、評価難しく　地裁初公判 - 毎日新聞 <https://t.co/RkxOUlUxlf>

　今市女児殺害事件に関するツイートでしたが、これも記憶にはなかったです。片岡健というアカウントはジャーナリストとして見覚えがありますが、ずいぶん久しぶりに目にしたように思いました。

　今、テレビでは「イルカの夫を襲った・・・パーキンソン病　歌手活動の裏で・・・　夫を20年介護」という番組を見ています。この放送は番宣でも見て知っていました。1969年に知り合ったとのことです。

　2本のレギュラー番組を抱え年間100本のコンサートを行いながら北海道旭川への二重生活を続けていた、とのことです。

　歌手のイルカといえば、フォークソングの「なごり雪」で中学生の昭和50年代の初め頃から知っていて、懐かしさもありますが、人知れず立派な人生を歩んできたのだと思うのと同時に、弁護士のゴミクズ性には、世の中のバランスの悪さを新たな思いとしました。

　被告訴人の一人として一律、無期懲役に行ってもらうことを要望する長谷川紘之弁護士の告訴状に、安藤文さんの深刻な後遺症の症状のことが書いてありました。それも平成6年秋のことになります。1994年になるので、それも今から22年前のことになりそうです。

　安藤文さんの後遺症がどの程度回復したのかも私には知りようもありません。生存すら未確認の状態ですが、昭和11年12月25日生まれという父親の安藤健次郎さんは、すでに日本人男性の平均寿命を超えているはずで、供述調書で見た母親の紀世さんの生年もそれに近かったと記憶しています。

　安藤文さんも家族の介護を受けていたと聞きましたが、平成11年の夏、傷害事件を起こしたことで金沢中警察署の刑事さんから、最近になって身体障害者として仕事に就くことが出来るだけ回復した、と聞くことが出来ました。

　その後、真意は別として平成18年の10月には、金沢中警察署の山出警部補にストーカー扱いされ、家に近寄らないという誓約書まで書かされました。私に何かを気付かさせるための手段だったのかもしれませんが、破滅こそ相応しい弁護士相手に、全ては無意味で逆効果だったのだと思います。

　時刻は20時12分です。深澤諭史弁護士のタイムラインに2件の更新があったので、読み込むと最新のものとなるリツイートは市川寛弁護士のツイートのリツイートでした。市川寛弁護士は私のアカウントを誰よりも徹底的にブロックしたもので、落合洋司弁護士と坂本正幸弁護士に次ぎます。

リツイート：fukazawas（深澤諭史）＞2016/11/25 20:06／2016/11/25 16:35＞ <https://twitter.com/fukazawas/status/802106247356874752> ＞ imarockcaster42 （弁護士 市川 寛）＞ <https://twitter.com/imarockcaster42/status/802053126383513600> ＞ 引用＞　 何のために被疑者の実名を報道すべきなのかを明らかにしてから意見してほしい。社会的制裁目的では賛同し難い。

　20時からだと思いますが、テレビで久しぶりのものまね番組を見ています。「わたし祈っています」という曲が出てきたのでとても懐かしく思いましたが、最近少なくなっていると思うものまね歌謡番組は、刑務所で優先的に見せてもらったという印象があり、独居房での生活のことも思い出します。

　ものまね芸人コロッケが、久しぶりに姿を見るとずいぶん違っていると見えていたのですが、どうやらものまね芸人コロッケのものまねだったようです。

　今年はそれに似たような経験がありました。6月に輪島市民まつり、を見に行った時ですが、イベントのメインの花火大会がある前、御陣乗太鼓の演奏の直前で20時頃だったように思います。

　ステージにアントニオ猪木のような人物が出てきて、ゴルフ場にいたところゴーゴーカレーの社長に誘われて、ここに来たような話をしていましたが、ずいぶん日焼けしているように見えました。アントニオ猪木といえば色白という印象が強かっただけに、まずそこで違和感を感じました。

　それにアントニオ猪木本人が出てきたにしては観客の驚きや盛り上がりも少なすぎるように感じました。家に戻ってからネットで調べましたが、輪島に来たという情報はごくわずかで、一つだけものまね芸人だったようなツイートがあって、かろうじて疑問を解消することが出来ました。

　それはアントニオ猪木氏本人かどうかということよりも、輪島から戻った直後にモハメド・アリ氏が亡くなったという報道があったからです。異種格闘技戦は、中学生の時見た記憶が強くありましたが、それも調べた過程で、夜に見た放送は、録画で生放送ではなかったらしい、ということを知りました。

　翌日の夕方のテレビニュースだったように思いますが、アントニオ猪木氏本人のコメントがあって、それを見た時は、本当に日焼けをしていると思いました。本人ではなかったらしいと確認したのは、その後のことであったように思います。

　アントニオ猪木氏とモハメド・アリ氏の異種格闘技戦は、娯楽の少なかった時代でもあり、大きな注目を集めた一大事でした。モハメド・アリ氏はアトランタオリンピックの最終聖火ランナーとして脚光を浴びましたが、震えの止まらないパーキンソン病のいたいたしい姿であったことも印象的でした。

　アメリカで行われた直近のオリンピックがアトランタオリンピックという記憶ですが、それも福井刑務所の服役中に見たという思い出があります。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A2%E3%83%88%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%82%AA%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%83%E3%82%AF アトランタオリンピック - Wikipedia

アトランタオリンピックは、1996年7月19日から8月4日までアメリカ合衆国のアトランタで行われた第26回夏季オリンピック。近代オリンピック開催100周年記念大会。2015年時点では、アメリカで最後に行われた夏季オリンピックである。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　確認のため調べると、平成8年の夏のオリンピックでした。満期出所をする半年ほど前だったということは、少し意外でした。まだ、出所のことなど何も考えていない時期に、オリンピックを見ていたという感覚だけが残っていたからです。

　時刻は21時04分です。夕食の支度に取り掛かりたいところですが、ものまね番組を見ています。イチオシの歴史的注目弁護士の一人、刑裁サイ太も別の市川寛弁護士のツイートをリツイートしていました。

リツイート：uwaaaa（サイ太）＞2016/11/25 20:10／2016/11/25 16:46＞ <https://twitter.com/uwaaaa/status/802107140642992128> ＞ imarockcaster42 （弁護士 市川 寛）＞ <https://twitter.com/imarockcaster42/status/802055891226791937> ＞ 引用＞　 「普通の被疑者は実名報道されて社会的制裁を受けているのに、一部の特権階級はそれを免れているのはおかしいから、みんな実名報道されるべし」は理屈が逆ではないか。みんなが社会的制裁を免れられるよう実名報道をやめようと言うのが筋だろう。もっとも、実名報道の目的が社会的制裁でないなら話は別

　最近はブックマークからタイムラインを開くこともほとんどなくなっていた市川寛弁護士ですが、やたらとツイートを削除することでも、他に例を見ない特徴がある弁護士で、元検事ということで、いっそう深刻さを考えさせられる人物です。成れの果ての一つにしても、検察庁で深刻に受け止めて下さい。

　モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）、郷原信郎弁護士、落合洋司弁護士（東京弁護士会）、いずれも元検事の弁護士ですが、社会に与える悪影響という点でも、自分のこれまでの深刻な不利益を含め、声を大にして出来る限り紹介しておきたいです。とても異常に映るという点も、際立っています。

　時刻は21時16分です。そろそろ夕食の支度にとりかかります。実は今日、ホームセンタームサシ能登店で、1180円だったように思いますが、包丁を買ってきました。魚用の出刃包丁は別に、100円ショップ以外の包丁を買ったのは、7,8年ぶりのことになるかと思います。

　時刻は21時38分です。包丁と一緒に処分品として585円ぐらいになっていた野菜の水切り器を買ってきて、千切りキャベツで使ってみたのですが、期待していたよりはるかに上回る優れた商品で大満足をしました。弁護士は100円ショップ以下だと思ってきましたが、普通の商品の違いを感じました。

　時刻は22時50分です。さきほどものまね番組が終わったところです。優勝がイタリアの曲というのも意外でしたが、時代の変化のようなものも感じました。そろそろ夕食の支度に取り掛かります。刑務所の独房での生活を思い出しながら、自由な時間に食事が出来るという当たり前のことの意味を。

　今夜は、弁護士鉄道のツイートの更新は少ないようです。母親がまだ元気であった頃とか、安藤健次郎さんのことなど思いを馳せて思い出すことがありますが、自分を含め人間が老いゆく時の流れもあらためて考えました。弁護士は許せません。そういう言葉も心底繰り返したくなります。化け物です。

　時刻はちょうど11月26日の0時00分です。誕生日なので一つ年を重ねたことになりますが、52歳になったのかはっきり計算が出来ません。1964年の生まれなので、bcコマンドで計算すると52でした。一つ得をしたような気分になりました。

　さきほど遅くなっていた夕食を終えたところです。予定を変更して簡単に済ませましたが、買ってきた野菜の水切り器の威力は想像を超えたもので、逆に乾燥が心配になるほどです。探して600円弱というお金で、とても便利が物が手に入るものだと、つくづく思いました。

　時刻は11月26日10時20分になっています。テレビで家事えもん、を見ていますが、面白くてためになる番組だと感心しながらみています。小倉秀夫弁護士のタイムラインは更新がぼちぼとペースになっていますが、また変わったツイートを目にしました。ちょっとご紹介しておきます。

ツイート：HideoOgura（小倉秀夫）：2016/11/26 09:45： <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/802312202002657280> ： 引用→　 乾燥機つき洗濯機を導入すればよく、月３万円もかける必要はありませんね。RT @eustaceplus: また、オートロックの抑止効果は、自宅内で行われる犯罪に絞って行われるべきではないでしょうか？「下着泥が減るならいいじゃん」という反論を許してしまいます。

　性犯罪防止の補助金絡みのツイートなのだと思います。小倉秀夫弁護士のツイートは、たまに再読み込みをして目に入ったものを少し読む程度ですが、昨日あたりから落ち着いて見えるものの、それまではずいぶんなハイペースで、大量のツイートを連発していました。

　2,3日前にまとめたブログ記事があるかと思いますが、一日あたり100件から120件以上という感じでした。

参考資料：小倉秀夫弁護士（@HideoOgura）のツイート（646件、 2016-11-21 10:13〜2016-11-24 13:26：2016年11月24日14時14分の記録）「1／646」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=45901> 参考資料：小倉秀夫弁護士（@HideoOgura）のツイート（646件、 2016-11-21 10:13〜2016-11-24 13:26：2016年11月24日14時14分の記録）「101／646」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=45905> 参考資料：小倉秀夫弁護士（@HideoOgura）のツイート（646件、 2016-11-21 10:13〜2016-11-24 13:26：2016年11月24日14時14分の記録）「201／646」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=45909> 参考資料：小倉秀夫弁護士（@HideoOgura）のツイート（646件、 2016-11-21 10:13〜2016-11-24 13:26：2016年11月24日14時14分の記録）「301／646」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=45913> 参考資料：小倉秀夫弁護士（@HideoOgura）のツイート（646件、 2016-11-21 10:13〜2016-11-24 13:26：2016年11月24日14時14分の記録）「401／646」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=45917> 参考資料：小倉秀夫弁護士（@HideoOgura）のツイート（646件、 2016-11-21 10:13〜2016-11-24 13:26：2016年11月24日14時14分の記録）「501／646」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=45921> 参考資料：小倉秀夫弁護士（@HideoOgura）のツイート（646件、 2016-11-21 10:13〜2016-11-24 13:26：2016年11月24日14時14分の記録）「601／646」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=45923>

　初めにずいぶんと小倉秀夫弁護士のツイートの数が多くなっていると気がついたのは、オレンジ色の漁船の灯りを見て小木港から戻ってきたあとのことでした。

　小倉秀夫弁護士は昨日辺りに、一日に100件のツイートぐらい文字数がどれだけぐらいなのでたいしたことではない、仕事で普通にやっていることなどとツイートをしていましたが、職務専念という意味でも疑問が大きいですし、書いている内容も時間を掛ける意味があるとは思えないものです。

　娘が都会ぐらしで性犯罪にあわないよう心配する親心を、揶揄するような内容も散見されたので、つぶさに目を通しておきたい気持ちはあったのですが、600件などというツイートを一度に読むとなると、相当の時間を費やすことにもなり、やめておくことにしました。

　どんなに人心をかくらんし、その神経を逆なで、世の中をかき乱しても、弁護士としての仕事が舞い込み利益になればよい、という割り切りが、小倉秀夫弁護士には強く現れていると思いますし、出来上がった機械、弁護士マシーンに思えます。

　小倉秀夫弁護士は、その機械的な思考で、私を評価し、それを放置し続けています。弁護士脳としてのデータの蓄積では導かれる評価なのかとも考えますが、業界内の都合に合わせ築き上げたデータの蓄積のみをベースにしたもので、社会情勢の変化をにらんだ洞察力も対応力も感じることはありません。

　小倉秀夫弁護士は歴史認識も、事実認識も都合次第の自由自在です。まるでタイムマシンを所有した異次元世界からその全てを確認してきたようなことを臆面もなく述べています。まあ、そのおかげで事実の記録の重要性を私は学んだのですが、それはモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）も同じ。

　時刻は11時01分になっていますが、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）と深澤諭史弁護士のタイムラインに更新はないようです。

　昨日の夕方、深澤諭史弁護士の共著者の一人である野田隼人弁護士の次のツイートから、考えさせられる深澤諭史弁護士の評価を見たので、それをご紹介しておきたいと思います。深澤諭史弁護士に異常を感じるのではなく、信心しすがるようにも見えるコメントでした。

ツイート：nodahayato（弁護士　野田隼人）：2016/11/24 21:02： <https://twitter.com/nodahayato/status/801757778280783872> ： 引用→　 弁護士独立開業QAの書評３ <https://t.co/3eBaQ6caRW>

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://mbp-hokkaido.com/bengo884/column/3114/ 弁護士にとって厳しい現実 - 林朋寛 [マイベストプロ北海道]

北周士ほか『弁護士 独立・経営の不安解消Q&A』　という本が最近でました。 　弁護士が勤務先の事務所から独立して自分の事務所を経営するにあたっての疑問等に、弁護士歴10年弱くらいの５人の弁護士が見解を述べている本です。 　著者は、弁護士として私より数年お若い方々ですが、事務所経営をしている弁護士として、とても参考になる本でした。

　この中で、深澤諭史弁護士が、次の指摘をしていた（158ｐ）のが、鋭く、かつ、厳しく感じました。

「『意外と弁護士を探している人は少ない』」 「市民そして会社ですらも、ある業務が弁護士業務であるかどうか、ということには驚くほど認識がなく、興味ももたれていません。」 「病気と医師の関係に例えれば、『そもそも病気なのに本人がほとんど病気に気が付かない。仮に病気だとしても病院に行くという発想がない。それなのに、なぜか自称超能力者のところに頼みに行く』というのが実情」

　このように改めて文字化した指摘は、自分のしている弁護士業が社会に認知されていないものであることを思い知らされます。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　「病気と医師の関係に例えれば、『そもそも病気なのに本人がほとんど病気に気が付かない。仮に病気だとしても病院に行くという発想がない。それなのに、なぜか自称超能力者のところに頼みに行く』というのが実情」、というのも書籍からの引用と思える部分です。

　安易にストーカーを病人扱いし、それで問題を片付けようとするのも深澤諭史弁護士らしい特徴です。

　「なぜか自称超能力者のところに頼みに行く」というのも特異な認知を感じます。これまで社会問題になってきた霊感商法や祈祷師による致死事件のようなものを意味するのかと考えますが、それを一般化していて、説明を裏付ける具体性がないのも、深澤諭史弁護士らしい軽薄さ、欺瞞性を感じます。

　深澤諭史弁護士その人こそ、司法試験に合格し、司法修習を受け、弁護士になったことで、仙術を習得した修行僧のように自ら思い込んでいるふしがあります。病的徴候と思えるようなツイートも、これまでずいぶんと目にしてきました。

　私は自分がストーカー扱いされる立場に仕立てあげられ、精神の破壊にも直面させられたという経験があるので、感覚も敏感になっているのだと思いますが、深澤諭史弁護士にはモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）や小倉秀夫弁護士同様の社会的危険性を感じ警鐘を鳴らしてきたつもりです。

　精神的な余裕がなくなっている弁護士というのも多いと思われます。深澤諭史弁護士はその弁護士の困窮の全てを、司法制度改革やロースクールの教育に帰責しています。それは価値観を共有する弁護士らの怨嗟の的として「成仏理論」と称されているものです。

　本来、成仏理論というのは、とある大学教授の訓辞のようなものであったという印象ですが、それを嘲り批判するスローガンのような運用が深澤諭史弁護士など一部の弁護士らによって提唱がなされています。

　時刻は13時19分です。昼食を済ませました。昨夜予定していた鶏肉4切れと鳥つみれの水炊きを作りました。モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）と深澤諭史弁護士のタイムラインの更新は、まだないようです。

　昼食の支度にとりかかる前に、キーワードでのツイートのまとめを３つ作っていました。ブログ記事として投稿済みです。次になります。

参考資料：「消毒」をキーワードに含む（法クラ・弁護士・ジャーナリスト関連）のツイート（7アカウント、13件、 2010-05-12 07:28〜2016-09-08 12:13）「1／13」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=45963> 参考資料：「ヒャッハー！」をキーワードに含む（法クラ・弁護士・ジャーナリスト関連）のツイート（3アカウント、11件、 2013-10-10 22:25〜2016-09-24 11:58）「1／11」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=45965> 参考資料：「一子相伝」をキーワードに含む（法クラ・弁護士・ジャーナリスト関連）のツイート（3アカウント、5件、 2013-08-05 01:50〜2016-08-14 13:06）「1／5」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=45967>

　アカウント自体が、削除により消滅していますが、ノースライムなどと名乗っていた北周士弁護士の次のツイートをご紹介することが、主たる目的でした。

［Noooooooorth\_2016112611432／13のツイート］ ％Noooooooorth（ノースッラー）のツイート％投稿日時％2015-08-06 08:43:00％ツイートのURL％ <https://twitter.com/Noooooooorth/status/629075216698703872> ％ ％Noooooooorth（ノースッラー）のツイートの内容％ #％引用％ 弁護士会にも「非弁は消毒だー！ ヒャッハー！！」くらいの気概が欲しいところである。 ％データベースへの登録日時％2016-03-21 06:47:39％

　漫画「北斗の拳」に出てくるセリフのアレンジですが、私はパチスロ機の演出として、それを知っていました。昭和の時代の漫画もはじめの方の一部しか読んでおらず、アニメの放送も見た記憶がありません。

　世紀末の世界観において支配者のようにふるまう弁護士の立場を、ある種の衝撃を伴ってほうふつとさせるものでした。

　これは深澤諭史弁護士と弁護士ばびろん（現在は別名）もリツイートしており、いっそう異様な世界観を印象づけました。

［mackckckck\_2016112611433／13のリツイート］ ＞mackckckck（弁護士ばびろん）のリツイート＞このリツイートの日時＞2015-08-06 09:31:00＞ URL＞ <https://twitter.com/mackckckck/status/629087336660234240> ＞ ＞mackckckck（弁護士ばびろん）がリツイートしたNoooooooorth（ノースッラー）のツイートの内容＞ #＞引用＞ 弁護士会にも「非弁は消毒だー！ ヒャッハー！！」くらいの気概が欲しいところである。 ＞元のツイートの投稿日時＞2015-08-06 08:43:00＞元のツイートのURL＞ <https://twitter.com/Noooooooorth/status/629075216698703872> ＞データベースへの登録日時＞2016-03-21 06:47:24＞

［fukazawas\_2016112611434／13のリツイート］ ＞fukazawas（深澤諭史）のリツイート＞このリツイートの日時＞2015-08-06 10:30:00＞ URL＞ <https://twitter.com/fukazawas/status/629102151365562368> ＞ ＞fukazawas（深澤諭史）がリツイートしたNoooooooorth（ノースッラー）のツイートの内容＞ #＞引用＞ 弁護士会にも「非弁は消毒だー！ ヒャッハー！！」くらいの気概が欲しいところである。 ＞元のツイートの投稿日時＞2015-08-06 08:43:00＞元のツイートのURL＞ <https://twitter.com/Noooooooorth/status/629075216698703872> ＞データベースへの登録日時＞2016-03-21 06:47:02＞

　ブログ記事にしたまとめでは、次の深澤諭史弁護士のツイートも見つけました。独自の世界観の丸出しです。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2015/08/06 10:32： <https://twitter.com/fukazawas/status/629102835574030336> ： 引用→　 偽医師がトンデモ療法で被害を出すのと同様，非弁にも被害があり，消費者問題でもあり，単に職域の問題ではないわけですから，公益的観点からも厳正対処すべきですよね。 RT @Noooooooorth 弁護士会にも「非弁は消毒だー！ ヒャッハー！！」くらいの気概が欲しいところである。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/04/21 10:55： <https://twitter.com/fukazawas/status/722966924750000128> ： 引用→　 大災害や大事故が起きるたんびに横行する不謹慎狩り。 「ヒャッハー！不謹慎な奴を見つけたぞーー！！」 「おい！こいつ！こんなことつぶやいてるぞー！！」 「弱みのある奴は消毒だーー！」

　時刻は14時44分です。更新がないと思っていたモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のTwitterのタイムラインは、「最新のツイートの表示」がなかっただけで、かなりの数の更新があったことが、ページの再読み込みでわかりました。全くの平常運行といった感じです。

　時刻は11月28日7時46分になっています。昨日は何も書かずに終わってしまいましたが、新たなアイデアとともに頭の整理が出来たように思います。それに従って、次の作業に移りたいと思います。

2016-11-28　月曜日　07：50　＜＜ ［［　←これまでの記述範囲の終了時刻］］＜＜

悲しみの裏側にあるもの、さらば弁護士鉄道への軌跡（歴史認識と氷見強姦冤罪事件・深澤諭史弁護士、ジャーナリストの江川紹子さん編）

:CATEGORIES: 2016年11月提出予定の告訴状 :TAGS: 告訴状の下書き,深澤諭史弁護士,ジャーナリストの江川紹子さん

2016-11-28　月曜日　07：55　＞＞ ［［　←これからの記述範囲の開始時刻］］＞＞

　ほぼ昨日の午前中に考えていたタイトルになりました。ジャーナリストの江川紹子さんのことをセットにしようと考えたのは、昼過ぎのことであったかもしれません。深澤諭史弁護士の共著者である向原栄大朗弁護士のリツイートがきっかけでした。

　いきなり本題から外れますが、本日は美濃加茂市長事件の控訴審判決があるとのことです。一昨日の夜だったように思いますが、郷原信郎弁護士のタイムラインのツイートで知りました。

　昨夜確認したところ、ジャーナリストの江川紹子さんのタイムラインには、リツイートを含めそれらしいものは見当たりませんでした。以前、現地に出向いて公判を傍聴したというような発言も目にしているので、本日判決があることをしらないことはないように思いますが、確認は出来ません。

　さきほど、次のようにTwitterで検索をしてみました。

(4) 市長　控訴　判決 - Twitter検索 <http://bit.ly/2gzVExx>

　美濃加茂市長事件のものもありましたが数は少なく、タイムラインを遡るとすぐに、大川小津波訴訟で石巻市長が控訴したというニュースの関連がほとんどになりました。テレビでニュースを見ていた頃も思ったことですが、弁護士らがなぜか示し合わせたように無反応に近い状態でした。

　やや強引かなとも思いましたが、深澤諭史弁護士とジャーナリストの江川紹子さんをセットにしたのは、「心の病」というキーワードをメインに据え、報道のあり方についても法務検察において参考にして頂きたいからです。

　まず目について、内容を読んで、深く考えさせられたのは深澤諭史弁護士の次のツイートでした。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/11/26 18:40： <https://twitter.com/fukazawas/status/802446844684996610> ： 引用→　 自分はDVしていないと暴力的な方法で訴える者。 自分はストーカーしていないとストーカーして訴える者。 元自衛官の事件もありましたが、こういう方々には、処罰だけではなくて、適切な支援や、治療の機会を与えるべきだと思います。 ストーカー、DVには、もう少しダイバージョンの発想を。

　昨日の朝に読んだように思っていたのですが、26日ということは一昨日の夕方、18時40分の投稿ということになります。

　時刻は9時29分です。Aコープ能都店のプチイベントで買った京都の有名店のラーメンを作って食べ、それから新聞を少し見ていました。新聞の中身を見たのは久しぶりで、昨日の新聞もポストに入ったまますっかり忘れていました。

　深澤諭史弁護士のタイムラインを探したところ、昨日の午前中に見つけたツイートは次のツイートでした。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/11/27 10:26： <https://twitter.com/fukazawas/status/802685068087062528> ： 引用→　 以前の法曹養成制度は，文字通り焼け野原から始まったわけだが・・。新しい法曹養成制度が，営々と積み上げてきたものを，ものの１０年で焼け野原にしてしまったのは，歴史の皮肉か。

　新聞で調べたのはテレビ欄の情報番組、ニュース番組の見出しに、美濃加茂市長事件の控訴審判決のことがないか、ということです。他の関心事の見出しはありますが、美濃加茂市長事件のことは全く見当たりませんでした。次が北陸中日新聞のデジカメの写真になります。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-28 09:51 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/803038582713651200> 2016-11-2809.27.33.jpg <https://t.co/up2Je0fbPd>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-28 09:51 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/803038564329979904> 2016-11-2809.27.22.jpg <https://t.co/9Ba1cvruxE>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-28 09:51 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/803038546781052929> 2016-11-2809.26.56.jpg <https://t.co/T7aSwh8MFu>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-28 09:51 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/803038509741182977> 2016-11-2809.26.39.jpg <https://t.co/KXMQdBjn1v>

　郷原信郎弁護士のタイムラインに更新がありました。控訴審判決に対するコメントで、判決は午後とのことです。時間まで書いてくれればありがたかったのですが、午後とわかっただけでも余計な気を回さずに済みます。

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2016/11/28 07:48： <https://twitter.com/nobuogohara/status/803007556805279745> ： 引用→　 本日午後、名古屋高裁で、美濃加茂市長事件控訴審の判決言渡し。公判経過は【控訴審で一層明白となった贈賄虚偽証言と藤井美濃加茂市長の無実】https://t.co/64Nz0Ks3rl で述べた通り。現職市長のまま一審、二審を戦い抜いた藤井市長の「歴史的勝利」を確信し、名古屋に向かう

　直したのですが、URLの直後に全角スペースが入っていました。これだと通常はリンクが無効になります。Twitterだとうまく処理をしてくれるのかと思いますが、最近は見かけなくなったものです。

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2016/11/28 07:50： <https://twitter.com/nobuogohara/status/803008144645373952> ： 引用→　 最大の注目点は、一審無罪判決では「虚偽供述の動機の存在の可能性」の指摘にとどまった贈賄供述者中林の「意図的な虚偽証言」について、職権で自ら証人尋問まで行った控訴審裁判所が、どこまで踏み込んだ判断を行うか。

　前に見ていたのは郷原信郎弁護士の次のツイートです。他に裁判に関連したツイートは見当たらず、控訴審判決の当日の朝になって、勝利宣言を始めたようです。

リツイート：nobuogohara（郷原信郎）＞2016/11/26 22:06／2016/11/26 18:06＞ <https://twitter.com/nobuogohara/status/802498749238910977> ＞ HirotoMinokamo （美濃加茂市長　藤井浩人）＞ <https://twitter.com/Hiroto_Minokamo/status/802438299159695360> ＞ 引用＞　 11月28日に、名古屋高裁にて二審判決が出ます。 当日の夜、報告会を開催することとなりました。 11月28日 月曜日 19時から 場所:生涯学習センター201号室 主任弁護人 郷原信郎先生にもお越しいただき、概要を説明いただきます。 多くの人のご参加、宜しくお願い致します。

　この裁判で私が注目をしているのは、裁判がずいぶんと長引いたこと、世間の関心を薄らげるための引き伸ばしではないかとも考えることと、贈賄者で有罪が確定している証人への、郷原信郎弁護士の凄まじい攻撃性です。

　これでもかというぐらいに郷原信郎弁護士は、証人を否定し、普通に救いようのない詐欺師に思えたのですが、たまたま見た情報によると、そこそこ規模も大きいと思われる公立病院でお金の管理を任されていた経歴もある人物だったということです。救いのない攻撃性に刑事弁護の本髄を見た気がしました。

　それに郷原信郎弁護士は、被疑者というか被告人段階になっていた市長に対し、不利になるような記事を書いた報道機関に抗議を行ったことです。神としての采配をふるっているようにも感じました。その根拠というのも通常の被疑事実を超えるものとは思えませんでした。

　かなり時間を使って資料を読みました。主に郷原信郎弁護士本人のブログでの長文の記事でしたが、ずいぶんと時間を無駄にさせられたというのが、まず率直な感想でした。本人も一審で無罪判決が出たのは意外だったのか、判決前のTwitterの更新というのもなかったように記憶しています。

　郷原信郎弁護士のタイムラインを遡っているのですが、次のツイートを発見しました。これは読んでいないかも知れず、少なくとも現時点で思い出すことは出来ないものです。

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2016/03/04 10:59： <https://twitter.com/nobuogohara/status/705573457958862848> ： 引用→　 ［【札幌地裁「おとり捜査」再審開始決定が「画期的」であることの意味】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒ <https://t.co/QOPTmb5h1F>

　次は、その一つ前のツイートです。安直、ご都合過ぎると思われる検察批判を象徴するようなタイトルで、ブログ記事の紹介となっているはずです。この記事などは、我慢をして一通り読んだ記憶があります。

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2016/03/01 17:14： <https://twitter.com/nobuogohara/status/704580572136366080> ： 引用→　 【検察にとって「泥沼」と化した美濃加茂市長事件控訴審】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒　https://t.co/RTQKUQW8Nq

　郷原信郎弁護士のタイムラインは更新が少ないので、一審無罪判決の頃まで、遡ることが出来るものと見込みをつけてやっています。

　近づいて来たようですが、自分の記憶とは少し違うようなツイートもあり、思っていたより過激な検察批判のツイートもありました。市民生活への影響という点でも、他とは違う注目点のある刑事裁判ですが、そのことにも触れた郷原信郎弁護士のコメントが目に付きました。

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/19 15:48： <https://twitter.com/nobuogohara/status/578447885366235136> ： 引用→　 続き)それと、市長逮捕直後に、支援者の皆さんが、「無罪になったら愛知県警に美濃加茂でドブさらいさせる」と言っていました。愛知県警捜査２課の皆さん、控訴審はそんなに長くかかりませんから、早めに、ゴム長と作業着を用意して待っていてください。

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/19 15:47： <https://twitter.com/nobuogohara/status/578447767736979456> ： 引用→　 市長個人だけではなく、美濃加茂市民の皆さんに大変な迷惑をかけた分、「何十倍返し」でもしてもらいましょう。（続く 　RT @masashikaこれで検察がまた負けた場合、裁判費用を含む損害賠償請求が可能なのでしょうか？

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/19 10:57： <https://twitter.com/nobuogohara/status/578374643578322944> ： 引用→　 【組織の面子にこだわり「検察史上最悪の判断」を行った大野恒太郎検事総長】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒　http://t.co/7YvUWdWPIe

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/19 09:54： <https://twitter.com/nobuogohara/status/578358915647188992> ： 引用→　 中日新聞社説【市長「無罪」裁判　控訴は何のためなのか】http://t.co/byWzRcrNWe　「検察がすべきは控訴ではなく、次々疑問点が指摘された捜査過程の検証ではなかったのか」⇒全くその通りです。

　次のツイートには特に面白いことが書いてありました。検察をブレーキの壊れた機関車にたとえています。更新が少ないこともあり、目にしていた可能性が高いとは思うのですが、これも記憶に残っていたものではありません。

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/18 12:50： <https://twitter.com/nobuogohara/status/578040652748877824> ： 引用→　 続き）何の理由もない不当極まりない権限行使に対して抑制が働かない権力機関というのは、ブレーキが壊れた機関車のようなもの。市長が控訴審で被告人の立場に立たされる美濃加茂市民にとって春は更に遠のく。組織の面子維持のために権力を私物化する検察の暴挙を絶対に許してはならない。

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/18 12:45： <https://twitter.com/nobuogohara/status/578039617275887617> ： 引用→　 この控訴で、「検察の暴走」は、名古屋地検レベルから、高検、最高検も含めた検察組織全体の問題に発展した。【「美濃加茂市長無罪判決に検察控訴の方針」は、「妄想」か「狂気」か】http://t.co/Rp6zan1eYB　でも書いたように、一審無罪判決が控訴で覆る余地は全くない。（続く

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/18 12:35： <https://twitter.com/nobuogohara/status/578037102744473600> ： 引用→　 本日午前、名古屋地裁から、美濃加茂市長事件無罪判決に対して検察官が控訴したとの連絡があり、急遽、新幹線で名古屋に向かう。午後１時半から、藤井市長とともに、名古屋司法クラブで記者会見。

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/17 17:52： <https://twitter.com/nobuogohara/status/577754423436320769> ： 引用→　 秋元祥治氏【美濃加茂・藤井市長、検察は控訴だって。これ、無罪確定ならだれが責任とるんですかね】http://t.co/Ab0QoCwAnH私の【「美濃加茂市長無罪判決に検察控訴の方針」は、「妄想」か「狂気」か】http://t.co/Rp6zan1eYBと併せ検察幹部必読！

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/17 10:31： <https://twitter.com/nobuogohara/status/577643331175342080> ： 引用→　 【「美濃加茂市長無罪判決に検察控訴の方針」は、「妄想」か「狂気」か】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒ <http://t.co/Rp6zan1eYB>

　当時は私の感覚も麻痺し、いくらか洗脳状態に足を踏み入れたのかとも考えたのですが、郷原信郎弁護士が公然と検察を、妄想や狂気とまで酷評していたことは、記憶にありませんでした。今は、清々しく目覚めた朝のように、それがはっきりと目に映ります。

　郷原信郎弁護士のTwitterのフォロワー数は71000となっていますが、私が知る限り、弁護士のアカウントでは群を抜いて最多ではないかと思われる数です。Twitterで認証マークを見た弁護士は、丸山弁護士だけでしたが、奴隷の子孫という失言以来、名前も全く見かけなくなっています。

　ようやく一審無罪判決の当日のツイートにたどり着きました。他の匿名弁護士のタイムラインだと2,3日分より少ないとも思いましたが、2015年3月5日となっており、1年半ほど前ということになります。思っていたほど長い控訴審ではなかったとも思いました。

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/05 23:48： <https://twitter.com/nobuogohara/status/573495257876144128> ： 引用→　 今日の美濃加茂市長事件判決、全面無罪の判決を勝ち取ることができました。多くの方々から、祝福のメッセージを頂き有難うございます。判決後、名古屋、美濃加茂での会見、支援者の方々の市長への祝福にも立ち合い、名古屋まで戻りました。さすがに疲れたので、今日は寝ます。判決の詳細は後日ブログで

　一審無罪判決の当日も、判決が出る前にツイートをしていたようです。3月3日の2日前にもツイートがあり、これは読んだ憶えのある内容でした。裁判長の名前をあげ以下、公正な判断を信じる、という感じで締めくくっています。

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/05 08:06： <https://twitter.com/nobuogohara/status/573258246414180352> ： 引用→　 万が一、有罪判決であれば、会見で、「不当判決」と声を張り上げなければならないが、それはあり得ない、裁判所の公正な判断が下されることを固く信じて、名古屋に向かう。

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/05 08:05： <https://twitter.com/nobuogohara/status/573258013848444928> ： 引用→　 美濃加茂市長事件判決の日を迎えたが、何年かぶりのひどい風邪で咽喉が痛み、声も出にくい。論告・弁論を、改めて読み直し、心を落ち着かせる。「読み較べれば、有罪はあり得ない！」⇒昨年末のブログ【美濃加茂市長事件結審、揺るがぬ潔白の確信】 <http://t.co/qArWNGAyov>

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/04 16:24： <https://twitter.com/nobuogohara/status/573021222071451648> ： 引用→　 美濃加茂市長事件、明日午後、名古屋地裁で判決言渡し。ニコ生で、判決後の藤井市長・弁護団の記者会見を放映⇒［【美濃加茂市長収賄事件】 藤井市長・弁護団 判決後記者会見］http://t.co/wz1aDdul4F

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/03/03 07:00： <https://twitter.com/nobuogohara/status/572516888351141888> ： 引用→　 もちろん、私としては、終始、積極的な審理で事実解明に取り組まれた鵜飼裁判長以下の名古屋地裁刑事６部において公正な判断が示され、藤井市長の潔白が明らかになることを確信しています。

　改めて確認すると、一審の判決のときは、直前まで割と活発な情報発信が行われていたようです。それでも当時の私の印象としては、トークダウンの落差も感じていたためか、有罪判決の可能性が高く、諦めムードで、強がりを書いているという印象を持っていました。

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2015/01/26 12:40： <https://twitter.com/nobuogohara/status/559556538847600640> ： 引用→　 【中京テレビ問題を通して考える訂正謝罪放送の在り方】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒ <http://t.co/vBnPcTr4U5>

　リンクの記事は開いていませんが、報道に抗議をしていたのは新聞記事のように思っていました。リンクのタイトルを見ると、中京テレビとなっているので、テレビ放送だったのかも知れません。

　次の郷原信郎弁護士のリツイートも、社会的影響として気になるものでした。一つは最近見かけなくなったアカウントのもので、世界で活躍していた証券マンで無罪判決を獲得した人物。以前何かで見たところ、金沢市の出身らしく、年齢も比較的近く感じました。

リツイート：nobuogohara（郷原信郎）＞2015/03/21 09:56／2015/03/20 23:46＞ <https://twitter.com/nobuogohara/status/579084101036060672> ＞ thatta0529 （八田隆 Terry Hatta）＞ <https://twitter.com/thatta0529/status/578930726789234688> ＞ 引用＞　 「普通の裁判官が、普通に今回のように判断できる裁判所になってもらわなければ困る」→　江川紹子氏『日本の裁判は運次第？　美濃加茂市長無罪判決で残った検察への不信』　http://t.co/nWtec9D9pQ #news @newsamebaさんから　#検察なう

リツイート：nobuogohara（郷原信郎）＞2015/03/21 09:27／2015/03/19 13:53＞ <https://twitter.com/nobuogohara/status/579076804960395264> ＞ apmaru （あぷ丸君／H.KATO）＞ <https://twitter.com/apmaru/status/578419029297115136> ＞ 引用＞　 こんな検察に「司法取引制度」なんて導入させちゃだめだよ。 まず間違いなく恣意的にしか運用しない。偽証のオンパレードになるに決まってる。 「組織の面子にこだわり「検察史上最悪の判断」を行った大野恒太郎検事総長」 <https://t.co/hJEUhpPzIf>

　郷原信郎弁護士の検察批判は、羽咋市に住んでいた頃から見ており、ジャーナリストの江川紹子さんと一緒に、検察のあり方会議、というような委員会のメンバーにもなっていました。「参考資料扱いにした過去の告訴状の下書き」にはより詳しく書いたはずです。

　江川紹子氏『日本の裁判は運次第？　美濃加茂市長無罪判決で残った検察への不信』というリンクを開こうとしたのですが、アメーバニュースとかで、統合の案内があり、記事の存在自体はなくなっているという感じでした。

　タイトルで検索すると別の情報が見つかりました。こちらの方が大元の記事と思われ、ページの体裁を見たところ、週刊プレイボーイという雑誌に掲載された記事ではないかと思われました。一部引用しますが、5ページにわかれている初めの1ページだけ読みました。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://www.excite.co.jp/News/politicsg/20150320/Shueishapn2015032045273.html 日本の裁判は運次第？　美濃加茂市長無罪判決で残った検察への不信 - エキサイトニュース(1/5)

最大の争点は、現金授受の有無。客観的な証拠や目撃証言がない中、検察のよりどころは、贈賄を自白した業者・中林正善（なかばやし・まさよし）氏（贈賄、詐欺で懲役４年の実刑が確定）の証言だった。彼は２回にわたり現金合計３０万円を当時市会議員だった藤井氏に渡した、と供述。法廷での証言は、検察官と入念な打ち合わせを重ねただけあって、それなりに具体的で詳細なものだった。

ところが、判決は「自ら経験した事実を語っているのか疑問」として、その信用性を疑った。そこには、証拠を子細に検討しつつ要所要所で極めて常識的な判断を働かせた裁判所の対応があった。例えば――。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　時刻は15時55分です。ミヤネ屋の放送も終わり、石川テレビの「となりのテレ金ちゃん」といういつものローカル番組になっています。19時ぎりぎり前ぐらいまでの放送ですが、途中、everyという全国ニュース番組に変わります。

　13時過ぎに、調べていたネットの情報で、美濃加茂市長事件の控訴審判決公判が13時30分からだと知り、あわててAコープ能都店に買い物に出かけました。ちょうど雨が降りだしたところでした。家に戻って再びテレビをつけたのが13時31分。

　まもなくバイキングの全国ニュースになりましたが、控訴審判決の報道はなく、テレビ金沢にチャンネルを変えたところ、中国で2歳の女の子が洗濯機の脱水槽にはさまって出られなくなったという救出の状況が放送されました。その時点で全国ニュースは終わっていたようです。

　逆転有罪判決が出たことは、キーワード検索していたTwitterのタイムラインの更新で知りましたが、バイキングの後の情報番組グッディも、東京五輪会場の話題、ミヤネ屋も冒頭から韓国の大統領の不正問題の続報を取り上げていました。

　14時40分ぐらいだったように思いますが、歌手のASKA元被告が再び覚醒剤の使用で逮捕される方針、という速報が飛び込んできました。報道の内容が不確実、流動的なもので、そのうち元被告がミヤネ屋の番組の放送を名指しして、ブログでメッセージを投稿するという一幕もありました。

　スタジオでの憶測のような話でしたが、元被告本人も自分がまもなく逮捕される方針という警察発表を、テレビで初めて知った可能性があるとのことでした。身柄を確保していない状態で、逮捕することをテレビで放送させたらしく、そのような展開を見たのも初めてのことでした。

　本人は否定しているようですが、薬物による妄想状態の可能性が高そうです。はじめの方の報道では、自ら警察に電話をして相談をしたとか、家族が警察に連絡をしたような情報が出ていましたが、元被告の所在は不明らしく、不確かな情報が流れた状況のようです。

　ミヤネ屋にはFAXが送られたような話もあり、大きな文字での書面をテレビで見ましたが、終わりに、これから弁護士と相談します、などと書いてあったのがとても印象的でした。

　美濃加茂市長事件の逆転有罪判決は、ちょうど15時00分頃、その時間帯にいつもある全国ニュースのコーナーで取り上げられていましたが、1分程度の放送で、コメントなどもなく、たんたんとしたニュース報道でした。

　だいぶん前になりますが、控訴審の裁判長の訴訟指揮について不満のようなことを発言しているのを見た時、これは逆転有罪の可能性もあるのかと思っていましたし、それ以前の一審の判決前の段階でも、贈賄側が有罪になったのに収賄が無罪となった例はない、という報道を見ていたので。

　検察が控訴した時点から、郷原信郎弁護士の反応が異常で、これは美濃加茂市長の立場を悪くするだけのように思っていたのですが、刑事弁護のからくりとして個人的に参考になったと思っていたのですが、それが実証された印象もあります。さしたる根拠も乏しいのに、刑事裁判を冒涜したと。

　情報番組の途中に、芸能人の犯罪の大きなニュースが飛び込んできたので、番組内容も変更されたものと思いますが、およそ2時間の番組で、3分1を超えた辺だったので、判決の結果いかんにかかわらず、特に取り上げる予定の取材はしていなかったという感じでした。

　ジャーナリストの江川紹子さんのツイッターの反応です。

ツイート：amneris84（Shoko Egawa）：2016/11/28 13:24： <https://twitter.com/amneris84/status/803092059775078400> ： 引用→　 傍聴券お恵みいただいたにゃう。

ツイート：amneris84（Shoko Egawa）：2016/11/28 13:35： <https://twitter.com/amneris84/status/803094844126044160> ： 引用→　 美濃加茂市長、逆転有罪

　控訴審は名古屋高裁になっていたので傍聴に行った可能性が考えられますが、13時30分からの公判で、13時24分の投稿で、法廷内からスマホなどで投稿が出来たとは考えにくく、傍聴券の入手の見込みもないのに名古屋まで行っていたのかと、事前のお知らせがなかったことと色々考えてしまいます。

　ジャーナリストの江川紹子さんのタイムラインで郷原信郎弁護士のツイートのリツイートというのも久しく見ていなかったので、慎重に距離をおいているのかとも考えていましたが、名古屋まで傍聴に行っていたとすると思い入れは相当強かったということになりそうです。

　今日は、控訴審判決が出る前に、郷原信郎弁護士のTwitterのタイムラインを遡り、一審の無罪判決当時の状況を確認しましたが、刑事裁判を冒涜し、国民の利益を損ねる暴挙であり、刑事司法の信頼を貶め社会不安を増大させて、私利を図ろうとする信仰の教祖的振る舞いに思えてなりませんでした。

　時刻は4時58分です。さきほどからテレビでは、全国ニュースのeveryで、「今日にも逮捕」と報道していました。簡易鑑定ではなく、本鑑定で陽性反応が出たとのことですが、普通はその時点で逮捕状の請求なり、身柄が確保されるものではと、これまでの薬物犯罪の報道から思います。

　そろそろ本来の予定の本題に移りたいと思います。再掲になりますが、次の深澤諭史弁護士のツイートです。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/11/27 10:26： <https://twitter.com/fukazawas/status/802685068087062528> ： 引用→　 以前の法曹養成制度は，文字通り焼け野原から始まったわけだが・・。新しい法曹養成制度が，営々と積み上げてきたものを，ものの１０年で焼け野原にしてしまったのは，歴史の皮肉か。

　深澤諭史弁護士は次のツイートも行っています。

リツイート：fukazawas（深澤諭史）＞2016/11/27 19:55／2016/11/27 16:29＞ <https://twitter.com/fukazawas/status/802828175747100672> ＞ poorpartner （三毛猫B）＞ <https://twitter.com/poorpartner/status/802776257196756993> ＞ 引用＞　 認知の歪みですな。 ストーカもそうですが、ネトウヨもそうですね。 同じ情報を取得しても、意味付け（評価、重み付け）がまったく異なる

リツイート：fukazawas（深澤諭史）＞2016/11/27 11:34／2016/11/27 11:30＞ <https://twitter.com/fukazawas/status/802702015591653376> ＞ harrier0516osk （向原総合法律事務所　弁護士向原）＞ <https://twitter.com/harrier0516osk/status/802701208204886016> ＞ 引用＞　 @fukazawas @yiwapon 心の貧困とかいうとりますしね で、同じ口で「法曹の多様性」とか言うとるから、大丈夫でっか？となります。というか当業界がバカにされますわな

リツイート：fukazawas（深澤諭史）＞2016/11/27 11:34／2016/11/27 11:29＞ <https://twitter.com/fukazawas/status/802702001578471424> ＞ harrier0516osk （向原総合法律事務所　弁護士向原）＞ <https://twitter.com/harrier0516osk/status/802700865890988032> ＞ 引用＞　 その、焼け野原にした大量破壊兵器のような現行法曹養成制度を褒め称えてる人の多さよ <https://t.co/e546k3hTZb>

リツイート：fukazawas（深澤諭史）＞2016/11/27 11:34／2016/11/27 11:27＞ <https://twitter.com/fukazawas/status/802701981571686401> ＞ harrier0516osk （向原総合法律事務所　弁護士向原）＞ <https://twitter.com/harrier0516osk/status/802700417134010368> ＞ 引用＞　 @fukazawas これは実務家、それも、本当の一般の市民を依頼者とする業務をする人にしかわからないでしょうね

　深澤諭史弁護士の共著者である向原栄大朗弁護士のツイートです。最近になってブログを事務所の本格的なものにしたようですが、以前はアメブロのブログで、そのブログは羽咋市に住んでいた2007、2008年ぐらいから目にしていたような記憶もあります。

　昨日の18時15分から更新が止まっているようですが、一つ前の18時13分のツイートが次になります。弁護士会のあり方や、弁護士自治、弁護士による被害補償についても、現状に批判的な独自の持論をお持ちです。

ツイート：harrier0516osk（向原総合法律事務所　弁護士向原）：2016/11/27 16:13： <https://twitter.com/harrier0516osk/status/802772387062124545> ： 引用→　 あの見舞金ができたら、もう日弁連は解体される方向でいいと思います。弁護士自治もなくなるだろうけれど、その場合の弊害については、まだ想像できないけれど、それはそれで仕方ない。そうされても仕方ない方向に舵を切るんだから、背負っていくしかない。泥棒の肩代わりより納得だ。

　見舞金についても深澤諭史弁護士のツイートとして是非ご紹介しておきたいものがあったのですが、時間の都合もあり、割愛しなければならないのが残念です。モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）も同じ問題に対して、ツイートしていましたが、探し出すのに時間がかかりそうです。

　簡単にご紹介しておくと、福岡市の弁護士の巨額詐欺、横領事件で福岡弁護士会の責任が問われた裁判で、責任なしとして請求が退けられた民事裁判でした。

　 % twusertweet-sql-search-make-text-html-wordpress-style.rb n '弁護士会　責任' --wordstime=a |xsel -b、というコマンドからまとめのブロク記事を作成しました。

参考資料：「弁護士会 責任」をキーワードに含む（法クラ・弁護士・ジャーナリスト関連）のツイート（17アカウント、43件、 2012-03-12 17:37〜2016-10-31 08:30）「1／43」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=46105>

　スペースで区切られた2つのキーワードは、絞り込み検索をするようにプログラムしてあります。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/10/31 08:30： <https://twitter.com/fukazawas/status/792871354949259264> ： 引用→　 弁護士会の監督責任 ⇒ <https://t.co/vk7dqI5xqP> 「司法改革による歪んだ競争原理の副産物です。… それを国民が選択したわけですから、それこそ、こういう被害がはっせいするのも、国民の自己責任です。」

　上記が深澤諭史弁護士のツイートですが、コメントのようにみえる部分は、URL記事の引用となっていて、あえてなのかわかりませんが、本人のコメントと勘違いを与えやすいものとなっています。たまにみる深澤諭史弁護士の引用パターンです。またかと、確認するようにしています。

　一部の引用で記事の内容をご紹介しておきます。向原栄大朗弁護士と同じく、福岡市内の中心部で事務所を開き弁護士をしているようなプロフィールの紹介を見たことがありました。大病を患ったらしく、情報を見たのはその前のことでした。現在のことは確認していません。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://ameblo.jp/bengoshi-kh/entry-12214458059.html 弁護士会の監督責任｜突然走れなくなった元らんなー物書き弁護士のブログ！

で、被害者の方にはお気の毒なのですが、我々としては一安心なのです。弁護士会といっても、好きで入っているわけじゃなくて、強制的に加入させられてるわけで、非行弁護士の監督なんて、普通の弁護士の手の届かないところで秘密裏におこなわれていて、どうしようもないのに、いざなにかあったときに、監督責任なんて言われたら、結局、連帯責任と言われているようなものです。元はと言えば、司法改革以前はこんな高橋のような横領事件はなかったわけですから、明らかに、司法改革による歪んだ競争原理の副産物です。こんなことがあっても、弁護士を増やして、アクセスを改善するなり、料金を安くするのが国民のため、というのが司法改革の考え方だし、それを国民が選択したわけですから、それこそ、こういう被害がはっせいするのも、国民の自己責任です。それを弁護士の連帯責任にしろ、というのでは、いいとこ取りにすぎるのではないでしょうか。弁護士会も弁護士会で、高い会費を払わされている上に、こういう事件に備えて、ほしょうの制度を作ろうなんていい始めています。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　この弁護士もTwitterをやっているかと思います。アカウントを知ったのは、宮崎のマッサージ店での強姦事件の示談交渉問題に関した発言でした。ブログの記事であったか、ツイートであったか、その両方であったか記憶ははっきりしません。たぶん、昨年1月の17日頃のことになるかと思います。

　次も深澤諭史弁護士の引用スタイルによるものです。これもご紹介しておきたいです。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2015/04/19 19:04： <https://twitter.com/fukazawas/status/589731208059166721> ： 引用→　 佐藤幸治教授に足りないもの <http://t.co/LenMr7XwAQ> 「制度設計者として無責任のそしりを免れない。弁護士会など他人に責任転嫁しているうちは、「世間知らずが祭り上げられて浮かれたあげく、晩節を汚した」との評価を受け続けるだろう。」

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://hanamizukilaw.cocolog-nifty.com/blog/2011/06/post-09d0.html 佐藤幸治教授に足りないもの: 花水木法律事務所

佐藤教授は学者らしく理念を語っているから、軽薄な処方箋談義に終始する安念・奥島教授よりマシだと思う。だが問題は、新制度がなぜ理念を実現しないのか、だ。その原因を突き詰めなければ、制度設計者として無責任のそしりを免れない。弁護士会など他人に責任転嫁しているうちは、「世間知らずが祭り上げられて浮かれたあげく、晩節を汚した」との評価を受け続けるだろう。こう書くとまた変な誤解をする人がいるが、私は弁護士会が悪くないなんて一言も言ってない。弁護士会は悪い。悪くて愚かだ。ただ、その話は『こんな日弁連に誰がした？』に書いたので、ここでは触れない。

教授に言いたいことは多いが、一つだけにしておきたい。

あなたは憲法の勉強が足りないのではないか。

司法が憲法上の制度である以上、司法制度の設計は、憲法に対する深い理解無くしては成しえない。もしこれに失敗したのなら、憲法の勉強が足りないとの批判は免れまい。そして失敗の原因は、現行憲法を立案し、これに基づく司法制度を構築した先人の思想と努力を学び検証する過程を、佐藤幸治教授らが怠ったことにもあるのではないか。同教授には、この批判に答える責任がある。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　これもだいぶん前から見覚えのあるような、法律事務所のブログ名です。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2015/01/24 09:48： <https://twitter.com/fukazawas/status/558788340435001345> ： 引用→　 「弁護士不祥事対策については弁護士会の法的責任とは別に見舞金的な金銭給付を行う依頼者保護基金」って，良い構想だと思うけれど。 「淘汰されてしまえ！」「自由競争！特権意識ガー！既得権ガー」って，言っている平成の司法改革を進めた弁護士や法学者の先生が，お金を出せばいいと思うのだ。

　目当てにしていたモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のツイートは、キーワード検索の網に掛からなかったようですが、深澤諭史弁護士のツイートと同じような時期だったので、そこから探し出すことが出来そうです。

　弁護士会の責任について、モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）が間接的に言及したツイートがあったように、印象的な記憶があったのですが、見つけ出すことが出来ませんでした。別の問題と混同した私の勘違いなのかも知れません。大きな発見と思っていただけに残念です。

　ジャーナリストの江川紹子さんのTwitterに更新がありました。

ツイート：amneris84（Shoko Egawa）：2016/11/28 17:19： <https://twitter.com/amneris84/status/803151233280196608> ： 引用→　 美濃加茂市長の事件は、贈賄を証言した業者と金銭授受を否定する藤井市長のどっちが信用できるかに尽きる。名古屋高裁は、一審が信用性を否定した業者を職権で呼んで証言させたうえで、その信用性を全面的に認めた。毎回出廷している藤井市長には人が一言も聞かずに、その信用性を否定した。

ツイート：amneris84（Shoko Egawa）：2016/11/28 17:21： <https://twitter.com/amneris84/status/803151727339839488> ： 引用→　 裁判所の対応から、逆転もありえないことではない気はしていたが、多額で悪質な詐欺犯でダークな世界を生きてきた業者と金銭的つながりを持ち、いわくありそうな２証人の一審での証言を何のためらいもなく信用して、業者の証言の信用性ありと判断する最有力証拠にしているのには驚いた。

　郷原信郎弁護士の苛烈な弁護の影響もいくらかあるのかと思いましたが、必要以上に贈賄者を悪者に印象づけているように思えてならず、無批判に弁護士の言い分に追随するスタンスは、刑事裁判の弁護士の利欲や思惑に左右されない、本来のあるべき刑事裁判の姿に背を向けているように思えます。

ツイート：amneris84（Shoko Egawa）：2016/11/28 18:16： <https://twitter.com/amneris84/status/803165761090961410> ： 引用→　 名古屋高裁は、藤井市長の記憶が曖昧だから信用できないとばっさり。でも、事件に関わっていない人に、1年半前の特定の日の出来事をつぶさに覚えていろという方が無理では。布川事件の杉山さんがよく言っていた…「犯人にとっては忘れられない特別な日でも、俺にとっては何でもない普通の日だった」

　寄り道が多く当初の予定を大幅に遅延していますが、改めて本題に戻りたいと思います。ジャーナリストの江川紹子さんの刑事弁護に対するスタンスを確認できただけでも、今日は大きな収穫だったと満足です。

　時刻は19時45分です。パソコンの調子が悪くなり、ネットの接続ができなくなっていたので、再起動していました。

　昨日のことですがはっきりと思い出せません。ある弁護士アカウントが珍しくジャーナリストの江川紹子さんのツイートをリツイートしていると思ったことは覚えています。

　調べたところ、向原栄大朗弁護士がジャーナリストの江川紹子さんのツイートをリツイートしていたことは確認しました。

　それは次のリツイートです。

ツイート：harrier0516osk（向原総合法律事務所　弁護士向原）：2016/11/27 13:32： <https://twitter.com/harrier0516osk/status/802731846878408704> ： 引用→　 日弁連・弁護士会は弁護士にタダで公益活動しろという。しかし、土日もこうして働いてなんとか仕事を回しているわけで、それで公益活動しろといわれても、無理ゲー。かつ、それで「社会のためになっている」のか疑問。だって、タダで弁護士がやっちゃうことで、行政は予算付けないんですよ。

リツイート：harrier0516osk（向原総合法律事務所　弁護士向原）＞2016/11/27 13:30／2016/11/27 11:45＞ <https://twitter.com/harrier0516osk/status/802731229879468032> ＞ amneris84 （Shoko Egawa）＞ <https://twitter.com/amneris84/status/802704758712610816> ＞ 引用＞　 静岡では、紅林方式と呼ばれた「叩いて吐かせる」捜査で、いくつもの冤罪が生まれた。幸浦事件、二俣事件は一審の死刑判決が覆って無罪に、小島事件は無期判決が無罪に、そして死刑再審となった島田事件。二俣事件で拷問を証言した山崎刑事は偽証容疑で逮捕され、「妄想性痴呆症」として警察を追われた

　それがきっかけでジャーナリストの江川紹子さんのタイムラインを見たのか、それとも別の弁護士アカウントのリツイートとして見たものか、はっきり思い出せませんが、とにかく次のジャーナリストの江川紹子さんのリツイートに辿り着きました。

ツイート：amneris84（Shoko Egawa）：2016/11/26 20:03： <https://twitter.com/amneris84/status/802467872337338368> ： 引用→　 ウpされてました〜 →【原発避難でいじめ】はなぜ起きたのか…蔓延した福島差別と問われる大人の責任 <https://t.co/hNopq8f1vZ> @bizjournalより

　モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のリツイートとも、深澤諭史弁護士のリツイートとも思えてきて、確認の作業をしましたが見当たるものはありませんでした。沢山の情報を詰め込み、考え事が多いこともありますが、昨日のことも正確に思い出せません。

　リンクにあったのは次のジャーナリストの江川紹子さんによる記事ですが、感慨深く全てに目を通しました。ページは２つに分かれているようです。

　関連記事として見出しがリストにあった次の記事にも目を通しました。ページは３つに分かれています。

【欅坂46のナチス風衣装】、「悪気はない」「抗議はいきすぎ」は通用するのか？ | ビジネスジャーナル <http://biz-journal.jp/2016/11/post_17112.html>

　ジャーナリストの江川紹子さんには、よく資料を収集しまとめて紹介している職人芸のようなものを感じました。厳しすぎる配慮のあり方という印象も持ちましたが、そこで思い出して調べたのが、氷見強姦冤罪事件の国賠に関する次の記事です。

やはり裁判所は権力の味方？ 【氷見冤罪事件】でも国への賠償請求は棄却の「異常」 | ビジネスジャーナル <http://biz-journal.jp/2015/03/post_9265.html>

　以前読んだ憶えのある記事ですが、内容はあらためて読みなおしてはいません。タイトルを見ただけで、思い込みの決め付けで、とんでもな尋常ではないことがよくわかる記事となっています。

　数日前に、本書で「シリウスＡ」というアカウントのことをご紹介したと思いますが、そのアカウントのタイムラインを遡ったことで、大きな発見が２つありました。どちらも他で見ることはなく、ずっと知らずにいたかもしれない情報です。

　どちらも本腰を入れて取り上げ、掘り下げてご紹介することを考えていたのですが、2つ目が他との関連でも取り上げておく必要性を勁く感じていた。氷見の強姦冤罪事件のことです。富山県の氷見市は能登半島の付け根のような地理的位置であり、より身近に感じます。

　先に、その前にタイムラインで発見した刑事裁判のことをご紹介しておきたいと思いますが、これも私が住む石川県のお隣の福井県の事件でした。いくらか石川県との県境にも近い大野市での事件であったと思います。

　これは岡口基一裁判官のツイートのリツイートとして見ることが出来たと思います。直接、タイムラインを開くことが少ない現役裁判官のTwitterですが、弁護士より利害の囚われが少ないためか、有用な情報の発見も多くあります。

　モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のタイムラインなどは、ものすごい情報の偏りと閉鎖性を感じておりますし、独裁政権の世の中を見るような気分にも浸ることが出来る、博物館のような体験性を感じています。

　「赤とんぼ」が事件の特徴としてキーワードになっていますが、そのおかげで次のように探しだすことが出来ました。

% k-blog-opt-wp2016s.rb|grep 赤とんぼ 岡口基一さんのツイート: "元赤とんぼ准教授不倫の結末“嘱託殺人”の異例判決＜改行＞検察側は13年を求刑していたが，結果は懲役3年6カ月。＜改行＞傍聴席はざわめきに包まれた。＜改行＞https://t.co/AvjcrY9B0h",<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=44737>

ツイート：okaguchik（岡口基一）：2016/10/06 07:56： <https://twitter.com/okaguchik/status/783802979883229184> ： 引用→　 元赤とんぼ准教授不倫の結末“嘱託殺人”の異例判決 検察側は13年を求刑していたが，結果は懲役3年6カ月。 傍聴席はざわめきに包まれた。 <https://t.co/AvjcrY9B0h>

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：https://news.nifty.com/article/magazine/12107-20161006-2016100500228/2 元赤とんぼ准教授不倫の結末“嘱託殺人”の異例判決 - (2/2)｜ニフティニュース

判決は、

「前園被告の関心を引くものと断定はできない。自殺する意思がまったくないとは言い切れない」「嘱託殺人の意思がまったくないとまではいえない」

　確証がないため、前園被告の主張を認めるといった内容だ。「疑わしくは被告人の利益に」は裁判の原則だが、菅原さんの両親は、

「死人に口なし、あまりに（刑期が）短い」

　と怒りをあらわにしている。

※週刊朝日　2016年10月14日号

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　記事の一部を引用しましたが、この事件はテレビの報道で何度か見ていました。被疑者の事件後の行動や工作としてパニック状態としか理解出来ないものがありましたが、学校を訪問したような被害者と一緒のビデオも含め、とても印象的な事件でした。

　犯行後のパニック状態ということでは、金沢市でのNHK委託カメラマンによる殺人、死体遺棄事件のことを思い起こさせる共通性が感じられました。内灘の海岸の車の車内で殺人し、砂浜に遺体を埋めたという事件であったと思います。

　私自身の安藤文さんに対する平成4年の事件も、同じ金沢港の近辺で状況に共通性を感じる事件でもありました。私の事件の場合は、金沢港大野地内での傷害、金石港の海岸の空き地での準強姦事件ということになります。空き地と行っても交通量が多いと警察が言っていました。

　パニックになった、さらなるパニックになりかけたという意味でも、身につまされるような事件でしたが、被疑者は逮捕前に自分の後頭部を刃物で刺すという自殺未遂を行っており、その後の裁判での言動は報道で見る限り、正気とは思えないものでした。

　逮捕された時のテレビでの被疑者の映像は、車いすに乗るもので、感情の表情がなく、人間として完全に壊れたとしか思えない衝撃的なものでした。一つ間違えれば、自分の成れの果てとも思いましたが、その前に安藤文さんと無理心中していたと思います。

　実際、金沢西警察署への出頭の前、私は安藤文さんに「一緒に死ぬか？」と声を掛けており、これは供述調書の記録になっていると思いますが、江村正之検察官の証拠請求には、漏らされていた供述調書かもしれません。20年ほど経ってから漏れがあることに気が付きました。

　顔面血だらけの安藤文さんの状態を見ると、死んだほうがましかとも考えたのが大きかったですが、このあと警察に出頭した後のことを考えると負担が大きく感じられ、彼女の同意がえられたならば、どこかで一緒に手首でも切って死のうと考えのも事実です。

　先を急いで、予定のことは今夜のうちに済ませたいと思います。駆け足になりますが、次はいよいよ氷見の強姦冤罪事件のことです。

% k-blog-opt-wp2016s.rb|grep 氷見 Kenji Takeuchiさんのツイート: "氷見冤罪　支援者の６年　国賠訴訟の総括本出版 : 地域 : 読売新聞（YOMIURI ONLINE） <https://t.co/ebUCQAMl6K>",<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=45327>

非常上告-最高検察庁御中ツイッター(@shirono)/「氷見」の検索結果 - Twilog [http://twilog.org/s\_hirono/search?word=%E6%B0%B7%E8%A6%8B&ao=a](http://twilog.org/s_hirono/search?word=氷見&ao=a)

ツイート：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター）：2016/11/18 22:14： <https://twitter.com/s_hirono/status/799601703741857794> ： 引用→　 2016-11-18-221431シリウスＡさんがリツイートKenji　Takeuchi　@KPfM　1時間1時間前氷見冤罪　支援者の６年　国賠訴訟の総括本出版　：　地域.jpg <https://t.co/pxLv9zsQNP>

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://www.yomiuri.co.jp/local/toyama/news/20161117-OYTNT50302.html 氷見冤罪　支援者の６年　国賠訴訟の総括本出版 : 地域 : 読売新聞（YOMIURI ONLINE）

裁判で２７回に及んだ口頭弁論の概要を詳細に記録。当時の捜査員や氷見署長らの証人尋問の様子をまとめ、意に沿う答えが得られるまで質問を繰り返す「確認的取り調べ」を行う一方、柳原さんに有利な証拠を過小評価した捜査の問題点を示した。

　取り調べを担当した捜査員が虚偽の供述調書を作成した経緯については、「被害者宅の見取り図は、捜査員が図面を書き上げ、それを見本にして、男性が鉛筆で下書き、ボールペンでなぞって作り上げた」と指弾した。

　また、柳原さんが容疑者にされるきっかけになった似顔絵については、被害者の証言を基に捜査員が作成した過程や実物を紹介。被害者に複数の顔写真を示して犯人と思う人物を選ばせる「写真面割り」では、捜査員が事件直後の供述調書の内容に従って犯人の特徴を被害者に確認した後に行ったことを「よけいな先入観を強制する」と指摘。さらに、写真面割りで柳原さんの顔を見た後、複数人でなく柳原さんだけ被害者に実際に顔を見せる「面通し」をしたことは、「記憶の混同・汚染が起きやすく、非常に危険なやり方」と批判した。

　このほか、訴訟を支えた支援団体の活動、全国各地の弁護士が集まって弁護団を結成した経緯や情報公開請求を巡る県側との攻防、他の冤罪被害者と連携して開いた集会の様子なども収めている。

　井上さんは「国賠訴訟がいかに困難であったかを支援者の立場からまとめた１冊。これから国賠訴訟を戦おうという人だけではなく、冤罪を二度と起こさないためにも法曹界や警察関係者の人にも読んでもらいたい」と語る。奥村弁護士も「捜査資料を開示させるまでの議論や過程、全国的な支援の広がりなど、支援者がどう戦ったのかよくわかる。国賠訴訟を戦う参考になる本だ」と話している。

　Ａ５判で２５６ページ。税抜き２０００円。 2016年11月18日 Copyright © The Yomiuri Shimbun

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　記事には07年に再審無罪となったとあります。平成19年ということであり、まだ羽咋市に住んでいた頃であったという私の記憶とも一致しました。同じく福井刑務所で服役していたということでもあり、身近に感じる事件でした。

　平成3年の10月頃から事件を起こす平成4年4月1日前の間は、被告訴人東渡好信が配車係をしていたこともあり、七尾市から関東地方に向けて荷物を積み込む仕事が多くありました。七尾市から直接関東地方に向かう場合は、例外なく海岸線の国道から氷見市内のバイパスを通過していました。

　金沢市場輸送にいた頃も、小さな運送会社でしたが氷見市内の掘安運送が、金沢市場輸送の傭車で仕事に来ていて、回数は少なかったですが、掘安の仕事で氷見の魚市場から魚を積み込み、東京の築地市場や、福岡、熊本の市場に魚を運んだこともありました。掘安商店だったかもしれません。

　現在では全国ニュースでも氷見の寒ぶりとして知名度が確立していますが、当時はそんなことはなかったように思います。記憶に残るのは大きなシイラを、福岡と熊本の市場に運んだことで、朝に出発して、まだ明るい時間に福岡の魚市場に着いたことも距離が近く感じられ印象的でした。

　私が住んでいた羽咋市は地理的に富山県の氷見市に近く、羽咋市内にある24時間営業の大型スーパー、マックスバリューでは氷見から来る客も多いと聞いたことがありましたが、車で羽咋から氷見に行くことはなく、以前、トラックの仕事で一度、羽咋から氷見に向かった記憶がある程度でした。

　用事もないので、住んでいた羽咋市から氷見市に行くことはなかったですが、地理的にかなり近いらしいことは感じていました。そういう意味でも身近に感じる事件でした。

　現在は更新をしていない放置状態のブログになると思いますが、Twitterで「富山弁護士会　会長」などと検索すれば、情報が見つかりそうに思います。

富山弁護士会　会長 - Twitter検索 <http://bit.ly/2gBPJrM>

　上記のように検索を実行すると7件のツイートがヒットし、そのうち3件が私のツイートでした。次の3件になります。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2013/05/10 00:07： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/332512060552409088> ： 引用→　 冤罪を生んだ責任の９９・９％は捜査機関に＜今村元・富山弁護士会会長声明・ 2008年頃＞ | 非常上告-最高検察庁御中Blogger <http://t.co/oCTj35m8m1> 何度見てもふざけた話です。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2013/04/07 11:20： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/320722733027692545> ： 引用→　 冤罪を生んだ責任の９９・９％は捜査機関に ＜今村元・富山弁護士会会長声明 ・2008年頃＞- 日暮れて途遠し（過去記事の転載から） at 告発-金沢地方検察庁御中2013-WordPress <http://t.co/ECaK1BIopH>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2013/04/05 23:04： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/320175150966374400> ： 引用→　 冤罪を生んだ責任の９９・９％は捜査機関に ＜今村元・富山弁護士会会長声明 ・2008年頃＞- 日暮れて途遠し（過去記事の転載から） | 告発-金沢地方検察庁御中2012 <http://t.co/c7VOlaAGnS> 99%はこちらの話。国賠は金沢弁護士会の会長が中心人物みたい。

　過去のブログにまたがる横断的な検索ができることも、Twitterの利点であると改めて思いました。何度も繰り返しますが、今のところ精度に信頼のおけないTwitterの高度な検索ですが、それでもすぐに3件は見つけることが出来ました。

　時刻は11月29日11時01分です。もうしばらく昨夜の続きを書きます。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B0%B7%E8%A6%8B%E4%BA%8B%E4%BB%B6 氷見事件 - Wikipedia

裁判では弁護士も「裁判官から何を言われても認める方向で」「控訴しても無駄」と犯人扱いされ、孤立無援だった[2]。

富山地裁における裁判の席でも、柳原は容疑を認め、結局自白と少女らの証言が重要視され有罪判決が下り同年11月に懲役3年が確定。柳原は刑に服し2005年1月に出所した。

柳原逮捕後も、強姦事件が起き、被害者の証言で共通していたのは、強姦後「100を数えるまで動くな」と逃げる時間稼ぎがされていたことであった。

似たような事件が発生しながらも、富山県警は捜査を行わなかった。真犯人の男は後の服役中に、富山県警は柳原が犯人ではないと分かっていたが、それを隠蔽した、と報道機関への手紙で記している[2]。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B0%B7%E8%A6%8B%E4%BA%8B%E4%BB%B6 氷見事件 - Wikipedia

当時の富山県警安村隆司本部長は「結果においては誤認逮捕になりましたけれども、当時の捜査幹部の指揮あるいは捜査員の捜査手法、それを一つ一つをあげつらって捜査の懈怠があった、あるいは、そこに捜査のミスがあったという事で処分に該当するものだというふうに判断できるのか、どうかと言う事になると、当時の捜査状況をつぶさに検証した立場からして（処分を）ちゅうちょせざるを得ない。」として富山県警は誰一人処分されなかった[2]。

さらに、長勢甚遠法務大臣（当時）が再審前の2007年1月26日に柳原に対し謝罪した際、柳原が述べた自白の強要については違法性が無いと述べ、当時の捜査員に対して処分は行わないことを決定している。その上、長勢法相が感情を抑えきれずに声を出して笑う場面も報じられており、批判を集めている。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B0%B7%E8%A6%8B%E4%BA%8B%E4%BB%B6 氷見事件 - Wikipedia

なお、柳原の父親は逮捕当時入院中で、柳原の逮捕は知らされず服役中に亡くなっている。

柳原は出所後、地元富山県で再就職活動をしたが25社で不採用になり、2009年に国家賠償訴訟を提訴したことにより、兄、姉からこれ以上、家の姓を汚すなと兄、姉とは断絶状態。柳原は家の姓を元に戻すためとして2015年3月以降に予定されている判決以降に断絶状態を解消したい考えである[2]。

柳原は現在[いつ?]、取調べで受けた威嚇のPTSDで就職をドクターストップされ、2年余り服役した補償として国から約1000万円を受け取ったが、生活費や弁護士費用で底を尽き[2]、都内杉並区在住で生活保護を受けている。

警察・検察の捜査機関が「カメラがあると容疑者が話しにくくなり真実が見えなくなる」と全面可視化に抵抗している事に対して、2014年4月22日に法務省法制審議会要請共同行動として、柳原ら冤罪被害者は全面可視化を要請[2]。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　ピッチをあげて行きますので、こまかいご説明は省きますが、上記に同じページから3箇所の引用をしました。

　このWikipediaのページは、以前読んだものと同じだと思いますが、編集された可能性もあるのかと思いますが、読んだ記憶のない部分がいくつかありました。一つに、服役中に父親が亡くなったことは知っていましたが、父親に逮捕は知らされなかった、という点です。

　法務大臣が謝罪したというのも全く初めて知ったように思いましたし、さらに法務大臣が「感情を抑えきれずに声を出して笑う場面」があったというのも、驚きとともに時間に余裕があれば、調べて理由を知り、納得をつけておきたいところです。

　前回このページを読んだのは少なくとも1年以上前で、あるいは2年ほど経っているようにも思いますが、記憶の通り確認できたのは、「生活費や弁護士費用で底を尽き[2]、都内杉並区在住で生活保護を受けている。」という部分です。

　「取調べで受けた威嚇のPTSDで就職をドクターストップされ」という部分も、以前読んだように記憶の喚起がありましたが、いくらか表現のニュアンスが違っていたような気もするところがあり、正確な記録の必要性を考えました。自分の思い違いを含め。

　このページには、国賠訴訟のことも書かれていないようです。私の記憶では全国から千人に近い弁護士が、馳せ参じ訴訟に参加したということになっているのですが、正確な数を確認できず、以前調べた時も具体的な情報を見つけ出すことが出来ませんでした。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://www.toben.or.jp/message/libra/pdf/201508/p46-47.pdf 検索用データ - p46-47.pdf

──まず，氷見事件国家賠償弁護団（以下「弁護団」と いう）に入った時期，経緯を教えてください。 登録直後の2013年1月に弁護団に加入しました。私は 金沢修習だったのですが，修習先の個別修習担当弁護士が 弁護団の団長であったことから，弁護修習の一環として 弁護団の活動に参加するうちに，登録したら自分も弁護団 に加入したいと考え，弁護団に加入しました。 ── 弁護団の人数，期の構成を教えてください。 弁護団には，全国から150人程度の弁護士が加入して おり，実働は10人前後です。実働弁護士の特徴としては， 金沢の事務所と東京の公設事務所系の弁護士が多く加入し ていることが挙げられます。 期の構成としては，団長を含めた30期代2人，50期代 2人，60期代6人となっています。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　調べたところ、PDFのページですが、上記のものが見つかりました。2013年というのはこの事件の経緯からは比較的最近の動きかと思いますが、全国から150人程度の弁護士が加入し、実働は10人前後と具体的にわかりやすいことが書いてあります。

　国賠訴訟の初っ端にたまたま見た記事で、やはり千人近い数を見たような記憶があり、それは安田好弘弁護士の刑事事件で全国から支援に集まった弁護士の数には及ばないものの、それに次ぐ数と思われたものです。私の記憶では2千人ほどになっています。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AE%89%E7%94%B0%E5%A5%BD%E5%BC%98 安田好弘 - Wikipedia

安田の逮捕・勾留に際しては、全国から安田の弁護をしようという弁護士が集い、約1200人が弁護人となった。約3000名が抗議デモを行い、日本弁護士連合会やアムネスティ・インターナショナルなどの団体から、警察やマスメディアに対し抗議声明が発表された。

第1審において、安田に対して懲役2年が求刑されたが、2003年12月24日、東京地裁は、検察官の主張を退け、安田の不動産会社への助言に違法性はなかったとし、無罪判決をしたため、検察側は控訴した。

控訴審においては、約2100人の弁護士が弁護人となった。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　最近ではすっかり名前を見かけなくなった安田好弘弁護士ですが、刑事裁判の歴史にこれほど影響を与えた弁護士は他にいないでしょう。それだけに上記のような具体的な数字の情報もすぐに見つけることが出来ました。

　約2100人の弁護士が弁護人となった、のは控訴審とのことで、これも初めて知ったような気分です。全弁護士の刑事弁護における役割の期待の象徴な存在で、その後の歴史的な変遷の過程を知るだけに、いっそう特異な存在、偶像的な信仰にも思える弁護士です。

　時刻は12時31分です。炊飯の用意をした後、テレビを見ながらスマホでフリック入力の練習をしていました。けっこう集中して長い時間やりつづけることもあります。練習を始めまだ3ヶ月は経っていないように思いますが、いくらか上達しています。

　さきほどジャーナリストの江川紹子さんのタイムラインで、気になるツイートの更新があります。美濃加茂市長事件の控訴審判決のことから再審に及ぶもので、裁判所の対応を皮肉っているようです。

ツイート：amneris84（Shoko Egawa）：2016/11/29 12:00： <https://twitter.com/amneris84/status/803433498124001282> ： 引用→　 美濃加茂市長の事件で名古屋高裁は、昨日のうちにマスコミ向けの判決要旨（63ページもある）を出したのに、弁護人には判決書を渡さない、とのこと。「では、とりあえずマスメディア向けのものを」と頼んでも拒否されたらしい。裁判所は、どっち見て仕事してるん？

ツイート：amneris84（Shoko Egawa）：2016/11/29 12:01： <https://twitter.com/amneris84/status/803433636301152256> ： 引用→　 布川事件の再審判決の時、裁判所は弁護団の求めにも拘わらず、言い渡し当日に判決書を渡さず、検察官のみに判決書草稿を密かに渡していたのを思い出した。言い渡し時は、マスコミ向けの要旨（４ページ）をたった１枚見せたが、すぐに回収された。メディアには配られたものなのに…。

ツイート：amneris84（Shoko Egawa）：2016/11/29 12:03： <https://twitter.com/amneris84/status/803434055127601152> ： 引用→　 布川事件で、裁判所が検察官にのみ判決草稿をこっそり渡し、弁護団にはマスコミ向け要旨すら持ち帰らせなかった経緯を知りたい方はこちらの弁護団声明をどうぞ　→https://t.co/JH0LYJA4jO

　もう10日ほど前になりますか、ジャーナリストの江川紹子さんが弁護士アカウントとの間で、取り調べの弁護士の立ち会い、可視化について論戦のようなやりとりをやっていました。初めの弁護士とは喧嘩別れになったようです。

　ジャーナリストの江川紹子さんのタイムラインは、挨拶のような返信を除けばツイートの数もそう多くはないので、タイムラインを遡って探しだすことが出来そうです。ご紹介しておく必要性を感じてきました。

ツイート：amneris84（Shoko Egawa）：2016/11/16 10:12： <https://twitter.com/amneris84/status/798695134275596288> ： 引用→　 今なおこういう弁護士がいるんだなあ……。他人のコメント誤読して、居丈高な物言いをする。こういう人とは、あんまり会話したくにゃい。 <https://t.co/aYr3NqjtFW>

　初めに目に着いたのも上記のツイートだったと思います。ここから弁護士の現場の思考として参考になる発見がありました。深澤諭史弁護士のタイムラインでも、ときたま見てきたアカウントだったと思います。

ツイート：itotakeru（伊藤たける）：2016/11/16 01:06： <https://twitter.com/itotakeru/status/798557813953789952> ： 引用→　 コメントするのは自由ですけど、少なくとも弁護士からの反論にはキチンと応答していただきたい。ジャーナリストならば、コメントへの責任の重さを自覚していただきたいところ。金持ち批判をして、効果があるものを否定するのは、本末転倒です。 <https://t.co/xqhHQXz79o>

ツイート：amneris84（Shoko Egawa）：2016/11/16 00:07： <https://twitter.com/amneris84/status/798542897427587073> ： 引用→　 取り調べへの弁護士立ち会い。できるに越したことはないが、冤罪防止の効果は限定的かと。だって、何十時間もの取り調べの間に、弁護士に立ち会ってもらったらいくら弁護料がかかる？お金持ちや大きな組織がバックにある被疑者には有効で、その効果は肯定的に考えつつ。それよか、幅広の可視化を

ツイート：kyoshimine（弁護士 吉峯耕平（カンママル撲滅委員会））：2016/11/16 10:22： <https://twitter.com/kyoshimine/status/798697795985121281> ： 引用→　 @itotakeru これは私の勝手な意見ですが、江川さんは素人っぽいことをおっしゃいますが（それは素人なのである意味仕方のないことです）、分かった弁護人（それこそ野田先生、伊藤先生のような）と円滑にコミュニケーションがなされるとよいなと思っています。なるべく喧嘩にならないよう。

ツイート：itotakeru（伊藤たける）：2016/11/16 11:21： <https://twitter.com/itotakeru/status/798712451562807296> ： 引用→　 @kyoshimine おっしゃることはわかります。ところで、単なる素人ではなく、ジャーナリストである点をいかがお考えでしょうか。個人的な情報発信ではなく、ジャーナリストとの肩書きつきで、多数のフォロワーがいるものを個人のツイートとどうしすべきなのでしょうか。

ツイート：kyoshimine（弁護士 吉峯耕平（カンママル撲滅委員会））：2016/11/16 11:27： <https://twitter.com/kyoshimine/status/798714064914432000> ： 引用→　 @itotakeru （ある意味）素人であるジャーナリストと刑事弁護人が対話して、その結果をフォロワーに見てもらえば良いのではないかと。対話の結果、弁護士側から批判せざるを得ないこともあるだろうけれど、初手から喧嘩腰になる必要はないでしょう。その態度もフォロワーが見ているのです。

ツイート：itotakeru（伊藤たける）：2016/11/16 11:36： <https://twitter.com/itotakeru/status/798716447039987712> ： 引用→　 @kyoshimine そもそも、彼女はその議論を野田先生との会話の中でしか展開していないため、彼女のフォロワーは閲覧する機会が乏しいのではないかと思います。それを前提とすれば、何万人もの人に、あたかも弁護人立会いが費用のかかる手段だとの印象を与えかねません。

ツイート：itotakeru（伊藤たける）：2016/11/16 11:56： <https://twitter.com/itotakeru/status/798721440019136512> ： 引用→　 @kyoshimine ご指摘のような解釈も可能かもしれませんね。しかし、私が問いたいのは、ジャーナリストが誤った見解を流布させた場合、それに対する対抗言論も同一の市場に流すことが、思想の自由市場の確保になると考えます。報道の自由は、個人的な自由ではなくインフラだからです。

　あまりタイムラインを開くことのなかった弁護士アカウントですが、かなりツイートの頻度が高く、11月17日まで遡るのに時間がかかりました。次のコマンドで連続した13のツイートをまとめてご紹介します。

本件殺人未遂事件の事実関係＼弁護士脳汚染除去装置・化け物弁護士の封じ込め、弁護士妖怪大泥棒神社へ奉納としての時代絵巻

:CATEGORIES: 2016年11月提出予定の告訴状 :TAGS: 告訴状の下書き,市場急配センター

2016-11-29　火曜日　18：02　＞＞ ［［　←これからの記述範囲の開始時刻］］＞＞

　これから明日の夜、日付が変わる直前つまり2016年11月30日23時59分をタイムリミットとして、平成4年から年月を重ねた集大成としての告訴状を仕上げます。本当は丸2日間の48時間ぐらいをあてたいとも考えていましたが、大きなニュースもありずれ込みました。

　大きなニュースとは、歌手ASKA氏の執行猶予中の覚醒剤使用での逮捕のこともありますが、テレビで幻覚、幻聴の症状と思われる姿を目のあたりにして、客観的な自分の立場をより踏み込んで考える機会にもなりました。

　というのも平成4年の傷害・準強姦被告事件で、私選弁護人だった被告訴人木梨松嗣弁護士によって事実上強制的な精神鑑定を受けさせられ、本来意味のあった事実関係の全てを無視され、不当な判決が確定することになったからです。

　金沢大学附属病院において一ヶ月間の精神鑑定が実施され、山口成良金沢大学教授の鑑定書には、「精神病質の傾向を有する被告人の爆発反応」という記載もあり、その旨、鑑定後の法廷での山口成良金沢大学教授の証言にも発言があったと思います。

　自分はおかしくないなどと、いくら言っても無駄なばかりか、かえって立場を悪くするであろうことは、これまでたびたびご紹介してきた深澤諭史弁護士のストーカーをキーワードに含む数々のツイートにも現れています。

参考資料：「ストーカー」をキーワードに含む「深澤諭史弁護士（@fukazawas）」のツイート（2015-05-18 18:06〜2016-11-05 21:59）「1／116」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=44591> 参考資料：「ストーカー」をキーワードに含む「深澤諭史弁護士（@fukazawas）」のツイート（2015-05-18 18:06〜2016-11-05 21:59）「101／116」件,<https://hirono2016s.wordpress.com/?p=44593>

　上記のブログでのまとめ記事からいくつか深澤諭史弁護士のツイートをご紹介したいと思います。これは一つの方向性を定める目的があります。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/09/03 11:19： <https://twitter.com/fukazawas/status/771895351863193600> ： 引用→　 これほど「被害者側から加害者を『治療』して欲しい」と声の上がる事件類型は珍しいかも。 ストーカーは「アイツが俺の思い通りになれば，俺は犯罪せずに済んだ。だから俺は悪くない。悪くないからやっていない」という思考経路で否認と思しき事案もあり，治療は本人のみならず社会のためにも急務。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2016/10/21 10:50： <https://twitter.com/fukazawas/status/789282680785350656> ： 引用→　 仰る通りかと思います。他，ストーカー犯でも少なくないですね。 根底には，「相手が悪いから」「相手が俺の思うとおりになれば事件にならなかった」「俺は悪くないからやっていない（ことにしたい）」という気持ちがあると思います。 <https://t.co/vztO3YfFbI>

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2015/05/23 11:46： <https://twitter.com/fukazawas/status/601942165246214144> ： 引用→　 それはそうなんだけれど，本当に弁護士にもっとストーカー，労働事件，高齢化や貧困化に伴う事件について法的支援をさせたいのであれば，経費が償える水準の法律扶助，償還免除をもっと拡大しないといけない。

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2015/05/25 23:19： <https://twitter.com/fukazawas/status/602841532836630528> ： 引用→　 ストーカー犯罪について少しつぶやこうと思ったが明日以降にしよう。 つきまとうだけでなくて、「真意を確かめたい（知りたい）」名目で、凶行に及ぶところがあり、予想できないのが恐ろしいところではある。 (･∀･；)

ツイート：fukazawas（深澤諭史）：2015/05/30 08:37： <https://twitter.com/fukazawas/status/604431456580935680> ： 引用→　 <http://t.co/NVZdUtGLjF> ニコニコ動画でストーカーが扱われていますね。 動画と直接関係ないですが，ストーカーの，相手に拒絶の意思を伝えられているのにも関わらず，「真意を確かめたい」「本当の気持ちを確かめたい」「話し合いたい」という率は非常に高いです。

　1枚目のページにはTwitterのレイアウトスタイルの適用がありませんでした。個別のツイートだけだとツイートが削除された可能性が高いですが、ページ全体で無効になっているのは、無効となったなんらかのURLが含まれている可能性が高いと経験から考えています。

　特に注目したのは「真意を確かめたい」という部分ですが、これは私が長い間苦しめられてきた呪縛を象徴する言葉でもあります。深澤諭史弁護士が過去の私の資料を読んで使った可能性もあるかと考えますが、内心の問題でもなり、本人でないと確認できないことです。

　今回、この告訴状の最終局面にご指摘をしておきたいことは、被害者安藤文さんが意識不明の状態となり、話を聞くことができなかったので、本来、私と彼女を罠に貶めていた会社の関係者の供述を無批判に採用したことが、大間違いの始まりでした。

　時刻は19時49分になっています。19時過ぎに出かけたように思いますが、Aコープ能都店に買い物に行ってきました。明日の30日はレジの入れ替えとかの臨時休業となっていて、一部を除く生鮮食品の売り尽くしと広告にでていましたが、惣菜がほぼ全滅状態でした。

　いろいろと迷ったのですが、秋田産の大きめのハタハタが3匹のパックで350円の半額になっていたので、それを買ってきました。生のハタハタを買うのは珍しいことで小さめのを煮魚にしたことしかないのですが、これを塩焼きにしてみようと考えています。

　出かける直前に、ブラウザのタブで開いたままにしているシリウスＡさんのタイムラインで、リツイートとして次のツイートを見かけました。最後の追い込みの時期なので、取り上げようか迷ったのですが、なにか心残りもあるので、ご紹介することにします。

ツイート：47news（47NEWS）：2016/11/29 18:19： <https://twitter.com/47news/status/803528717121138688> ： 引用→　 八木死刑囚の特別抗告棄却　埼玉の保険金殺人、再審認めず <https://t.co/XFMskIspiq>

　最近はめっきり保険金目的殺人という事件を見なくなったので、実際はどうなのだろうと考えることもあります。この疑惑の事件は週刊誌で報道を見たような記憶もあるのですが、一部で刑事弁護の神様と称される高野隆弁護士が担当したはずです。

　あえて過去形として書きましたが、現在の担当弁護士のことは何もわからないからです。この事件は以前、YouTubeの動画で、逮捕の少し前に苛立った被疑者が、飲み屋の店内で報道の関係者を殴りつける場面の動画を見たことがあります。

　その後、テレビの番組でも同じ場面の動画を見ましたが、そちらはぼかしが入っていて、実際の迫力が全く伝わらないものとなっていたのが、特に印象的でした。

　今日は買い物に出かける前の、テレビ金沢の「となりのテレ金ちゃん」で、日本全国の海女文化について放送を見ました。同じテーマで塩文化の紹介もあり、能登島から新潟県に広まったという話もありました。

　「参考資料扱いにした過去の告訴状の下書き」では一度は取り上げたことがあると思いますが、高野隆弁護士のことは、羽咋市に住んでいる頃にブログで見た士業のことがとりわけて印象的で、深く考えさせられるところがありました。

　内容は弁護士を士業として侍にたとえ、昔の時代であれば無礼うちなどと、強い憤りを表明されていたものです。私のTwilogで、士業と検索すれば、見つかるかも知れません。実行してみます。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/08/14 00:06： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/764478247014834176> ： 引用→　 奉納＼弁護士妖怪大泥棒神社・金沢地方検察庁御中: ノースライムのツイートの記録：”弁護士業務を行う上で想像力はかなり大切なんだが”の前後の流れ <https://t.co/ZU8CKVYrET>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/04/16 00:02： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/720990733788819456> ： 引用→　 .@fukazawas @zakiyama487 貴方こと深澤諭史弁護士にはブロックされているようなので伝わらないかもしれませんが、今後はなおいっそう社会的責任を自覚して責任のある初減を求めます。もとよりその前提で弁護士業界そのものに問題の提起と責任を問うのはもちろんのことです。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/03/23 21:19： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/712614693534179328> ： 引用→　 高島章（弁護士）さんはTwitterを使っています: “地獄の弁護士業界に追い打ち！テレビ局、起用弁護士の選別強化＆NGリスト作成（Business Journal） – Yahoo!ニュース… <https://t.co/v187zRUZLf>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/01/08 01:52： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/685141977034260481> ： 引用→　 紛争が大きくなれば、会社が負けたとしても、顧問料や係争費用で利益が出る。そのために会社に次々と違法行為をやらせて利益をむさぼる、反社会的な士業が存在している」と語り、「違法行為を助長するような士業の取り締まりは急務だ」と述べた。 <https://t.co/EQllXhxqDn>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2016/01/08 01:51： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/685141706212274176> ： 引用→　 POSSE代表の今野晴貴氏は「『ブラック士業』という、違法だと分かっていながら、あえて違法な行為を会社に指南する弁護士や社労士が、一群の層をなしている」と指摘した。 <https://t.co/Y0qtwtXwnY>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2015/12/19 16:27： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/678114485882757121> ： 引用→　 拙著『ブラック企業 日本を食いつぶす妖怪』（文藝春秋、2012年）では、「ブラック士業」の手口として指摘したものである。 <https://t.co/s2R1pDj9RQ>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2015/08/31 00:17： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/638007729009786880> ： 引用→　 @HideoOgura @MDCtoGO @nobuyoyagi 小倉秀夫弁護士のような上面を引っ掻き回すような発言を軽く見て放置しておくことが、なによりも戦争や天災以外での不幸せへの最短経路になりそうです。無害化するか、毒をもって毒を制すで弁護士業界の打撃を期待するか。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2015/08/11 12:19： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/630941552995512320> ： 引用→　 警察、検察庁において是非参考にして頂きたいインターネット上における弁護士の発言／弁護士業界による深刻な権利侵害と深澤諭史弁護士のツイート・被害者AAさんの家族への23年以上放置され続けている権利侵害の実態の参考、導入編:... <http://t.co/HRKAoxmiKn>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2015/06/10 22:49： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/608632179959181312> ： 引用→　 弁護士の不正を追及する市民団体の市井信彦代表（60）は「弁護士会の監督機能が働いておらず、複数の弁護士会で監視し合うなど、弁護士業界の抜本改革が必要だ」と話した。 <http://t.co/XqJVxc828q>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2015/05/30 23:26： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/604655057892712448> ： 引用→　 ▶ ひといきつきながら NMB48篇 - YouTube <http://t.co/j3H4NumB1d> 「正しい道はたいてい険しい」と出た。泥棒神社（弁護士業界）を想う夜。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2015/05/29 21:00： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/604256047688237057> ： 引用→　 冤罪を生んだ責任の９９・９％は捜査機関に ＜今村元・富山弁護士会会長声明 ・2008年頃＞- 日暮れて途遠し（過去記事の転載から） | 告発-金沢地方検察庁御中2014 <http://t.co/SAiz20C8Pe> いつも何度でもと社会に訴えかけた弁護士業界の一面です。

リツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）＞2015/05/26 16:20／2015/05/26 16:15＞ <https://twitter.com/hirono_hideki/status/603098389866090496> ＞ kkhirono （告発-金沢地方検察庁御中ツイッター）＞ <https://twitter.com/kk_hirono/status/603097181168340992> ＞ 引用＞　 **\*\*** EDITING 深澤諭史弁護士のツイートに見る、ストーカー問題に対する弁護士の経験的認識と予想及びそれと表裏一体にも見える弁護士業界の切り捨て独断体質

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2015/05/18 12:18： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/600138355771351040> ： 引用→　 弁護士業界における司法制度改革に対する皮肉らしい「お前ら成仏、俺モリハマ」をキーワードに含む主にツイートのまとめ（2015年5月18日現在）: 金沢地方検察庁御中 <http://t.co/yfHeXhKq7A>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2015/01/11 15:56： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/554169844933738497> ： 引用→　 @HideoOgura @akimio 小倉秀夫弁護士隊長の目指す方向性、彷徨性について考えさせられるところです。弁護士界での単独遭難になるのか、弁護士業界全体の崩壊へと進んでいくのか。これまでの歩みを含めて。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2015/01/06 20:58： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/552434081590697984> ： 引用→　 @HideoOgura @benbenc70 . さすがにどうにかしてよこの馬鹿を、と弁護士業界に向けて言いたくもなります。解き放たれた小倉秀夫弁護士のことです。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2014/12/27 23:28： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/548847816039100416> ： 引用→　 @HideoOgura @kabutoyamataro 弁護士業界の凋落は光市母子殺害事件にターニングポイントがあったのではと思いますね。近いところではPC遠隔操作事件もありますが。おぞましさが強烈過ぎます。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2014/05/12 18:24： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/465784535657897985> ： 引用→　 @HideoOgura @tamai1961 このツイートをたまたま見かけましたが、弁護士及び弁護士業界が貧乏神の疫病神に見えてきました。です（とくダネ！の脳活ジョニーみたいな機会的感じ）。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2014/05/05 20:54： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/463285604848250880> ： 引用→　 相次ぐ冤罪・不祥事への反省ナシ!　取り調べ「全事件」可視化を阻止する捜査当局の悪あがき（1/2） | ビジネスジャーナル <http://t.co/eY6oxFZqdL> 最も弁護士業界は最も破滅的な状況にあるとも見ている。ウミネコのような厳しい目線で、高所から幅広く見つめたい。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2014/04/25 09:54： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/459495631933800448> ： 引用→　 @HideoOgura @sinconditioning @naopata 小倉秀夫弁護士のネット上での振る舞いをみていると、弁護士業界自体が火付け盗賊にも見えてきますね。泥棒神社の弁護士界の神主とか。業火絢爛の大明神、ご本尊とか。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2014/04/14 21:43： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/455687802466729984> ： 引用→　 @HideoOgura @tamai1961 @westlinen 相変わらず、「媚びず、顧みず、我が生涯に一変の悔いなし」の弁護士業界を象徴するような小倉秀夫弁護士の発言です。一分も救いようも感じさせないですね。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2014/03/11 23:13： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/443389163862499328> ： 引用→　 暴力による弁護士業務の妨害は、基本的人権を擁護し社会正義を実現することを使命とする弁護士制度に対する不当な攻撃であり、司法制度や法秩序に対する重大な挑戦であって、決して許すことはできない暴挙である。 <http://t.co/kUjvzu7F1J>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2014/03/10 09:54： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/442825741542371328> ： 引用→　 @bengoshiinfo 泥棒神社の弁護士業界は、まったく救いようもないので、溜めるだけためて一気につぶれて消滅してもらいたいものです。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2014/02/04 00:15： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/430358962433585153> ： 引用→　 @HideoOgura そろそろあなたこと小倉秀夫弁護士ご自身の問題点に向き合ってみたらいかがでしょうか？　弁護士業界全体にも当て嵌まるかと思いますが、あなたの場合はストレートでわかりやすいです。それが救いの余地なのかもしれないですが。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2013/12/27 17:33： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/416487031079190528> ： 引用→　 林田力 ブラック士業研究 <http://t.co/r6U6jmxxI8> ブラック士業、という言葉は初めて見たかと思います。弁護士や司法書士のことかと思いますが、弁護士の中では、サムライだと語る人もいました。法廷で気に障ることがあったらしくブログで昔なら無礼うちだと書いていました。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2013/11/08 20:10： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/398769499047874561> ： 引用→　 <http://t.co/KqYIue6CWq> 現実離れした過剰な期待を抱かせるという点では、弁護士業の右に出るサービス業はないように思います。私個人は「泥棒神社」という結論にも至っております。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2013/11/06 23:28： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/398094601208463360> ： 引用→　 頭や内臓が取り除かれているのは、食べれないほどではないけれど、腐敗臭がする為に調理された魚。残念ながらこういった魚も販売しなければ廃棄ロスが増え、魚屋は成り立たない。 <http://t.co/ZJHDIVW5Ah> ←　幸い見たことはないですが、弁護士業の成り立たないにも通じそう。

リツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）＞2013/11/04 22:28／2013/11/04 22:22＞ <https://twitter.com/hirono_hideki/status/397354565915672576> ＞ shirono （非常上告-最高検察庁御中ツイッター）＞ <https://twitter.com/s_hirono/status/397353111431311360> ＞ 引用＞　 @HideoOgura @eguchi2013 あえてカモ探しをやっているのかもしれないです。抜けるうち、取れるうちに今の資格で荒稼ぎというのが、よくあるパターンになっているのかもしれないです。業界人だけに見切りも早いのかと・・・・。弁護士業界のことです。私は泥棒神社とも・・・

リツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）＞2013/11/04 21:17／2013/11/04 10:11＞ <https://twitter.com/hirono_hideki/status/397336726105911296> ＞ HideoOgura （小倉秀夫）＞ <https://twitter.com/Hideo_Ogura/status/397169244929916928> ＞ 引用＞　 「娘に売春させて生活費をまかない、自分は北海道の過疎地でリーガルサービスを提供する」という旧態依然としていない弁護士像を否定するくせに。RT @horatio2chsi: 旧態依然とした既得権的な弁護士業務を前提にしているのではないかと思えてきました…

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2013/11/04 17:13： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/397275427288252416> ： 引用→　 @HideoOgura @domotwitta 過疎地や社会を愚弄していると思いますが、弁護士業界自体が早く自然消滅してほしいものです。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2013/10/09 23:29： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/387947849226665984> ： 引用→　 @HideoOgura まずは弁護士業界として襟をただすところから初めてはどうですかね。破滅に向かうことは個人的には大歓迎ですが・・・。→　小倉秀夫弁護士

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2013/08/26 21:22： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/371970842902949888> ： 引用→　 @sakanosi 安田好弘弁護士や佐藤博史弁護士の欺瞞性を無視した弁護士業界に明るい未来など、あり得るはずがないと思っています。もはや後戻りも出来ないことでしょう。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2013/04/06 11:04： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/320356307821543425> ： 引用→　 （引用→）被害総額10億円、被害者300人ともいえる弁護士業界始まって以来の詐欺横領 事件です。自己破産ではなく被害者の方が申し立てた債権者破産です。 岡山弁護士会は今回の横領事件は福川の単独犯で弁護士会には責任は ないと会見でも述べ <http://t.co/N3mjUv2hSd>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2013/04/05 22:13： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/320162251090845696> ： 引用→　 弁護士小倉秀夫（@HideoOgura）の国選弁護に関するツイート - Togetter <http://t.co/jH4XuYPUyj> 弁護士業界、破滅への貢献度は高く評価もしていたのですが、最近はそれどころではないと思うようになりました。健全な青少年への影響も考え。有害ゴミ。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2013/02/22 20:34： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/304917060205572096> ： 引用→　 スコープ２０１３：弁護士業務上横領事件　被害について「弁護士会に法的な責任はない」という立場だ。岡山弁護士会の火矢悦治会長は | 告発-金沢地方検察庁御中2013 <http://t.co/3r4R3DDjKq>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2012/03/09 11:14： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/177940282048921600> ： 引用→　 YouTube Jupiter（ジュピター）／平原綾香 - YouTube <http://t.co/7maHSOUi> すばらしい曲です。繰り返し聴いていると。日本の弁護士業界が暗黒星群に思えてきました。

リツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）＞2012/02/25 00:07／2012/02/24 09:14＞ <https://twitter.com/hirono_hideki/status/173061399768084481> ＞ motokentw （モトケン）＞ <https://twitter.com/motoken_tw/status/172836820952948736> ＞ 引用＞　 特に刑事弁護をする弁護士からは弁護士以下の最低評価。RT @nobuyoyagi: 間髪入れないお答え....w RT @crusing21: それは最悪ですね。RT @GJj24: @crusing21 橋下大阪市長の、弁護士業界での評判はどうなのでしょう？とふとおもいます。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2012/02/19 18:07： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/171158904330391552> ： 引用→　 廣野秀樹 - Google+ - こちらが「死刑に対する朝日の見識 -… <http://t.co/EDGEdrEt> 明日、最高裁で最終的な判断が出るそうですが、私の安田弁護士に対する疑問は、弁護士業界全体に対する疑問でもあります。ここに一つの区切りをつけておきたいと思います。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2012/02/05 15:58： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/166052981526118400> ： 引用→　 弁護士業界というのは、一度ペンペン草もはえない焼け野原のする必要がありそうですね。 RT @nosaibaninko: @hironohideki そうですか。大変でしたね。確かに一部の弁護士は司法制度改革以降の増員政策で劣化しています。インコの周りの弁護士にはいませんが、

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2011/05/20 18:07： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/71502206246977536> ： 引用→　 ブロックされているので公式RTできないです。→　RT @yjochi: 先のない弁護士業界だから、地味にこつこつやることが重要。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2011/05/20 18:05： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/71501871298252800> ： 引用→　 ブロックされているので公式RTは出来ないです。→　RT @yjochi: 弁護士業界は、もはや構造不況業種と見たほうがよい。昔の、牧歌的、薔薇色の時代の記憶を、一旦、頭の中から消し去らないと。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2011/05/01 06:45： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/64445314643402752> ： 引用→　 明治時代に代言人であった弁護士が、何故サムライになったのか不思議です。三百代言とも呼ばれて　RT @astymd:我々士業が何故サムライを名乗ることを許されているのか。少数精鋭の特権階級ゆえの矜持という、いささか口はばったいものを自らアピールしなければならない気恥ずかしさ。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2011/05/01 06:39： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/64443809513209856> ： 引用→　 噴飯ですが、一度は天下に向かった発言なので削除とかしないで欲しいです。 <http://ow.ly/i/aYYe> RT @astymd: 我々士業が何故サムライを名乗ることを許されているのか。少数精鋭の特権階級ゆえの矜持という、いささか口はばったいものを自らアピールしなければなら

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2011/05/01 06:35： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/64442699037675521> ： 引用→　 不始末のケジメをつけるのに切腹するのが侍ですが、弁護士が責任を取ったという話は聞いたことがないです。 RT @astymd: 我々士業が何故サムライを名乗ることを許されているのか。少数精鋭の特権階級ゆえの矜持という、いささか口はばったいものを自らアピールしなければならない気恥ず

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2011/04/28 14:31： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/63475407185383424> ： 引用→　 人様に迷惑の掛からない範囲で矜恃、信念とかもって欲しいです。 RT @astymd: ないかな、と思ったんです。我々士業が何故サムライを名乗ることを許されているのか。少数精鋭の特権階級ゆえの矜持という、いささか口はばったいものを自らアピールしなければならない気恥ずかしさ。

　「弁護士業」が同じキーワードにヒットするとは思いませんでしたが、過去を振り返る意外な機会にもなりました。高野隆弁護士に直接関わるものはなかったですが、次はずばり「高野隆弁護士」で検索してみます。

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2015/10/29 18:43： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/659666762544345088> ： 引用→　 （引用→）原告弁護人の高野隆弁護士の話　我が国の歴史に大きな足跡を残す判例で満足している。 　岩橋義明・最高検公判部長の話　主張が認められなかったのは誠に遺憾だが最高裁の判断なので真摯に受け止めたい。 <https://t.co/n4tUk0ZeFt>

ツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）：2015/03/23 16:38： <https://twitter.com/hirono_hideki/status/579910141694353408> ： 引用→　 放火殺人被告に無罪＝妻子死亡の裁判員裁判―さいたま地裁 （時事通信） - Yahoo!ニュース <http://t.co/BtESyeGY67> 落合洋司弁護士（東京弁護士会）のツイッターで知った。弁護人が気になる。埼玉県の大きな裁判というと高野隆弁護士のことが頭に浮かぶ。

リツイート：hironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語）＞2014/09/23 01:31／2014/09/20 11:39＞ <https://twitter.com/hirono_hideki/status/514089651456323584> ＞ okinahimeji （櫻井光政）＞ <https://twitter.com/okinahimeji/status/513155530223669249> ＞ 引用＞　 文句なしにかっこいいな。高野隆弁護士。・・・私たちの理念 <http://t.co/CRP2luk8dt>

　意外なことにhironohideki（奉納＼さらば弁護士鉄道・泥棒神社の物語のアカウントでは、高野隆弁護士のブログでのサムライのことは見つかりませんでした。「サムライ」でやってみます。

　だめでした。Googleで「高野隆弁護士　サムライ」とやってみます。

高野隆弁護士　誰とでも - Google 検索 <http://bit.ly/2gEO5Wh>

　上記のように検索したことで、ようやく記事を見つけました。正確にご紹介するために、次に全文を引用します。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://blog.livedoor.jp/plltakano/archives/65591353.html 刑事裁判を考える：高野隆＠ブログ:弁護士は誰とでもすぐに仲良くなれるとは限らない

2011年02月19日 弁護士は誰とでもすぐに仲良くなれるとは限らない 東京地裁の法廷の弁護人席で裁判官の登場を待っていると、スーツ姿の見知らぬ男女5名が法廷に入ってきて、そのうちの２人が傍聴席のバーを越えて、私の後ろに入り込んできた。残りの３人は法廷の反対側、検察官席に向かった。ジャケットの襟に司法修習生のバッジをつけている。私の後ろには長テーブルがあり、私のコートとカバンが置いてある。修習生が躊躇している姿に気付いた裁判所書記官は迷いもせずに、私のカバンとコートをどけて、修習生のための席を整えた。修習生は私に何の挨拶もなく、無言で私の背後のテーブルに着席し、もっともらしく三省堂模範六法の適当な頁を繰って目を落としているふりをした。

私の内部ではめらめらと怒りの炎が燃え盛った。が、今日は判決言渡しだけなので、依頼人のためにも我慢しようとした。そしてちゃんと我慢できた。

これほど失礼な、無神経な、無礼極まりない振る舞いがあるだろうか。無言で勝手に他人の所持品をどかして、挨拶もなく人の背後に陣取るなどということが許されるだろうか。江戸時代の武士の作法からすれば、私の背後に無言で近付いた瞬間に私に切り捨てられても申し開きは許されまい。現代の法廷において弁護人は訴訟記録や尋問メモを弁護人席において、法廷活動をする。ときには依頼人と小声でコミュニケーションをする。そのときに、背後に見ず知らずの他人がいるなどということはおよそ想定外である。そのような状態で十分な弁護活動ができるわけはない。

彼らは裁判官の下で実務修習をしているのであり、弁護人である私の下で修習しているのではない。私は彼らの名前もしらない。彼らは全くの赤の他人である。しかし、裁判員や傍聴人はそれを知らないだろう。私の後ろにいる以上、弁護人か少なくとも弁護人の関係者だと思うだろう。彼らが証人尋問中に鼻くそをほじっていたらどうだろう。被告人質問中に居眠りしていたらどうだろう。「被害者」の意見陳述の間に今晩の飲み会の打ち合わせをひそひそにやにやしていたらどうだろう。私や私の依頼人には彼らを管理できないのに、彼らの不始末の不利益はわれわれが負うことになる。

これは最近の東京地裁で頻繁に行われるようになったことである。私の１回だけの体験ではない。すなわち、東京地裁の裁判官たちは話し合いのうえで、組織的に修習生を当事者席に座らせることを決定したのだ。これほど不躾なことを事前に何の連絡もなく、さも当然のように一糸乱れず遂行できる裁判所というのは、一体どんなところなんだろう。それを指揮した裁判官という人たちはどういう人間なんだろう。少なくとも、彼らは、弁護人の法廷における仕事が秘密や自由を扱うセンシティブなものであることを理解していない。弁護士というのは、その背後わずか４０センチの範囲を犯されても何も感じない人間だと思っている。それだけは確かである。

私が修習生をしていた３０年前には、弁護修習中の修習生は弁護人席に座り、検察修習中の修習生は検察官席に座り、そして、裁判修習中の修習生は法壇の上の裁判官席に座ったのである。最近になって、裁判所は修習生を法壇から追い出した。それでも弁護人席に勝手に座らせることはなかった。法壇の横に修習生を座らせた。今回の動きは、おそらく裁判員裁判の法廷の構造が原因であろう。裁判員法廷の法壇は非常に大きい。そのために、法壇のうえ以外に修習生を置いておくスペースがない。現代の裁判官は司法修習生を法壇に置く勇気などない。弁護人席なら問題ないだろう。この小役人根性と弁護人を見くびる姿勢が今回の出来事の背景にある。

弁護士は、このような理不尽に対して黙っていてはいけない。依頼人のためにもまた刑事弁護のためにも毅然とした態度をとるべきである。その場で声をあげ、自分の背後から不逞の輩を追い払おう。そうでなければ、法廷における弁護の地位はますます矮小なものにされていくだろう。全国の同志よ。立ちあがれ！怒れ！

「刑事裁判」カテゴリの最新記事

未決拘禁日数の本刑算入について：「一部算入説」批判 高橋事件弁護団広報2016年7月12日：控訴審第1回公判 公判前整理手続について(2)：長期化の原因とその対策 公判前整理手続について 高橋事件弁護団広報2015年5月1日：控訴

plltakano at 23:09│コメント(20)│トラックバック(0)│刑事裁判 | 刑事弁護の実務

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　記事の日付が、2011年02月19日となっていました。まだ羽咋市に住んでいた頃に見たという記憶はあったのですが、羽咋市のアパートにいたのは同年の3月15日までだったので、その一月弱前ということになるようです。

　かすかな、タイトルのフレーズの一部が記憶に残っていたことで、なんとか探しだすことが出来ました。ずいぶん遠回りをしましたが、それがいくつもの再発見にもなったので、巡り合わせのようなものも感じます。

　弁護士がサムライと同一視するとか無礼打ちなどと公言するのは、すさまじい自意識の高さと社会に受け容れられるべき許容性の大きさを、間接的に考えさせられるものでもあります。

　平成4年から私の裁判が確定するまでの平成6年2月21日頃までの時期というのは、誰もが現在のようなインターネットの普及と個人の情報発信の機会の到来を想像はしていなかったと考えられ、ただでさえ閉鎖性の高い法曹業界だったはずです。

　SNSの黎明期ではありましたが、インターネットが十分に普及した平成20年の時点でも、ブログ主の主催者となっていたモトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）は、出る杭を潰すがごとく、容赦のない攻撃を加え、私に致命的ダメージを与えてくれました。

　Aコープ能都店の買い物から戻った直後には、市川寛弁護士の次の看過できないツイートも目にしていました。郷原信郎弁護士のツイートのURLの引用を含むものであり、あわせて次にご紹介します。

ツイート：imarockcaster42（弁護士 市川 寛）：2016/11/29 09:29： <https://twitter.com/imarockcaster42/status/803395442356555777> ： 引用→　 裁判所の意図に反して検察の「台本」を読んだ「汚染された証人」に依存して有罪にしたとしたら、ずいぶんおめでたい裁判所である。 <https://t.co/tgyOiaXUFj>

ツイート：nobuogohara（郷原信郎）：2016/05/23 23:10： <https://twitter.com/nobuogohara/status/734748270589710337> ： 引用→　 【美濃加茂市長事件、裁判所職権証人尋問を台無しにした”ヤメ検弁護士の資料送付”】と題して、ブログ「郷原信郎が斬る」を更新しました。⇒ <https://t.co/l5RjChHklF>

　よく見ると郷原信郎弁護士のツイートは今年の5月23日のものでしたが、なぜ12時間前に引用のツイートをしたのか、さらに気になるところです。もはや弁護士としての収入を得たい一心でのアップアップの状態なのかとも想像しました。全く迷惑な存在です。

　弁護士の必要に迫られた時、それがどれほどアップアップで、それこそ藁にすがる状態であるのかといことを経験しているだけに、憤りも激しく痛烈なものとなる弁護士の泥棒根性の泥棒商売の一端です。

　藤井美濃加茂市長が、有罪が当然で、弁護が不当などと批判するつもりはありません。むしろ刑事弁護にかこつけて警察、警察を挑発し、世論の不安と反感をかき乱す様は、光市母子殺害事件での安田好弘弁護士に実によく似ていると思われるものです。

　本日は朝の8時30分ころからテレビをつけ、夕方に買い物に出かけただけで、ほとんどずっとテレビをつけっぱなしで、情報番組をチャンネルを変えながら見ていましたが、美濃加茂市長事件の逆転有罪判決の報道はなく、報道の健全性を感じて安堵をしているところです。

　そういえば、午前中に見た北陸中日新聞の朝刊で、テレビでの報道と比較して思いの外、大きな扱いとなっていたのも藤井美濃加茂市長事件の控訴審有罪判決でした。ジャーナリストの江川紹子さんと落合洋司弁護士（東京弁護士会）のコメントの揃い踏みでした。

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-29 22:12 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/803587324206456834> 2016-11-2914.32.24.jpg <https://t.co/RNvyeINtIR>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-29 22:11 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/803587304874876931> 2016-11-2910.57.05.jpg <https://t.co/HhgeeMLElT>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-29 22:11 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/803587268338335744> 2016-11-2910.56.28.jpg <https://t.co/l0vzJhy7O3>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-29 22:11 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/803587250533478400> 2016-11-2910.56.10.jpg <https://t.co/EWThHELga9>

投稿者：shirono（非常上告-最高検察庁御中ツイッター） 日時：2016-11-29 22:11 ツイート： <https://twitter.com/s_hirono/status/803587229587107840> 2016-11-2910.52.28.jpg <https://t.co/1E6aUhbqFX>

　次は、今、シリウスAさんのリツイートから知って、リンクを開いた記事です。部分的な引用をしましたが、意外な反応でもあり、記事に弁護士に触れた内容がなかったというのも、気になったところです。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20161129-00000130-mai-pol ＜美濃加茂市議会＞藤井市長支援の声明　２審で逆転有罪受け （毎日新聞） - Yahoo!ニュース

岐阜県美濃加茂市の浄水プラント導入を巡って受託収賄罪などに問われた藤井浩人市長（３２）が名古屋高裁判決で逆転有罪とされたことについて、市議会は２９日、全員協議会で対応を協議し、今後も藤井市政を支えていくとの声明を発表した。声明を受け取った藤井市長は、市長続投に市議会の支持が得られたとの認識を示した。

　藤井市長は高裁判決から一夜明けた２９日の市議会本会議で改めて無実を訴え、有罪判決を批判して上告したことを明らかにした。

　その後の市議会全員協議会では藤井市長の責任を問う声はほとんど上がらなかったという。声明は「逆転有罪判決で市民に心配をかけていることは誠に残念」と指摘する一方、「新年度予算編成の大事な時でもあり、市民生活を第一に考え、執行部と連携を図りながら、市議会が一致団結し市政推進に努めていく」としている。

　全員協議会終了後に記者会見した森弓子議長（６２）は「（市長の）進退や責任に関する意見は出なかった。市長職を続けたいとの強い意向があるので見守っていく」と話した。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　今日、別のネットの情報で市長の任期が来年の6月までという情報も見かけていたので、市政の混乱を避けたいという思惑も共通して強いのかという想像もしましたが、上告審の決定が任期中に出なければ、郷原信郎弁護士のご利益は事実上のものとなりそうです。

　テレビのマスコミには掘り下げた情報提供も期待しましたが、郷原信郎弁護士のような異常な弁護士は、自分自身が過剰な検察批判に惑わされ取り返しのつかないかたちで時間を失ったという思いが強く、徹底的に無視するのが、世のため人のためとも思います。

　記事が次のように締めくくってあるのも、本来の法律の制度だと思い、それが弁護士の口からはありえなかったものだと思うと、感慨深いものがあります。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20161129-00000130-mai-pol ＜美濃加茂市議会＞藤井市長支援の声明　２審で逆転有罪受け （毎日新聞） - Yahoo!ニュース

上告の申し立てを受けた最高裁は原則として書面で審理し、２審判決が憲法や判例に反していないか検討する。２審判決に重大な事実誤認があり、このままでは著しく正義に反すると認めれば破棄することができる。【小林哲夫、沼田亮】

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　時刻は23時46分です。まだ、遅い夕食の途中ですが、ハタハタの卵の不味さに辟易し、驚いています。地元の宇出津港産としてもスーパーで見かける身近な魚でしたが、卵を見たのも多分初めてで、魚卵は美味いという固定観念が根底から覆りました。

　時刻は日付が変わって11月30日の0時05分となっています。ハタハタの卵の余りの不味さに衝撃を受け、次のページのコメント欄を読んでいたのですが、ハタハタは漢字で鰰と書くとしって、これも驚きました。

社会の窓かちゃんねる : ハタハタ漁が秋田でシーズン本番を迎える <http://blog.livedoor.jp/cameron_madoka/archives/21063462.html>

　ハタハタは、干物をスーパーで買って焼いて食べると、ほぼ外れなく脂がのって美味しいと思っていたのですが、その割に滅多に買って食べることのない魚で、よほど気が向いた時に、年に1,2回買って食べたという感じのお魚でした。

　先日も鮭の卵だけが大量に盗まれたというニュースがテレビに流れていましたが、ハタハタはこれだけ卵がまずいと経験すると、二度と食べる気がしなくなって、自然界の種の保存にも役立ちそうです。ネットで調べると好き嫌いははっきりしているとのこと。

　以前、YouTubeで秋田の方では堤防からハタハタが釣れるということで、釣り人が沢山集まっている様子を動画で見たことがあり、過去に横浜の港ではサンマが沢山釣れて、人が大勢集まったという動画をたまたま見たこともありました。

　能登半島の宇出津でも船ではハタハタが釣れるという話を聞いており、スーパーでも宇出津港産というハタハタを見かけていますが、堤防から釣れたという話は聞いたことがありません。この秋は、小木港でタチウオが釣れたという話も聞きましたが、過去にほとんどなかったことです。

　人生50年以上生きてきて、たまたま魔が差したような気まぐれで買ったハタハタのことで、実体験としての驚きを噛み締めていたところですが、ネットでも次の発見がありました。

リツイート：okaguchik（岡口基一）＞2016/11/29 23:37／2016/11/29 11:32＞ <https://twitter.com/okaguchik/status/803608911995551744> ＞ HirotoMinokamo （美濃加茂市長　藤井浩人）＞ <https://twitter.com/Hiroto_Minokamo/status/803426414514999296> ＞ 引用＞　 とんでもない裁判官に当たってしまったようです。 逆転有罪・・ <https://t.co/7uOTFilc42>

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://www.kanaoka-law.com/archives/284 逆転有罪・・|名古屋市中区の弁護士法人 金岡法律事務所

本欄、平成２７年１１月１１日で報告した無罪事件の検察控訴事案は、あえなく破棄・有罪判決となった（平成２８年１０月１７日、名古屋高裁刑事第２部、村山浩昭裁判長）。この裁判長下でも着任後の１年半で無罪維持が１件（は）あることを考えると、精進が足りないと一先ず考える必要はあるだろうが・・唾棄すべきは、その姿勢である。内容に触れない限度で、以下、簡単に述べてみたい。

第１審は、随所で検察官の立証不足を指摘した。 そこで検察官は、種々の証拠を新たに請求した。事実誤認を主張する論旨であるから、やむを得ない事由が必要になるが、全て第１審段階で可能・すべきものと見受けられた。そして今般の高裁判決も、そのとおり、「やむを得ない事由」はない、と認めた。

しかし、である。 高裁判決は、要旨「第１審の証拠関係からも第１審の事実誤認は相当程度明らか」と断じて、そのように、「自分たちは無罪だとは思わない」という姿勢に基づく職権探知を「制限される謂われはない」と開き直った。 要するに、同じ証拠関係を見ても、自分たちは有罪だと思うから（破棄するためには新たな事実取り調べが判例上の要件となるため）「やむを得ない事由」のない証拠調べを追加で行うという、（有罪のための証拠集めのための）続審と化したのである。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　上記が引用されていたブログ記事の引用ですが、「唾棄すべきは、その姿勢である」という弁護士による裁判官批判です。名古屋市中区の弁護士法人 金岡法律事務所とあるので、弁護士の特定も出来そうですが、お腹いっぱいで調べる気もおきません。弁護士としての腐れっぷりがいかにも不味そうです。

　岡口基一裁判官の紹介のようなリツイートとなっていましたが、昼か午前中にも一つ気になるツイートを目にしていて、取り上げようか迷いがありました。

ツイート：okaguchik（岡口基一）：2016/11/28 22:27： <https://twitter.com/okaguchik/status/803228915519012864> ： 引用→　 ２審でも業者の供述の信用性が最大の争点になりました。検察は「業者の供述は現金授受の場面を１つ１つ思い出しながら自発的に供述していて信用性は高い」と主張https://t.co/8FqZH22skR ところが，実は，業者の尋問の前に・ <https://t.co/jlSL2x5AhK>

　本人のタイムラインではなく、他のアカウントのタイムラインでリツイートとして見たツイートでした。引っかかったのは、「ところが，実は，業者の尋問の前に・」という部分です。

　今、岡口基一裁判官ご本人のタイムラインをさかのぼって探していたところ、一つあとのツイートとして、次のツイートを発見しました。

ツイート：okaguchik（岡口基一）：2016/11/28 23:11： <https://twitter.com/okaguchik/status/803239952926412801> ： 引用→　 ツイッター上に，裁判官を非難するつぶやきがあふれまくってる・・。 この番組のせいだな・・ <https://t.co/hecnSopFCZ>

　引用されているのは次の記事です。

NHKドキュメンタリー - ブレイブ　勇敢なる者「えん罪弁護士」 <http://www.nhk.or.jp/docudocu/program/92225/2225445/>

　これも先ほど、別のタイムラインで見かけた情報で、番組の放送のことをすっかり忘れていて見逃していたことに気がついたところでした。番組のことは既にご紹介していると思いますが、たぶん録画は成功していると思います。

　これまでに何度かミスをしていることですが、ちょうど月曜日辺りにハードディスクの整理をしていたからです。ディスクが一杯になっていることに気が付かず、録画に失敗していたことは、これまでに何度か経験していて、懲りないくせになっていました。

　ハタハタの干物といえば、羽咋市に住んでいる頃、ちょうど今頃の晩秋から初冬の時期だったと思いますが、宇出津の家に変える途中、志賀町のロッキーというホームセンターで、食品も沢山売っている店でしたが、そこで気まぐれで買って、実家に帰って焼いて食べたことがありました。

　同じ頃だったという記憶ですが、同じように遅い時間、22時ぐらいだったと思いますが、宇出津の実家に戻ったところ、母親がフクラギの刺し身を買い置きしておいてくれて、それを食べた時、とても美味しいと思ったことが印象的な思い出の一つとなっています。

　フクラギというのはブリの幼魚で4,50センチのサイズのものを指しますが、子供の頃は母親に無理強いで食べさせられたという嫌な印象しかないものでした。今でも滅多に食べることはないですが、冬場の一時期だけ美味しいと印象があります。

　それでもフクラギの刺し身を買うことはほとんどなく、どうせならともう少し値段の高い寒ぶりの刺し身を買って食べます。そのほとんどは売れ残りの、スーパーで夕方の半額の刺し身です。

　近年になって11月から寒ぶりと呼ぶと知りましたが、3日ほど前にどんたく宇出津店で税別190円で買ってきたブリのトロの部分の刺し身は、量もけっこうなもので、期待以上に脂も乗っていて美味しいものでした。

　母親がまだ元気な頃の思い出ですが、同じ頃には同じ残業が終わってから22時過ぎぐらいに宇出津の実家に戻った時間帯に、家に届いていた裁判員制度の分厚いパンフレットを袋から開いて読んだことも印象深いことです。まだ、制度成立前の少し前だったように思います。

　時刻は1時05分です。2分ほど前に録画していた、えん罪弁護士とかの録画放送を再生したところです。ディスクへの録画なので、何度でも再生、停止ができるので気も楽です。想像を超えた異常性を感じながら、最新の番組を見ています。

　時刻は1時52分です。一通りの録画再生で番組を見終えたところですが、初めのところは集中してみておらず、序盤と終盤では番組内容の印象もかなり変化したものとなりました。色々と感慨深いですが、月曜日の放送で、弁護士の反応の見ることがなかったことが気になるところです。

　時刻は2時13分となっています。NHKドキュメンタリー - ブレイブ　勇敢なる者「えん罪弁護士」 <http://www.nhk.or.jp/docudocu/program/92225/2225445/> のページのコメントをかなりの数読んでいました。

　ずいぶんと高評価で、感動したという反響ばかりだったので、つい最近の社会の反応として、真摯に向き合い考えさせられるところがありました。本当に純粋で立派な弁護士とも思いましたが、弁護士全体の状況を知るだけに、複雑な気持ちにもなりました。

　たまたま、早めに番組録画の予約を入れておきながらも、番組のことを失念していたということもありますが、普段、注意深く観察している弁護士のTwitterのタイムラインで、関連したツイートを見ることがなかったことに、一抹の救いの光明を見た気持ちにもなりました。

　私は好ましく希望的な物事より、災厄をもたらすと危機感を感じる物事に集中して眼差しを向けるという傾向というか性癖があるかと思います。改めて、深澤諭史弁護士や小倉秀夫弁護士、刑裁サイ太の想像を絶する異常性を重視したいと思いを新たにしました。

ツイート：uwaaaa（サイ太）：2016/11/29 16:06： <https://twitter.com/uwaaaa/status/803495262656208896> ： 引用→　 新件相談がまた来たし，もう１件来そうだったけど回避したよ

　匿名で存在自体が事実上、インターネット上の幽霊、幽霊船の船長のような存在に思える刑裁サイ太ですが、ずいぶんと需要があるような発信もしていて、他に真面目にやっているであろう弁護士との関係性の上でも、真剣に考えこまされるところがあります。

　刑裁サイ太と深澤諭史弁護士に関しては、すでにインターネット上において、狂人性という最たる表現まで使って、大きな問題提起の警鐘をならしたつもりでいます。

　どこから、固定したツイートで「断罪法人日本鬼法曹協会」という表現を用い、仏門の守護神の切手をアイコンに使っているのか不思議でならず、神罰の生贄として差し向けられた業を背負った使者ではないかと思うところもあります。

　刑裁サイ太のタイムラインを開こうとした時に、郷原信郎弁護士のタイムラインで1つの更新を確認したところで、次のツイートになります。ブログの記事の紹介のようです。過去のものかと思っていたのですが、最新の情報かもしれないです。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://bit.ly/2gSrCZ1 控訴審逆転有罪判決の引き金となった”判決書差入れ事件” | 郷原信郎が斬る

投稿日: 2016年11月29日 投稿者: nobuogohara

「これまで警察、検察と戦ってきましたが、裁判所とも戦わなければならなくなるとは思いませんでした」

今も全国最年少、３２歳の若き市長が、控訴審逆転有罪判決の直後に漏らした言葉だった。

控訴棄却で無罪判決が確定することを固く信じ、「美濃加茂市民　完全勝利」という垂れ幕まで用意して判決を待っていた美濃加茂市民は、落胆の淵に叩き落とされた。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　ここまで読んだ時点で、こじつけでに盛り付けすぎの因縁めいた過剰表現で、一般市民を舐めすぎだろうと思いました。

　美濃加茂市のなかで市長を辞職させるべきという、大きな戸惑いや混乱があったことは、ずっと前に情報としてみており、贈賄者が有罪で収賄者が無罪となった事例はないというような客観的なデータの報道に、郷原信郎弁護士が常軌を逸した恫喝的ねじ込みを入れる必要もなかったと考えます。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://bit.ly/2gSrCZ1 控訴審逆転有罪判決の引き金となった”判決書差入れ事件” | 郷原信郎が斬る

袴田事件の再審開始決定では、死刑囚をいきなり執行停止で釈放するというサプライズを演じた村山浩昭裁判長は、「どちらの方向にも、大きくぶれやすい裁判官」という評判だったが、今回は、被告人の藤井市長にとっても、美濃加茂市民にとっても、最悪のサプライズとなった。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　上記の引用部分はまったく意外な情報でしたが、とかく裁判官に心理的圧力を加え、我田引水の導きをためらいもなく図ろうとする、というのもジャーナリストの江川紹子さんに感じてきた手法です。

　またしても読んでいて頭の痛くなる屁理屈が書いてあり、まともに読む気が失せるとともに、時間の無駄という思いが強くなりましたが、いよいよ郷原信郎弁護士は、自己の体面をつくろうために詭弁を弄しているという乾燥が強くなりました。大変な厄介者です。

　検察が証人と打ち合わせもせずにぶっつけ本番で公判に臨むべき、と言っているようにしか思えない主張もそうですが、郷原信郎弁護士の主張通りに裁判をすれば、制度のとんでもない負担となるはずで、佐藤博史弁護士と全く良く似ている独善性の異常性と思いました。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://bit.ly/2gSrCZ1 控訴審逆転有罪判決の引き金となった”判決書差入れ事件” | 郷原信郎が斬る

被告人供述を「信用できない」とする理由として挙げたのは、中林が現金を渡したと証言している会食の際の「記憶が曖昧」だということだった。

しかし、この事件の裁判を傍聴してきたジャーナリストの江川紹子さんも、

《名古屋高裁は、藤井市長の記憶が曖昧だから信用できないとばっさり。でも、事件に関わっていない人に、1年半前の特定の日の出来事をつぶさに覚えていろという方が無理では。布川事件の杉山さんがよく言っていた…犯人にとっては忘れられない特別な日でも、俺にとっては何でもない普通の日だった」》

とツイートしているように、検察官との長時間にわたる「打合せ」で綿密に証言を作り上げてきている中林と、身に覚えのないことで１年半前の出来事を尋ねられている藤井市長とで、法廷で話す記憶の程度に大きな差があるのは当然だ。一審は、そのような被告人供述に何の疑問も指摘していない。それなのに、控訴審判決は、毎回公判に出廷していた藤井市長に全く話を聞くこともなく、「記憶が曖昧だから信用できない」としたのである。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　上記はジャーナリストの江川紹子さんのツイートを援用しているような部分です。この二人が、検察批判を過剰に行ってきた社会的悪影響こそ、検証が必要なものと思われます。時間を掛けてつぶさに見れば、どれも似たような構図、理屈としか見えないからです。懲りない面々です。

　郷原信郎弁護士が意図的に行っているものとは断定できませんが、いたずらに理解しがたく、いさんくさい嫌悪感が強烈に漂い、入り混じり、それが長文の呪文のように響いてくるもので、思考を混乱させる内容のものです。

／ **\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用開始）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 引用URL＞＞＞＞：http://bit.ly/2gSrCZ1 控訴審逆転有罪判決の引き金となった”判決書差入れ事件” | 郷原信郎が斬る

裁判の当事者である被告人の弁護人に対して、「判決要旨」という判決内容を正確に記載した書面を交付せず、なぜかマスコミには判決直後に渡すというやり方は、藤井市長だけでなく、5万5000人の美濃加茂市民に対する「嫌がらせ」としか思えない。

市民に選ばれた美濃加茂市長に対して、一審判決とほぼ同じ証拠に基づいておきながら、「有罪ありき」の方向で証拠を評価し、市長の話を一言も聞かず、いきなり有罪にするという、不当極まりない判決を出した村山裁判長にとって、マスコミに便宜を図ることは大切だが、市民や市議会に対する便宜を図るつもりはないということなのだろう。

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*（引用終了）\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*／

　郷原信郎弁護士の控訴審判決後最初のブログ記事は、上記のように締めくくってありました。内容は、ジャーナリストの江川紹子さんのツイートと同じ、裁判所の対応を批判し、世論に疑問を投げかけているもののようです。

　まったく話しにならない異常な連中だということで、裁判所がそのような異例の対応をとったことは、より合理的な理由として個人的に納得できるものです。検察の対応でしたが、佐藤博史弁護士のPC遠隔操作事件でも似たようなメッセージと感じるところがありました。

　佐藤博史弁護士以上の悪あがきと異常性を感じるのが郷原信郎弁護士の対応であって、もう少し状況を見極めてから慎重な対応をするのかと考えていましたが、想定外の暴走モードとなっている印象です。

　この刑事裁判に関しては、逆転有罪判決の直後においてもコメントなしのニュース報道しかないぐらいですから、最高裁が美濃加茂市長の任期切れまで、決定を引き伸ばすのか見もの、というところです。

　藤井美濃加茂市長は、郷原信郎弁護士を弁護人として信頼を寄せたことで、市長という立場にとどまり、ここまで来れたという見方も出来ますが、実際が無実であれ、有罪であれ、郷原信郎弁護士の過剰な振る舞いで、この後の人生はどうなるのかと、他人事ながら心配したくもなります。

　少なくとも私は刑事裁判という制度に、国民として最低限の常識から真摯に向き合う立場で守るべき最低限のラインがあるものと考え、郷原信郎弁護士の根拠の乏しい理不尽な振る舞いは、全く許しがたいものとして見据えております。

　時刻は3時42分となっております。郷原信郎弁護士のTwitterをみると、フォロワー数が71,129と、いくらかプラスマイナスがあるものと想像もできますが、総数として129のプラスとなっていました。

　いよいよおかしい弁護士だという思いをあらたに、強くしたところですが、相対的な支持者の数は増えたのかも知れません。少なくとも私のように明らかに否定的な反応というのは、これまでのところ見ていません。敗訴も焼け太りになるのかと眠気も吹き飛ぶ、暗澹たる思いです。

　私は、郷原信郎弁護士だけでなく、佐藤博史弁護士がPC遠隔操作事件で検察や裁判所に掛けた負担も、身勝手で負担の大きなものであったと憤っています。刑事裁判の私物化という側面が大きく、他の被疑者はまともな捜査や審理を受ける時間を不当に奪われることになります。

　PC遠隔操作事件では佐藤博史弁護士の側で折れたようでしたが、検察は証拠を不同意とされた場合、80人の証人尋問を請求すると方針を明らかにしていた記憶が鮮明に残っています。

　私の場合は、なにも説明を受けないまま、国選弁護人だった被告訴人岡田進弁護士から説明がないまま、検察から申請のあった全ての証拠に同意したものとされていたことになるようです。

　被疑者の不満にいちいちまともに取り合っていては、国選刑事弁護などやっていられないという、ことに以前は理解をしていたつもりですが、そのような環境を醸し出し維持しているのも、弁護士商売の環境整備のようなものだと考えるようになりました。

　現在もえん罪は普通に起こる生活上の災難、リスクとして認知される環境下にあり、運良く誠実で有能な弁護士に出会えることで、救いの道が開かれるかもしれないという、不確かな期待だけが与えられているように思います。まるでいかさまパチンコ店のサクラ営業のようなものです。

　それは被疑者という立場でのことでありますが、私は被害者やその家族という立場から代弁者となって、弁護士の異常性と危険性を社会に訴えかけることができます。大きな犠牲を受けてのことで、私はそれを奉納というかたちで、社会に循環作用としての還元をしたいと考えています。

　時刻は9時24分になっています。8時半頃に目が覚めました。眠ったのが5時頃だったと思います。時間が限られているので、早めに目がさめてよかったです。

　テレビでは今日もASKA容疑者のことを取り上げていましたが、「弁護士が来るまで応じない」などと言っているらしく、それも気になりました。弁護士をあてに頼った人の不幸率の高さのようなものを感じました。

　私の体験では、弁護士に関わったことの不幸率の高さですが、こちらが不幸になった反面で、相対的に大きな利益をえて、商売繁盛を続け、地域を代表する基盤を確立した会社もあります。本件告訴事件の舞台となった市場急配センター株式会社のことです。

　平成3年の6月頃になって、それまで勤めていた金沢市場輸送から市場急配センターに移ることになった詳細な経緯は、過去の御庁に提出した告発状、告訴状という書面に記載があると思いますので、今回は大幅にご説明を省かせて頂きます。

　殺人未遂事件の幇助犯として7月に告訴状を提出した被告訴人は、岡田進弁護士、木梨松嗣弁護士、長谷川紘之弁護士、若杉幸平弁護士、小島裕史裁判長、古川龍一裁判官の6名です。彼らの関与、犯罪の成立に与えた影響を明らかにするには、無視された事実が重要です。

　私は、もうずいぶんと長い間、過去の裁判に関する資料を読み込んだりしていませんが、この告訴状においても資料は一切用いず、現在の自分の頭の中の記憶だけで、事実の経過と犯罪性のご説明をすることになります。

　7月の告訴状では、安藤文さんとの関係の事実で中途半端に終わった部分があったように憶えています。平成3年11月25日の電話のことも、その一つですが、どこまで書いたのか思い出すことが出来ません。

　その平成3年11月25日の電話で、安藤文さんは、私の質問に対して、好きな人とはだめになった、私が悪いげん、冷たかったかもしれん、冷たい感じするってよくいわれるぞいね、これからはやさしくしようと思っておるげん、などと話していました。

　その夜に彼女の自宅に電話を掛けることになった経緯も7月の告訴状で書いたように思いますが、私は自信をもって電話を掛け、期待以上に彼女もそれに応えるような対応をしてくれました。

　電話に出た彼女は、私から電話が掛かって来ることを待っていたような態度で、落ち着いて穏やかな対応をしれくれました。会社では、誰かに話しかけられないと、受け答えとして声を出さないような存在でした。

　いつみても、机に目を落として仕事をし、ときどきすごいスピードで電卓をたたいているのが印象的でした。独自の存在感をもつ女性であって、それでいてジーパン姿が多いなど、ラフにみえる一面もありました。

　なにかと自由なところの大きな会社で、牧歌的な時代だったとも思いますが、その雰囲気が彼女の性分にもあっていたようです。

　金沢中央卸売市場の大きな敷地に隣接した会社で、その市場の仕事を中心にする運送会社だったので、なにか安心感のようなものも大きかったのだと思います。

　もともとは相当警戒心の強い女性に見えました。彼女は平成2年の春頃に入社したはずです。その根拠も他の社員の入退社の時期にあわせ具体的なことを過去に提出した書面に書いたはずです。繰り返し。

　金沢市場輸送の事務所で、ほとんどが午前中だったと思いますが、一定の時間だけパソコンのデータ入力に来ていました。当時はパソコンという言葉はなく、コンピュータと呼んでいたように思いますが、まったく理解の出来ないような機械でした。

　金沢市場輸送の運転手は、浮ついたところのない同じ能登の輪島の者が多かったこともありますが、運転手仲間の間で彼女のことが話題になることも一度もありませんでした。

　ですので、私は長い間、彼女は中央市場か、その中の青果の仲買の会社の社員で、手伝いに来ているのではないかと考えていました。当時は知らない言葉でしたが、出向という勤務形態がしっくりくるイメージでした。

　平成2年の6月頃だと思いますが、片山津温泉の「ホテル長山」で一泊の慰安会があり、彼女は参加をしていませんでした。参加するのかと考えていたので、その時点で私は彼女が市場急配センターの事務員だと知っていたようにも思うのですが、思い出せるのはその程度です。

　7月の告訴状に詳細を書いたように思いますが、この慰安会では、私の出身の旧能都町関係の運転手と、金沢市場輸送の輪島の運転手の間で、トラブルがありました。

　その時に、被告訴人浜口卓也の姿がなく、そのすぐ後に市場急配センターで持ち込み運転手の仕事をするようになったと記憶にありますが、彼がいればもっともめていたとも想像しました。

　一方で、トラブルになることもなく打ち解けて仲良くなっていたという想像も働きました。輪島の運転手は輪島崎の一人を除き、海士町の出身者でその全員が、小木港の遠洋漁船に乗り組んでいたという話をよく聞いていたからです。

　被告訴人浜口卓也も小木港や姫の遠洋漁船の仕事を数年間やっていて、市場急配センターの年配運転手には、彼のことを「イカ」と呼ぶような人もいました。津幡の「まさやん」や大倉さんなどがそうであったように思いますし、被告訴人梅野博之もそうだったと思います。

　市場急配センターの事務所が出来たのも、平成2年の4月か5月ぐらいではと思います。平ボディ車でのイワシの運搬の仕事がほとんどなくなった頃は、まったくの更地で金沢市場輸送で余り使うことのないトラックの駐車場になっていました。

　鉄骨の建物で工事の完成も早かったのだと思いますが、いつの間にか事務所の建物が出来ていて驚きました。配車係だった藤田さんと吉村には、中継場にするという話を聞いていました。

　市場急配センターの事務所に初めて入ったのは、翌年、平成3年の4月頃のことで、輪島の運転手YAが、新潟県の能町の辺りで起こした接触事故の保険処理で、被告訴人松平日出男社長に用があると言って、それに同行したのが最初のことでした。

　その時に2階の事務所で、安藤文さんの姿を見た記憶があり、やはりここで仕事をしているのかと、納得したことを憶えています。それまではとかく謎の多い気になる存在でした。

　私はずっと長い間、安藤文さんを被告訴人竹沢俊寿会長の夫人の親戚ではないかと思っていました。そういう話を聞くことはなかったですが、親戚という税理士の姿が会社にあって、影の薄い存在でしたが、会社を身内で固めるというのもよく聞く話でした。

　時刻は11時51分です。昼食を作っています。焼き飯は作りました。モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のタイムラインで次のツイートを目にしました。

ツイート：motokentw（モトケン）：2016/11/30 08:51： <https://twitter.com/motoken_tw/status/803748367561998337> ： 引用→　 まあ、釣り垢なんだろうけど、病んでる人が可視化されるツイッターということなんだろうな。 <https://t.co/sr1I4ieeY0>

　昨夜、食べる予定で保温していたご飯を食べなかったので、それを焼き飯にしたのですが、いい感じの仕上がりです。先日テレビで、すし酢を入れることでご飯がコーティングされ、ぱらぱらになるとやっていたので、それをやりました。前回はお酢の入れすぎでした。

　京都新福菜館というラーメンを作って食べていました。先日の2食分の残りです。焼き飯は半分ほど残しました。冷蔵庫に入れて夕食に食べます。洗い物はまだです。

　謎の多い人物といえば、被告訴人竹沢俊寿こそその人でした。過去の書面に知る限りの情報を記載してきましたが、暴力団の組長をやっていたとか、土建屋の社長だったとか、福井刑務所では朝鮮人で20代ぐらいの時に日本に来たという話も聞きました。

　被告訴人竹沢俊寿本人が、よく口にしていたのは東京の中央大学に在学していたことで、空手部だったとも得意げに話していました。平成3年の終わり頃だったように思いますが、東京では大日本青思会という右翼団体に所属していたとも。正式名は大日本青年思想研究会とのことです。

　他との区別もあり被告訴人としておりますが、10年以上前に死亡している可能性の高い人物です。被告訴人安田敏は、死んだと言い、いつの話や、と吐き捨てるように私に言っていました。彼と最後に会った頃のことです。

　私が初めに金沢市場輸送に入社した昭和59年の時点で、重度の糖尿病と聞いていましたが、平成3年から4年の頃になると、姿を見せることもまれとなって、杖を使いなんとかやっと歩いている、という感じでした。夫人が横で支えるように寄り添っていた、という印象も焼き付いています。

　記憶にあるのは、平成3年12月10日頃のこと、午後の3時から4時という時間帯だったように思います。夫人と二人で市場急配センターの2階の事務所にいて、椅子に座っていました。

　その時に、たしか当時は森本の町外れにあった日野自動車の工場から私宛に電話があり、あるいは伝言を伝えるものであったようにも思いますが、電話をとった安藤文さんが、涙を流し訴えかけるような声で、私に何かを伝えたのです。

　会話の内容やもっと詳しい状況も過去の書面には記述があると思います。その数日後の12月13日の金曜日の夕方のことは7月の告訴状で記載をしたように思います。初めて裏駐車場で彼女が来るのを待ち、被告訴人梅野博之が通りかかったことなどです。

　7月の告訴状も提出してからまったく見直してはいないので、記憶に確証は持てないのですが、安藤文さんの裏駐車場での行動が始まったのが、11月30日の土曜日で、その初めの時は一番奥の場所に、被告訴人池田宏美の車と並んで駐車されていたことは、書いたように思います。

　次に竹沢夫妻の姿を見たと、はっきり記憶にあるのは平成4年1月中のことだったと思います。夕方の17時半か18時頃だったように思いますが、たまたま1階の運転手の休憩室に一人でいるとき、夫妻が入ってきて、食事に誘われたのです。

　私はすぐに適当な理由をつけて誘いを断ったのですが、その数日前に、輪島の浜上さんや被告訴人東渡好信が、竹沢夫妻は私を養子にして会社を継がせるつもりだ、などと言い出したのです。その場に被告訴人浜口卓也もいたようにも思いますが、現在の記憶は自信の持てないものとなっています。

　とにかく私は、平成4年に拘置所にいた頃から、ひたすら忠実に事実をありのまま記録することを心がけてきました。罠を仕掛けられた受けてという立場でしたが、事実を忠実に再現し組み立てて行くことが、真相の発見につながると信じて疑わなかったからです。遺跡の発掘作業にも似ていそうです。

　平成4年1月中の記憶は、記憶の新しい時期においても混沌とした部分があったと印象に残っています。憶えていることが多すぎて収拾がつけがたくなったとも言えます。パズルのピースの当て嵌めで、行き詰る断片がいくつかありました。

　平成4年1月中でも、1月19日以降の事実は整理がついていました。18日の土曜日の夕方は、遅い時間に被告訴人多田敏明を誘い二人で、金沢電装の向かいに最近出来ていた焼肉店で食事をしました。

　19日の日曜日は午後に、市場急配センターの会社で被告訴人多田敏明と落ち合って、一緒に名古屋方面に向けて出発することになっていました。

　約束した時間は憶えていないですが、少し過ぎた頃に被告訴人多田敏明が、初めて見る一人の友達を伴って、体を引きずるようにやってきました。

　ケガをしたので、運行の出発はできないと言い出し、昨日の夜遅く、男女2組で福井方面にドライブし、他の車の運転手と喧嘩になって、鉄パイプで反撃を受けたような話を始めました。顔を見たところ、殴られたような傷はなかったです。

　遊び優先で仕事をしたくないのか、とも考えましたが、被告訴人多田敏明は当時19歳だったので、それも仕方ないかと思いました。代役の運転手のことで休憩室から電話をしたようなことを、少し記憶に留めていますが、その先のことは今思い出せません。

　私は18日の土曜日にミールを積み置きしていたのだと思います。ミールの行き先は愛知県の名古屋港周辺から知多半島の倉庫がほとんどでした。ラーメンスープの出汁になるという話も耳にしたことはありますが、真相は不明です。

　ミールはイワシを主原料とした魚粉で、養鶏場の飼料として新潟県内の養鶏場に運ぶこともありました。金沢市場輸送の頃からやっていた仕事で、12月から3月ぐらいまでが忙しい仕事でした。ミールの倉庫移動という長距離ではない地場の仕事もありました。

　私の昭和59年の入社時にはなかった仕事で、その年の暮れか、翌年の暮れから始まった仕事だと思います。珠洲市の蛸島に本社をおく、浜田漁業金沢工場の仕事でした。ミールを製造する機械の処理能力は、一日600トンと聞いていたように思います。

　平成1年の12月頃からは北陸ハイミールの工場も稼働するようになり、北海道の釧路に本社がある会社と聞いていましたが、処理能力は一日1600トンで、日本海側で最大のミール工場だと聞いていました。釧路市の周辺から愛国運輸も出稼ぎでイワシ運搬の仕事に来ていました。

　愛国が地名であることは、根室市の花咲港に行った時の経験で知っていました。国道沿いにその地名の町を通過したからです。そういう体験がなければ、地名だと考える人は少なそうに思いました。金沢市場輸送よりはかなり小型のダンプで、10台弱ぐらいだったように思います。

　ミールの仕事は、その数年後になくなり工場も閉鎖になりました。日本海でのイワシの漁獲量が激減したためです。そう言えば、今年は宇出津のスーパーでもイワシというのは、余り見かけていないように思いました。

　12月から3月頃という冬場の時期が、日本海でのイワシ漁の時期でしたが、東北から北海道の太平洋側では、真逆の時期が漁期になると聞いていました。それもあって、釧路から北陸ハイミールが進出してきたと聞いていました。

　1月20日の朝、愛知県のどこでミールを降ろしたか記憶にはないですが、帰り荷を積むために、小牧市から岐阜県の可児市に向かっていたことは記憶にあります。可児市では木製のパレットを積み込みました。

　日が暮れるのが早い季節ですっかり暗くなっていましたが、夕方に北陸自動車道の金沢東インターを降り、浜田漁業金沢工場で積んできたパレットを降ろしました。金沢市場輸送で4トン車の長距離に乗務していた小柄で年配の小野さんの姿を見たことも記憶に残っています。

　会社に戻り、しばらく1階の休憩室に一人でいた場面も記憶にあります。それから自分の軽四で、東力のアパートに帰りました。以前はトラックのまま帰ったり、立ち寄ることが多かったのですが、平成3年の11月ぐらいに、入江の派出所で駐車違反の切符を切られそうになり、停めなくなりました。

　本当は、派出所の前で、トラックに取り付けられていた器具のようなものを警察官に取り外してもらった瞬間に、運転席に飛び乗り、「もうせんし」と一言残して、走り去ったのです。

　平成4年1月の初め頃だったと思いますが、夜に金沢市内花里の被告訴人安田敏のアパートから戻ってきた時に、東力ストアーの前で、追突事故をうけ、パトカーで来た2人の警察官の一人が、器具を外した警察官で、その時のことで派出所に来るように粘り強く説得を受けました。

　家に戻ってしばらくすると、前妻から電話がありました。11月の中頃以来の電話でした。あとで、タクシーでアパートにも来ましたが、タクシーのなかで待っている子どもには会いませんでした。

　すでに翌日の1月21日の夕方、仕事が終わってから安藤文さんと会って話をする約束ができていたと思います。

　この時も、4月1日の事件当日と似ていましたが、土壇場になって安藤文さんの様子がおかしくなり、約束などしていないなどと居直って怒り出すようなこともあったのです。

　前の夜に電話連絡も会って、直接会っていた前妻が、会社に電話を入れて、応対に出た安藤文さんの態度がおかしくなったようにも思え、私は誤解があれば、早く解消しておきたいと、あせりもおぼえました。

　1月に入ってから、夕方、退社するときの安藤文さんに声を掛け、担当していた大型トラック3068号の助手席に乗ってもらい、少し話をしました。いずれも彼女が、今日は用があると言って、会話の時間を短くし、次に会うことを先送りするものでした。

　2回目の時だったと思うのですが、安藤文さんは具体的に「美容院いかんなん（行かなくてはいけない）」と言い、こんな時間から本当に美容院なのかと不思議に思ったのですが、翌日会社で会った時は、見たことのないショートカットにしていました。

　それまでの彼女はいつもロングヘアーで、ポニーテールのように髪を後ろにしばる姿も、彼女らしい見慣れた姿となっていました。彼女はスタイルも良い女性で、裁判の資料には身長165センチ、体重50キロとなっていました。ヤセ型で小顔でした。きつい印象も与えますが笑顔を見せることもあります。

　身だしなみもきっちりしていて、会社でも私服がほとんどで、スカートよりジーパン姿を見ることが多かったという印象ですが、作業服のジャンパーや、事務服のようなものを着ていることもありました。社員の運転手も、支給の制服がありましたが、私服が多かったです。

　彼女の退社時間は17時になっていたと思います。ほとんどは17時半より前に帰っていたと思います。18時以降も会社にいたのは珍しく、10月12日の新車納入の日、11月26日、12月13日が記憶にあります。12月13日のことは先ほど書きましたが、18時を過ぎて私が諦めて帰ったのです。

　モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のタイムラインの更新で、目についたものです、何を指しているのか、脈絡がわかりづらくなっていますが、一つ前にご紹介したものは、それらしい情報もついてはいたように思います。

ツイート：motokentw（モトケン）：2016/11/30 13:18： <https://twitter.com/motoken_tw/status/803815437184090112> ： 引用→　 釣り垢のご本人は、社会的不適応状態にあるか、その一歩手前の可能性が高い、のではなかろうか？

　元検事でロースクールの教官であったことも大きな看板に掲げておきながら、私の社会的不適応状態を悪化させておきながら、私の3つのアカウントをブロックし、被害妄想だのストーカーなどとツイートをしておきながら放置しておいて、気ままなものです。

　次のツイートは、今みたところの刑裁サイ太のリツイートのものです。警察を批判し、警察に対する不信や不安を煽っているような内容です。

ツイート：lawkus（ystk）：2016/11/30 13:34： <https://twitter.com/lawkus/status/803819500315418628> ： 引用→　 なぜ事件報道で、次々に被疑者の供述内容などが見てきたような克明さで報道されるのかって、警察がリークしてるからですよね。ここまでは誰でもわかってるでしょ。なのにどうして皆、被疑者が乗ったタクシーのドラレコ映像が報道されたらタクシー会社が流したと思うの？普通に考えたら警察でしょうよ。

　ついでになりますが、ローカスこと実質実名弁護士には、次の２つのツイートが特に印象的で、警察官の職業的社会性や人間性の根源から深く考えさせられるものです。

ツイート：lawkus（ystk）：2016/10/19 22:07： <https://twitter.com/lawkus/status/788728342941868034> ： 引用→　 「多少略奪強姦などしたとしても兵隊さんは頑張った」みたいな話ですねわかります <https://t.co/KYkQvH3btK>

ツイート：lawkus（ystk）：2016/10/20 00:46： <https://twitter.com/lawkus/status/788768363719696384> ： 引用→　 土人発言は徹底的に批判するとしても、若い末端の職員が頭に血が上ってやったことだろうし再起不能まで追い詰める必要もないよね、というバランス感覚は持っていてほしいと思う。しかしどうも社会的に殺す勢いで叩いている人が多く、それはそれで違和感。

　一つ目のツイートにURLが引用されているのは次のツイートで、どちらも沖縄県における大坂府警機動隊員による土人発言問題に向けたものです。

ツイート：gogoichiro（松井一郎）：2016/10/19 21:12： <https://twitter.com/gogoichiro/status/788714332670402560> ： 引用→　 ネットでの映像を見ましたが、表現が不適切だとしても、大阪府警の警官が一生懸命命令に従い職務を遂行していたのがわかりました。出張ご苦労様。 <https://t.co/W1oS7Gko1e>

　リンクを開いて確認し、思い出したものですが、テレビでも繰り返し紹介されていたツイートでした。大阪知事だと思います。

　今も、テレビでミヤネ屋をつけながら作業をしていますが、テレビの方は集中しないで見ています。藤井美濃加茂市長事件の続報でもあればと期待はしていますが、まずなさそうな感じです。

　昨日もそうでしたが、ASKA氏が再び覚醒剤の使用で逮捕され、それが異様な展開であったことから、覚醒剤使用における妄想や幻聴の深刻性が、今までになく強調されて報道されています。

　さきほども、妄想は人生そのものとなる、というようなコメンテータの解説がテレビから聴こえてきました。

　覚醒剤や薬物問題は、昭和の時代から大きく取り上げられ報道されることがありました。芸能人の逮捕というのもいくつかありました。それでも情報化社会や科学、医学の発達が進んだためか、最近の報道はずいぶんと質が変わったとも感じています。

　説得力はあるのですが、過剰な不安や誤解を招く危険性が高まっているようにも感じます。私自身、刑務所では薬物事件の受刑者も多く接してきましたが、個人差があるものの、そこまで深刻な問題として考えることはありませんでした。

　それでも、犯罪者や前科者に対する偏見のようなものは、ずいぶんと薄れてきていると感じることがあります。昔は、テレビも限られた数のチャンネルで、それは今も大差はないですが、インターネットもなかったので、総体的な情報源というものは遥かに乏しく、限られていました。

　私は刑務所という制約の大きな環境で法律の勉強をしたこともあり、ずいぶんと不便な思いをしました。紙とペンと本だけの生活は、明治時代と変わらないように思うこともありました。そういう時代が、専門家が珍重され、頼りにされる時代であったように思います。

　専門家として情報を独占し、支配し得た時代であったとも考えます。小倉秀夫弁護士は最近も、記録力には自信があるのでメモの必要性など考えてたこともない、というようなツイートをやっていました。確かにそのような能力はずば抜けて高いのだろうと考えることもあります。

　当時、それほど深刻に考えることはなかったのですが、被告訴人梅野博之が、安藤文さんに「そんな顔しとったんか。シャブ中みたいやな」などと声を掛けたことがありました。私がいる場の2階事務所でのことで、1月の初め頃だったと思います。

　私と安藤文さんの個人的な関係で1月から4月と出てくるのは平成4年しかなく、6月から12月というのは平成3年しかありません。

　1月は4日だったように思いますが、午後に会社で新年の顔合わせがありました。被告訴人松平日出男が換気扇の方向を指さし、安藤文さんが私の方に顔を向けたことなども、過去の書面には書いてきたはずです。彼女は不安そう見える状態で、被告訴人松平日出男は配慮のような行動を見せました。

　本当はもっとうまく状況の描写もしたいのですが、前後の記憶も薄れてぼやけたものになっています。私が2階の事務所に入った時、ほとんどの社員、運転手がすでに集まっていました。一番遅れて入ったように思います。

　新年の顔合わせは短い時間でお開きになりました。お菓子やおつまみのようなものが、たくさん置いてありました。私はその場で、被告訴人浜口卓也に誘われ、一緒に諸江町の河野秀美さんの家に行きました。

　河野さんの家の前で、被告訴人浜口卓也が小浦の港で買ってきたというブリをさばき、あとで被告訴人松平日出男とカベヤという人物が二人で来たことも、過去の書面には書いてきたと思います。

　その夜、私はいち早い新年の初仕事として、岐阜市内の市場に荷物を運びました。岐阜の市場は滅多に行くことのない市場で、ほんの数回しか行ったことがありません。地理的には名古屋より近いですが、岐阜県内というのは、魚も運んだ記憶がありません。青果物がまれにあるだけです。

　10月の初め頃にも一度、岐阜の市場に行った覚えがあり、帰りに岐阜羽島のインターの近くの公衆電話から、被告訴人安田敏のアパートに電話を掛け、安藤文さんに告白する決意を相談した記憶があります。おみくじソーダを手にしていたような記憶もあります。

　1月の上旬で10日より前の頃の記憶としては、特に印象的なものとして、コーヒーメーカーのことがありました。ずっと長い間、事務所の台所で姿を見なくなっていたコーヒーメーカーにコーヒーがいれてあったのです。

　「これ飲んでいいけぇ？」と、申し訳のような声をかけると、安藤文さんが大きな声で「うん」と返事をし、椅子から立ち上がって、私のいる台所の方に歩いて来たのです。ずいぶんと思い切った表情に見えましたが、とっさのことに戸惑った私は、すれ違い逆の方向に進みました。

　そのとき、被告訴人浜口卓也が私の方に歩いてきて、意味ありげに笑いながら私を彼女のいる台所の方に押し戻すような動きをしたのです。それは4席の応接セットでの話し合いが終わったタイミングでした。

　話し合いをしていたのは日産ディーゼルの人で、たぶん2人で来ていたのだと思いますが、新車で導入する大型トラックの話をしていたのです。金沢市場輸送でも日産ディーゼルのトラックの導入というのは例がなく、市場急配センターでも初めての取引だったはずです。

　中西運輸商は日産ディーゼルのトラックが多く、日野自動車のトラックはなかったように思いますが、手形の審査などがゆるく一番、買い求めやすいのが日産ディーゼルで、一番審査が厳しくなって導入しづらいのが、日野のトラックをいう人もいました。

　金沢市場輸送では日野、いすゞ、三菱ふそう、と日産ディーゼル以外のトラックが導入されていました。国産の大型トラックはこの4社だけでした。

　新車で導入されることになった日産ディーゼルの大型車は、被告訴人浜口卓也ともう一人の乗務が決まっていました。河野秀美さんだったようにも思いますが、記憶がはっきりせず、4月1日までにトラックを見たという記憶も現在はなくなっています。

　断片的に記憶にあるのは、3月の中頃に納車された新車の大型車で、浜上さんが乗務したように思います。それまでになかった保冷のウィング車で、定温でバナナを運ぶために装備したような話も聞いたように思います。

　それも日産ディーゼルのトラックだったような気がします。新潟方面に向かって一緒に走ったような記憶もおぼろげなものとなっていて、富山県内の有磯海のサービスエリアで、一緒にいたような記憶も同じ程度の輪郭で残っています。

　よりはっきりと記憶にあるのは、久しぶりに金沢市場輸送の輪島の運転手と一緒になったことで、同じく有磯海のサービスエリアのレストランで一緒に食事をしました。夕方に近い時間でしたが、明るい時間帯でした。

　金沢市場輸送の輪島の運転手とは、茨城県内の国道50号線で水戸市方面に向かって、一緒に走行していた記憶も残っています。どこで荷物を降ろしたのか思い出せないですが、その後、栃木県の今市市の方から葛生町に行き、石灰を積んだ記憶もあります。

　その帰り荷の石灰も、被告訴人東渡好信が紹介した七尾市の丸一運送の仕事で、栃木県の葛生町には3,4回、岐阜県の大垣市には2回、石灰を積みに行った記憶があります。どちらも町外れの採石場のような場所で、江戸時代の苦役場として時代劇に出てくるような雰囲気がありました。

　いずれも2月の下旬から3月の中旬までの運行だったと思いますが、大垣市に2回目に行った時は、被告訴人多田敏明を同乗させていました。同じ時の運行だったと思いますが、名古屋北部市場で夜中に荷物を降ろしたことも憶えています。

　私の考えで被告訴人多田敏明を同乗させて運行に出ることはなく、指示を受けて同乗させていたのだと思いますが、なぜ同乗させていたのか、いよいよ不思議に思える運行でした。

　石灰は、七尾市の田鶴浜町の倉庫で降ろすことと、松任市（現在は白山市）の駅の近くの線路沿いで降ろすことがありましたが、どちらも橋本商事という社名でした。

　他に一度だけ、七尾市内の恵寿病院の近くの川沿いで、橋の上にトラックをとめて石灰を降ろした記憶があります。この時は粉塵がひどくて気分が悪くなりました。昼前に市場急配センターの会社に戻ってきましたが、これが3月5日という記憶です。

　石灰の粉塵で体調が悪くなり、集中力も思考力もかなり低下していた状態でしたが、会社に戻ったところで、被告訴人梅野博之が安藤文さんに、彼氏に振り込みをしたのかなどと、私の前で彼女に注意を向けさせるような、話しかけを始めたのです。

　このときの具体的な被告訴人梅野博之の発言は、記憶がぼやけています。安藤文さんの受け答えも思い出せませんが、はにかんだような対応で、指に細めの指輪が見えました。その時は中指だったように思うのですが、どちらの意味かわからず、あとで被告訴人安田敏に質問をしました。

　中指と薬指のどちらかが恋人募集中であることは、なんとなく知識があったのです。その3月5日の夜、安藤文さんに私の自宅に電話を掛けてもらいました。3月5日の夜のことは、長い間、思い出す努力もしたことがなかったので、思いの外記憶が劣化しています。

　3月23日の電話ほどではなかったですが、3月5日の電話も安藤文さんとの関係で意味の大きなものでした。私が彼女との関係に慎重になったのは、1月25日の夜の電話で、彼女の母親が初めて警戒心を見せるような態度を示したことがあったからです。

　その日、彼女は17時の退社時間の5分ぐらい前だったように思いますが、泣いたようにうつむきながら足早に帰って行きました。私は1階の休憩室から、たまたま外を見ていて、その姿を目にしたのです。

　その日、彼女はめずらしく黒のセーター服だったと思いますが、あるいは水色で、やはり黒だったと思いますが、その首元に金色のネックレスをつけていました。

　11月25日の夜に話を戻しますが、電話で会話が始まってすぐ彼女は、「広野さん、いくつのとき結婚したん？」、「私、早く結婚したいぞいね。いままだいいけど、あと2,3年したらあせるぞいね。」と話しかけてきました。

　そして電話の終わりには、「本当はアヤちゃんのことすごく思っとるげんけど、俺に思われて気が重くなるようなことないけ？」という問い掛けに、「全然だいじょうぶや。」と答え、さらにまた電話をしてもよいのか確認すると、いいよ、と答えてくれました。

　それまでは、会社での彼女の態度や行動に触発され、長い時間考えぬいて行動に移し、いきなり電話を掛けていました。会社に掛けた電話で私の方の自宅に電話を掛けてもらったのは、10月5日のことです。

　初めて彼女の自宅に電話を掛けたのは10月12日のことでした。これは7月の告訴状に書いたようにも思います。

　こうやって過去を振り返りながら安藤文さんとの関係を書いているうちにも、深澤諭史弁護士のストーカーに対する考え、ツイートのことが頭に浮かんできて、実に不快な思いになります。

　どんなに仲好く、相思相愛であった男女でも、関係が崩れ、ストーカー事件に発展することは、ありがちなことになっています。

　初めに安藤文さんからの好意を、意識するようになったのは8月のことで、不在の郵便物を、私の家の近く行ってきてあげる、と言われたことが大きいと思いますが、当時はもっと他に、意識することがあり、まさかの思いがありました。

　実際のところ、彼女が私に意識を向けるようになったのは、被告訴人池田宏美、被告訴人松平日出男、被告訴人梅野博之らの後押しが大きなもので、竹沢夫妻の態度がより強い影響を与えたとも考えられます。

　竹沢夫妻は私の仕事ぶりを高く評価し、気難しく見られがちな夫人は、特に感謝の気持ちを私にあらわしてくれていました。

　それは初めの昭和59年に入社した時の素行が悪すぎて、2度目に入社した昭和61年8月以降の仕事ぶりが、とても真面目なものに映ったのだと思います。中西運輸商で殺人的な激務を経験していたので、普通の仕事が本当に楽に感じていました。

　中西運輸商では運行自体もきついものでしたが、全長が大型車と20センチしか変わらない箱の長さが9メートル20センチ、高さが大型車と同じ3メートル80センチの規制ぎりぎりで、床が大型車より底床だったので、大型の保冷車とは比較にならないほど沢山の荷物がつめました。

　佐川急便の仕事で、北陸からの荷物は富山のアルミサッシや、金沢、加賀市の漆器、福井のアシックスなどのスポーツウェアなど、かさばって軽いものが多かったのですが、拳が入らない隙間で荷物を満載にするというのが、当時の決まりで、1個でも満載でも1車の運賃は同じとされていました。

　荷物の量が満載の3分の1ぐらいかと思う時でも、台貫に乗せられ重量オーバーで反則切符を切られた時は、荷物の分だけで5,6トンという重量のときもありました。

　トラックの後輪は2つのタイヤが並べて装着されていますが、荷物を積むと停車している状態でも、2つのタイヤの間に指が入らないほど、タイヤが重みで変形していました。

　何度もタイヤが爆発したので、平地でも90キロ以上のスピードは出せませんでした。中国自動車道は上り下りの坂が多く、きつい坂だと30キロ以下にスピードが落ちましたが、本当に恐ろしいのは長い下り坂でした。

　当時の佐川急便は時間制限も厳しいもので、軍隊的な社風もイメージが世間に定着していた時代でした。当時、佐川急便の自社便は長距離運行をしないとも聞いていました。本来の佐川の仕事は市内の集荷と配達だけでしたが、何かと厳しいことがありました。

　中西運輸商の佐川急便での仕事は北陸からの広島・九州便でした。私はまだ大型免許を取得できない状態で、4t車に乗務していましたが、安定感のある大型車に乗務した時は、本当に仕事が楽だと感じました。タイヤが爆発したり、ブレーキから煙が上がる心配もほとんどありません。

　中西運輸商では、七尾市石崎町出身という社長のこだわりで、タイヤを爆発させたらどのような状況でも自分で直せと決められていました。交通量の多い名神高速で爆発することが多かったのですが、自分でジャッキを掛けて、本線通行のトラックの風圧で、車体が揺れる中、タイヤ交換をしていました。

　ジャッキが外れれば、車体の下敷きになってお陀仏になっていた可能性も高かったと思いますが、運もよかったのかジャッキが外れるようなことはありませんでした。居眠り運転なども日常茶飯のことで、命知らずの馬鹿だったのだとも思います。

　金沢市場輸送で大型保冷車に乗務するようになったのは昭和62年4月のことです。佐川急便は規則の厳しい仕事でしたが、市場の仕事、特に鮮魚は別の種類の厳しさがいろいろとありました。荷降ろしも、卸先や卸場所の違いが多いので、何かと大変なことがありました。

　中西運輸商は当時金沢で、仕事がきついとか今でいうとてもブラックな評判の会社でしたが、当時はそんなところで修行をしたいという思いが強く、確かに他にない経験をして、財産のように身についたものも、とても大きかったと思います。

　仕事は真面目にやるかどうかより、工夫をして真面目にやらないと、つけが回ってきていっそう厳しいものになる、というのが嫌というほど経験してきた持論でした。頑張って慣れれば慣れるほど、合理化や時短につながり、余裕も出来てきました。経験値を高めることです。

　当時は思い上がったようなところもあったように思いますが、とにかく竹沢夫妻には評価されました。それは他の扱いにくい運転手をうまく使うための知恵とも思えましたが、時代がちょうどバブルの絶頂期に突入していき、仕事はいくらでもあるという時代になっていきました。

　始めたばかりで慣れないこともあったと思いますが、昭和59年に金沢市場輸送で4t車の長距離の仕事をしていた時も、なにかと厳しい仕事をしていました。小口で積み込み先や卸先が多い仕事もほとんどでした。経費節減で、下道もほとんどでした。

　市場急配センターの大型車での長距離業務は、1箇所積みが多く、卸先も多くて2箇所だったので、本当に楽だと思うことがありました。高速道路の使用も昔の金沢市場輸送とは比較にならないぐらい認められていました。ちなみに支払いはカードです。

　各地で高速道路も伸長され、運行が本当に楽になりました。山形自動車道が出来てからは、笹谷トンネルの急坂の急カーブを下ることもなくなりました。特に路面が凍結するような冬の時季は、下るのが恐ろしい坂だったと今でも思い出します。

　冬場では笹谷トンネルのあたりが渋滞して、トンネルを抜けて宮城県から山形県に入るのが、午後5時頃になることもありましたが、山形自動車道が出来てからは、急ぐこともなく、その時間に新潟市内のバイパスを走行することもありました。

　市場急配センターでの長距離の仕事は、歩合制ではなく基本給として50万円ということになっていましたが、運行費という食事代も月に8万円ぐらいは出ていたと思います。

　市場急配センターでは、直に金沢中央卸売市場の石川丸果の仕事をすることもあり、山形から金沢まで運んだリンゴは運賃が20万円を超えていたと聞いたこともあり、将来性も見込めました。

　金沢市場輸送では孫請けやその下の仕事も多く、一度、会社の配車の指示のまま青森県の弘前市からリンゴを積んで北九州市の市場まで運んだことがあったのですが、運賃が5万円だったとかで、なぜそんなものを積んだと言われたこともありました。

　東京の築地市場まで荷物を運んでも帰り荷が見つからないことが多く、現地で長い時間待機させられたあげく、空荷で帰れといわれ、全部下道で帰らさせられることもありました。

　それでも他の一般の荷物の運送会社ではもっと厳しい話をきくことも多く、金沢市場輸送では山口インターか小郡インターから先の九州方面の高速道路の利用が認められていました。長門や萩市から国道を走ると倍ぐらいの時間が掛かりました。

　当時は、大型車で高速道路を140キロのメーターを振りきったまま走るのは、事実上普通のことになっていましたし、そうでもして時間稼ぎをしないと、あとで余計に無理をしなければならないこともありました。雪道の走行などです。

　雪道ではできるだけ先を急がないと、通行止めでとんでもないことになる可能性も常にありました。路面の凍結にも神経を使います。10月に山形の橋の上で横滑りをしたこともありましたし、鹿児島の高速道路では長い橋の上で、滑りだしたこともあります。

　北陸から関東地方に行くのも標高の高い山間部を通行するのが当たり前です。東北地方などは、北陸より湿度が低いので、割合寒くないと感じていても、路面ががちがちに凍結していることがありました。

　自分の経験から凍結の心配がなくなるのは4月に入ってからでした。4月に入ってからも雪が降ることはありましたが、路面の凍結を経験するようなことはありませんでした。

　安藤文さんのことで気を煩わせることは、仕事にも悪影響がありました。夕方から仕事を始め翌朝までぶっ通しで仕事をすることが普通にあったので、ただでさせ眠りにくい、昼間の決まった時間に睡眠をとっておく必要にも迫られます。

　私は金沢市場輸送で保冷車の大型車に乗務してから、どんなに仕事がきつく体調が悪い時でも居眠り運転をしたことがありませんでした。居眠り運転をしたのは、新車で7599号に乗務した初めての運行で、妻と長男を同乗させていました。

　金沢から筍を積んで、愛媛県の松山市内に向かっていました。早朝明るくなってから松山市に近い国道を走行していた時に、居眠り運転をし、道を外れたところで気が付き、ひやりという思いをしたのです。それで懲りたのも大きかったと思います。

　完全な居眠り運転ではなかったですが、睡魔で限界を感じたのは4月1日の事件を起こす数日前、茨城県の古河市の青果市場から野菜を積んで、浜松市と名古屋市の市場に向かっている時でした。足柄山のあたりを走行していた時のことでした。その辺りは道幅もすごく広くなっていました。

　古河市の山三青果の仕事で北陸便以外を頼まれたのは、その時が初めてだったと思います。現地でいきなり名古屋に走ってくれと頼まれたのですが、会社に電話をして了解をとると、この運行から金沢に戻ったら「あがり」にしてくれるよう頼みました。

　あがり、とは帰着した当日に運行に出ないで家に帰らせてもらうことです。帰着した当日にまた荷物を積んで出発することは、着発と呼んでいました。着発のつもりでいても、荷物がなかったり、他の配車の都合で、あがり、になることはありました。

　深夜に名古屋の市場で荷降ろしを終えてからは、知多半島の碧南市でレンガを積んで変える予定になっていたのですが、明るくなる頃には碧南市の近くまで移動したものの、予定の仕事は入らず、小牧市の近くだったと思いますが、アサヒの缶ビールを積み込みました。小松市降ろしです。

　小松市の荷降ろしが普通に翌日のことでしたが、それが運命の事件当日の4月1日のことです。小松市は金沢市の30キロほど手前になりますが、金沢まで戻ると、アパートで寝ても小松市に引き返す時間がかかるので、迷ったのですが、小松市で朝まで寝ることにしました。

　今考えると、小松市は前妻の実家のある加賀市とも近く、それで考え事も多くなったように思うのですが、トラックの中で長時間眠れないことに難儀しました。外が明るくなる前には眠っていたと思いますが、とても長い夜を過ごしたように感じました。

ツイート：motokentw（モトケン）：2016/11/30 18:24： <https://twitter.com/motoken_tw/status/803892348904030210> ： 引用→　 日本の政治家を見てると、憲法のけの字も理解してないような政治家ばっかりだもんな。 <https://t.co/OLvdMI9rwl>

　時刻は19時21分です。私自身が自分で決めたルールですが、タイムリミットが近づいています。モトケンこと矢部善朗弁護士（京都弁護士会）のタイムラインは更新が少なめですが、平常運航という実況です。

　予定通り、朝一番に小松市で荷物を降ろし、午前中に会社に戻りました。当日の夕方、仕事が終わってから会うことは、名古屋への運航が決まりあがりの許可をもらった時点で、電話で安藤文さんに確認をしていました。

　彼女は、やけくそのように開き直った様子で、私が言うことになんでも、はい、はい、と答えていました。

　3月23日の夜の電話のことがなにより大きかったと思いますが、そのきっかけになったのは3月18日か19日の休日前のことで、彼女がまたしても指輪を会社につけてきていたのです。それは銀色の極太形状の指輪で、前回の3月5日とは、違う指につけていました。

　祭日だったように思いますが、当時の静岡県清水市でミールを荷降ろしし、会社の指示で、古河の青果市場に向かいました。神奈川県の県境付近のパーキングエリカから、会社に掛けた電話で、私は思いっきり溜め込んでいた不満を彼女にぶつけたのです。

　予想以上に衝撃を受けたような反応が電話口から伝わり、すぐに電話を切られてしましました。すぐに電話をかけ直すと次に出たのは、被告訴人松平日出男で、いきなり「お前、アヤちゃんのこと好きなんか。あの娘彼氏おるんしゃし、あきらめや」などと言い出したのです。

　その前、私がミールを積んで徳島県の小松島市に向けて出発するときは、安藤文さんが退社をするときに、「アヤちゃん、今から例の彼氏とどっか行くんか？」と声を掛け、彼女が無言で足早に帰った直後に、被告訴人池田宏美が、わざとらしく「あの娘、彼氏なんかおらんよ」と声を掛けました。

　被告訴人松平日出男は、意味ありげに、「わしゃぁ、いい男紹介したんや」などと得意そうな態度で話していました。これは2月18日のことであったように思います。

　翌日に徳島でミールを落としてからは、翌日に、いよかんを積む予定で、愛媛県の松山市に向かいました。そして予定通り、上組の営業所か支店の仕事でいよかんを積み込んだのですが、翌々日降ろしの、新潟県内の2箇所卸でした。

　被告訴人東渡好信らに被告訴人安田敏を同行させるように説得されながら、被告訴人多田敏明を同行させて、新潟に向かったこと、その時に被告訴人安田繁克と安藤文さんの父親の関係など、ありもしないはずの話を吹きこまれたことは、7月の告訴状で書いたように思います。

　さきほど1月25日の夕方のことを書きましたが、その時は17時5分ほど前という時間帯でありながら、外はまだ普通に明るかったという記憶が残っています。

　他に安藤文さんの退社時の思い出の場面というのは、どれもすっかり夜のように暗くなった状況でした。

　どうにも時期が特定できないと書いたのは、安藤文さんが退社するとき、会社前の自分の軽四のドアを大きな音を立てて開け閉めし、休憩室にいた私に出てこいと言わんばかりの要求を、態度で示したことです。

　同じような状況は2回あったようにも思いますが、一度は、被告訴人安田敏、一度は、山下強、が芝居見物をするように、その場で見ていて、彼女が諦めて帰った直後に、席を立って帰っていったことです。

　1月の21日以前には3回、彼女の退社時に直接、裏駐車場で声を掛けており、直前になって警戒心を強め気の強い態度になった安藤文さんも、一度は表情をゆるめはにかんだ声で、「私の車で話そう」と言ってくれたのです。

　私は反射的に、「トラックでいい」と言ってしまったところ、彼女はまたすぐに不機嫌になりました。

　3月23日の4月1日の事件に直結している流れがあります。「今じゃそんな問題でない」と東名高速のパーキングからの電話で答えたところ、被告訴人松平日出男はすぐに、運航から戻ったら話をしよう、話を聞くなどと、用意していたようなことを言い出しました。

　その運行から戻り会社に出たのが3月23日でした。月曜日のことです。被告訴人松平日出男は被告訴人竹沢俊寿から払い下げてもらったようなベンツの助手席に私を乗せ、パチンコオメガ駅西店の駐車場に車をとめて、私の話を聞きました。

　細かいことは現在思い出せませんが、「お前とあの娘にそんなやり取りがあったんか？　などと、一定の理解を示したようなことをいい、また、車を走らせると、会社にも近い、金石街道沿いの喫茶店、フランディというような名前の店に入りました。

　被告訴人松平日出男から事前の説明はなかったように思いますが、席についてすぐだったと思いますが、安藤文さんが店の中に入ってきて、テーブルの向かいの席に座りました。紺色だったと思いますが、普段とは違う正装に近いような服装をしていました。

　彼女はほとんど言葉を発することもなく慎重な面持ちでした。被告訴人松平日出男が、「アヤちゃんも男その気にさせたんやし、付き合うか付き合わんのかはっきりせんと、ふたまた、みまた掛けとるように思われるぞ。」などと言い出しました。

　男女関係の機微にはかなり疎いほうだと自分で思っていた私も、これは挑発的で、尋常ではない言動だと思いました。さらに被告訴人松平日出男は、「お前ら付きあおうが、セックスしようが勝手や。会社関係ないぞ。」と言って締めくくったのです。

　被告訴人松平日出男は、私と安藤文さん、それに被告訴人池田宏美の4人が2階の事務所にいる場で、昼食をおごってやると言い出し、出前をとったことも3回ほどありました。安藤文さんらの注文の価格帯に合わせ、私が注文したのは、普段食べることのない、いなりうどんでした。

　当時は27歳で仕事での運動量も大きかったためと思いますが、食事量も多く普通の定食でもまったく物足りず、定食に麺類などを普通に食べていました。うどん一杯おごってもらっても、時間の無駄で腹の足しにもならないと当時は考えていました。

　安藤文さんは恥ずかしそうに、ありがたそうにうどんを食べていました。とにかく他にみることのないぐらい、律儀で慎み深いと感じるのも彼女の人柄でしたが、とても頑固で気が強いと思える一面もありました。涙ぐむか弱い一面を見せることもありました。

　喫茶店で別れた後に、会社にいる彼女に掛けた電話であったような気もしますが、夜に私の自宅アパートに電話を掛けてくれるように頼みました。このとこも彼女は事務的に感情を消した態度で、承知した旨の返事をしていたと思います。

　私が彼女に電話を掛けさせるときは、これで関係を終わりにさせようという思いもありました。彼女もそれを感じていたと思いますが、私は彼女に対する不信感がペースにありました。

　事実上その気にさせといて、交際を断る彼女の神経に、疑問と深手の傷を負っていたからです。それに輪をかけて、思い込みなどと私を責め立て、借金の保証人のことでも非常識な振る舞いをしていたのが、被告訴人安田敏でした。

　会社からの連絡を遮るために、自宅の電話の線を抜いているとも聞かされましたが、それも紹介者である私に責任があるような物言いを遠まわしにしていたのが、被告訴人松平日出男や被告訴人東渡好信でした。輪島の浜上さんもそれに近いことがありました。

　平成4年の事件の刑事裁判では、検察の主張として何度も交際を断られながら執拗に迫っていたように言われていましたが、11月25日の電話でも交際を申し込むようなことはなく、それは事件当日まで続きました。

　3月23日の夜は、ほぼ予定の時間に電話が掛かってきたように思います。少し時間が遅れて掛かってきたような記憶があるのは10月5日の電話ですが、そのように電話を彼女に掛けてもらったのは、10月5日、3月5日、3月23日の3回だけだと思います。

　3月23日の夜、電話をかけてきた彼女は、それまでの感情を押し殺したような態度とは一変し、いきなり喧嘩腰のような態度でした。私もつられて頭に血がのぼり、すぐに電話を切ったのもこのときの電話だったように思います。

　3月5日の夜の電話の内容が思い出せなくなっているのですが、私がどこから電話をかけているという質問に、久安からと彼女が答えたのは、やはりこの3月23日の夜の電話だったと思います。

　頭に血がのぼって電話を切ってしまった私は、彼女が久安にいて、自宅には不在だと思い込んだ状態で、電話に出た両親のどちらかに意見をいって戒めてもらおうという一心で、彼女の自宅に電話を掛けました。

　するとすぐに電話に出たのは彼女本人でした。久安というのは金沢市内の地名で、現在は野々市市となっている当時の石川郡野々市町にも近い場所でしたが、彼女の自宅とは車でも、最低5分以上はかかる距離だと思っていましたし、信号機も多かったはずです。

　電話を切る前の会話だったように思いますが、彼女は、「私、広野さんに私の気持ち伝わっているばかりやと思っておった。」と言いました。この時も私は反射的に、「なんやそれ」と受け答えをしてしまったのです。

　わざとらしいようにも思いましたが、彼女はさらに起った様子で、「付き合う気持ちないこと」と言ったのですが、その言葉もストレートに私の心に突き刺さり、感情にまかせた応酬をしてしまったのです。

　かけ直した電話だったと思いますが、「はっきり言っておくけど、俺はお前のために、子どもも捨てたようなもんやな。正直、未練はあったわい。」と申し向けました。すると彼女は、それまでの態度を一変させ、ずっと鳴き続けたのです。

　傷つけることを平気で言い出す彼女からは、とにかく逃げ出したいという気持ちもありました。彼女のことを得体の知らない不気味な存在とし、自分の状況認識にも大きな不安を与えていたのが、被告訴人多田敏明と被告訴人安田繁克の言動でした。

　被告訴人安田繁克は2月1日の夜に会って話した時、彼は人間不信に陥ったという、当時は聞き慣れていなかった言葉を口にしました。

　自分自身の自信のなさもあって、安藤文さんを信じきれなかったことが、本来の大後悔の反省点なのだと思いますが、そういうことを消し飛ばしてストーカー扱いにしてくれたのも、木梨松嗣弁護士が主導した刑事裁判でした。今回はあえて、控訴審判決の判決書にも触れません。

　時刻は21時10分となっています。残り3時間を切りました。12月になる前の本日中に仕上げるのは、本文部分のみで、被告訴人を列記した表紙部分は、明日にでも作成する予定です。プリンターもずいぶん長く使っていないので、ちゃんと印刷できるかやってみないとわかりません。

　まず、本告訴状で追加をする被告訴人は、次の者となります。

　被告訴人竹沢俊寿、被告訴人東渡好信、被告訴人多田敏明、被告訴人安田繁克、被告訴人安田敏、被告訴人池田宏美、被告訴人梅野博之、被告訴人松平日出男、被告訴人浜口卓也、被告訴人大網健二、以上の数えて10名になります。

　今回、被告訴人とすることを見送ったのは、被告訴人大網健二の兄被告訴人OSNと、宇出津の酒垂という町内に実家のある被告訴人KYNです。名前も伏せておきます。

　殺人未遂罪の容疑は非親告罪であり、告訴が必要要件でないことも前提にしております。いずれも関与がうかがえるもので、被告訴人KYNの関与は、長期間にも渡り影響も大きな役割となっています。

　被告訴人KYNは、被告訴人大網健二と被告訴人OSNの兄弟に利用されたという可能性もありますが、平成3年12月頃の時点からある程度の事情を知って、積極的に関わっていた可能性も否定できず、踏み込んだ捜査が真相の鶏鳴に不可欠な存在です。

　私がもっとも気にかけているのは、録音した音声ファイルを提出した平成15年1月の、金沢市内神田の事務所での会話で、別れ際に姫のNKさんのことを持ちだしたことです。

　姫のNKさんのことも知る限りのことを書面に認め提出してきましたが、被告訴人大網健二との付き合いも深く、宇出津の河村さんとともに、被告訴人松平日出男が金沢市場輸送に来た直後に、持ち込みで市内配達の仕事をするようになった人物であります。

　私の記憶では昭和63年の8月の終わりか9月の初めに、被告訴人松平日出男は金沢市場輸送の事務所で顔を見せるようになり、市内配達の新たな責任者だという話を聞いていました。

　前任者の高田という顔は今でもすごくよく憶えている人物が、富山の右翼団体が押しかけてくるような問題も抱えたまま、とんずらで行方をくらまし、被告訴人梅野博之が暫定的な責任者あるいは指揮者のような立場になっていました。

　11月8日だったと思いますが、御庁の検察官から7月の告訴状を受理する旨の報告を受けた時、実際により重要なのは、安藤文さんを被害者とした殺人未遂の告発だとお話をしました。殺人未遂が非親告罪で、告訴告発を必要としないことも、その時にお話しましたが、当たり前の法律の話です。

　4月1日の事件で、金沢西警察署出頭前に安藤文さんが意識を失っていれば、無理心中かも知れない自殺をしていた可能性の高いことは、既に指摘したようにも思いますが、たらればの、抽象的な危険でもあります。それが法律論で、議論の分かれるものであることも、ずっと前に承知しています。

　より具体的な死亡の危険が発生したのは、被害者という犯行の客体が安藤文さんの殺人未遂であり、殺人の結果の発生を認容して行動したといういわゆる未必の故意では、比較的弱い殺意の認定ということにもなりそうですが、その手段と動機は、過去の前例もなく厳しい非難に値するものと思料します。

　平成4年4月1日という結果発生の事件であり、改正刑事訴訟法適用前の15年の公訴時効が問題になる案件と考えますが、改正前の法律でも国外生活の期間は参入しないものとなっていました。

　彼らは犯罪共同体の利益として、幇助犯である弁護士、裁判官らの有効な法律行為を利用し、不正な利益を得ていたことになり、遡って無効とされるべき法律行為であって、正当な法律行為の適用を不正に免れていたということになります。当然に公訴時効の利益を受けるべきものではありません。

　被告訴人らの処罰は、一律懲役25年を基準にして頂きたいと考えております。平成4年から25年近い歳月が経過しており、私の母親も余生を台無しにされ、病院で死界へのお迎えを待つだけのような状態となっております。

　安藤文さんの父親も昭和11年12月25日の生まれであって、まもなく80歳を向かえるはずです。既に日本人男性の平均寿命は超えているはずで、私はその生死すら確認できない状況であります。

　女性の方が平均寿命も長いはずですが、母親の安藤紀世さんも、安藤文さんの父親である安藤健次郎さんの生年と、近いものであったように供述調書の見た記憶が残っています。安藤紀世さんの供述調書は、公開することも考えてきましたが、まだ探すという行動もやっていません。

　共謀共同正犯としての今回11月の告訴状は一律懲役25年という量刑意見を提示しましたが、7月の告訴状での6名の弁護士、元裁判官の幇助犯の量刑意見は、一律無期懲役にしたと明確に記憶しています。

　従犯の刑が正犯を上回ることは、法律的にもないこととされているようにも考えますが、殺人未遂の量刑の範囲が殺人罪より軽くすべしという強行法規は探しだしたことがなく、死刑を一つ減じた量刑というのは、事案の悪質さから至極妥当なものだと考えます。

　懲役25年というのも有期刑であり、服役と同時に満期日も決まるはずです。仮釈放という制度もありますし、安藤文さんの家族がどう考えるかは全く別の話ですが、生きて娑婆に戻る可能性は残すものであり、無期懲役は完全なる娑婆終いを求める意思表示です。

　被告訴人大網健二は、木梨松嗣弁護士とのつながりが重視される関与となっていますが、平成3年12月の時点において、事実を知悉していた可能性も相当高いものとご指摘しておきます。

　それは安藤文さんの不可解な言動について相談をしていたおりも、不可解で異常だという認識をなんら示すことがなかったからです。そこには私の状況認識に対する疑問も感じるものではなく、全て折り込み済みの認識で、体面を繕っていたことをうかがわせるものです。

　平成9年から平成11年の被告訴人大網健二と被告訴人KYN、そして被告訴人OSNの言動は、膨大な事実を記録として、御庁に提出してあるはずです。とにかく私は手当たりしだいの事実を機械的に記録しました。日々の時間単位としての言動の記録です。

　私が憶えていることもあれば、忘れていることもあるでしょう。記録の必要を考えたのは、自分が危機的状況におかれていることを認識していたからです。

　平成11年お2月、いや1月の20日頃であったか、西金沢駅前の小料理屋一水において、被告訴人OSNは私に再審請求などの活動をやめるように説得し、座敷に移動するときに、「いうこときかんやつは殺してしまえ、ころしてしまえがいい」と口にしていました。

　普通にはそれほど意味のある発言とは思われないかもしれませんが、私が福井刑務所に服役中には、被告訴人OSNが社長をする会社の19歳の社員が二人絞殺されるという殺人事件がありました。美川二少年殺人事件とも呼ばれた事件です。その犯人は被告訴人大網健二兄弟の父親でした。

　図書館の過去の新聞で調べたところ、逮捕前に父親は、被害者の家の縁の下にもぐって火付けをしていた放火未遂の事件があったこともしりました。詳しいことは記憶も新しい段階で、知る限りのことを繰り返し重畳的に正面に記載して提出しております。

　美川での殺人事件と近い時期に、安藤文さんの民事訴訟の訴訟代理人になった被告訴人長谷川紘之弁護士の自宅に強盗が入るという事件もありました。これは7月の告訴状でも一通りのことを書いたと思います。

　実際の関連性を一般人である私が、ドラマの主人公のように解明、解決することも出来ませんが、司法最大の不祥事とも評価された被告訴人古川龍一裁判官の妻のストーカー事件なども、一連の事件の関係性として洗い出す必要性があるものと考えます。

　そういえば予定していたことをまだ書いていないことに気が付きました。時刻は22時49分です。

　珠洲市鵜飼の目医者の忘れることのない思い出は、診察室での年配の女の先生と年配の男性の患者との会話でした。女の先生は、治療を受けないと失明するので船には乗るなと、それは真剣になって説得をしていました。それだけ声も大きくなっていたのだと思います。

　説得を受けていた患者の人は遠洋漁船の乗組員で、それも責任のある立場の人とという感じでした。病状はわかりませんでしたが、片目の失明ではないような話でした。

　船に乗るとずっと言っていた人物が、どこのだれだったのか、その後どうなったのかもわかりませんが、静かに運命を受け容れ覚悟を決めた意思のようなものが、強く伝わる一幕でした。

　鵜飼の川では、釣りをして小さなカレイを釣った記憶も残っています。他で釣ったことのない魚だったので、とても不思議な生物にみえて珍しかったことも憶えています。

　ずっと前からたびたび思い出して考えることのある過去の思い出でしたが、それがテレビで見た宇宙戦艦ヤマトの沖田艦長の最後の場面に重なって見えることがありました。

　同時に思い出すことが多かったのは、被告訴人大網健二と結婚したOMちゃんの父親の姿です。昭和63年の8月のお盆休みの時、だったと思うのですが、昼に前山のOMちゃんの実家に行きました。

　初めて見たOMちゃんの父親は、痩せて小柄な体型で健康状態も良さそうには見えませんでした。ステテコ姿のような格好であったような記憶もありますが、なにか覚悟を決めたような感じで、真剣に被告訴人大網健二に何かの相談をしていました。

　その前後に被告訴人大網健二から聞いた話だったと思いますが、OMちゃんの父親は小木港の漁船の日本海に乗船していると聞きました。その後、父親の話を聞くこともなかったので、何もわかりませんが、切迫した状況のようなものは伝わるものでした。

　もう一つ気になって忘れることがないのは、平成9年の春頃だったようにも思いますが、宇出津に来ていた被告訴人大網健二が、前日に私に午前中の時間を指示し、OMちゃんの実家に電話を掛けさせたことです。

　携帯電話を普段使っていたはずなので、どんな意図があるのかと怪訝に思っていたのですが、指示通りに電話を掛けて、電話口に出たのはOMちゃんの母親でした。

　その時の電話の対応が、冷ややかで私に対する恨みすら感じさせるものでした。昭和63年に家に行った時は、とても優しくおだやかな母親という印象が強かっただけに、考えさせられるところも大きかったですが、その後の被告訴人大網健二は首尾よく行ったように満足そうな態度でした。

　OMちゃんのことは、彼女がまだ中学生だった昭和57年ぐらいから友達の家などで間接的な付き合いがありました。いつもニコニコしていて、天真爛漫であったという印象が強く残っています。

　崎山は、崎山台地とも呼ばれ、私が小学生ころになった頃に宅地造成が始まった新興住宅地です。小さい頃の記憶には一面が畑や野花であったことも、一面の情景として記憶に残っています。

　崎山は能登町崎山となっているはずですが、1丁目から4丁目まであって各町内が宇出津のあばれ祭りにも参加しています。一時期急速かつ集中的に住宅が建設された住宅地です。

　OMちゃんの家族ももとは田町に家があったと聞いた覚えがあります。宇出津に田町という町内はないのですが、昔から宇出津小学校の近くでもある立町と横町をあわせて田町と読んでいて、その上の方には上田町というちゃんとした町内もあります。

　うえだまち、と読んでしまいそうな漢字ですが、かみたまち、です。上田町のトンネルの向こう側が、私が昭和50年の4月の初めまで、物心ついた頃から住んでいた辺田の浜です。正式な住所は能登町藤波です。

　時刻は23時35分です。残り30分を切っています。この自分が決めたルールはしっかり守りたいと思っています。

　事実関係については、これまで何度も繰り返し記述してきたことばかりなので、記憶が新しい時期のものが正確な事実で、そちらを優先して頂きたいと思います。

　何度も繰り返すことの無意味さと、弁護士脳に反復継続して記憶を強化したとか、過去の書面の焼き直しと指摘されることの無意味さも、先走って考えてしまいます。

　集中してどれだけのことを思い出し、記述できるかということも今回、一つの試みとしてやってみました。なんの資料も必要なく、ぶっつけ本番で受け答えできる事実や説明ばかりです。

　日弁連の公式発表では、刑事弁護において黙秘権こそが尊重されるべきと、あきれた主張も見受けられますが、いんちきくさい駆け引きなど、私には一切不要です。やはり記憶の劣化があることも思い知りましたが、年月の長さから思ったよりは軽いという感触もありました。

　過去の資料を読み込むか、適切なヒントを与えられれば、思い出せることも多そうです。

　この書面は、2016年11月の告訴状と呼ぶことに致します。このあとのことは、しばらく様子を見ながら考えて、2016年12月の告訴補充書などとすることもあるかもしれません。

　御庁が11月8日に受理する旨の連絡をくれなかったならば、弁護士らの無視、放置の思惑通りに、社会を信頼して立ち向かうこともできなかったかもしれません。

　さらばシベリア鉄道という曲には、「伝えておくれ　12月の旅人よ」という歌詞もあるので、年末の12月は過去のことを振り返り、今後のことを考える機会にしたいと考えています。

2016-12-01　木曜日　11：07　＜＜ ［［　←これまでの記述範囲の終了時刻］］＜＜

2016-12-01　木曜日　11：18　＞＞ ［［　←これからの記述範囲の開始時刻］］＞＞ 追記：次のSNSアカウントにおいて随時、最新情報を更新致します。不明の点などいつでも電話連絡して下さい。 殺人未遂事件を隠蔽した弁護士、元裁判官を刑事告訴／金沢地方検察庁御中 <https://www.facebook.com/kanazawa2016/> 告発-金沢地方検察庁御中ツイッター(@kkhirono)さん | Twitter <https://twitter.com/kk_hirono> 2016-12-01　木曜日　11：24　＜＜ ［［　←これまでの記述範囲の終了時刻］］＜＜

2016-12-01　木曜日　11：40　＞＞ ［［　←これからの記述範囲の開始時刻］］＞＞ 追記；平成4年3月23日の電話で、思い出したこと。 　確認はしていないのですが、不十分なことを書いた気がしたので、念の為、その部分の事実を書き直しします。やはり抜けがあったと思います。 　「好きな人おるって、つきあっとるってことと一緒やろ。」 　「被害者安藤文さんが、好きな人がいる、と言っている好きな人、とは私のことではないですか？」という趣旨のことは、平成4年6月30日の公判において証言しており、それに近いことは公判記録にも記載があったかもしれません。 　深澤諭史弁護士@fukazawasのような安易にストーカーと思い込み、決めつける弁護士、ストーカー犯罪とはかくいうものと短絡思考でツイートするで、必要な審理を尽くさなかった責任の追求もよろしくお願いします。 　さきほど目についた深澤諭史弁護士のリツイートの内容も、弁護士思考の社会的危険性を強く感じさせるものです。 リツイート：fukazawas（深澤諭史）＞2016/12/01 09:55／2016/12/01 09:55＞ <https://twitter.com/fukazawas/status/804126792080445440> ＞ harrier0516osk （向原総合法律事務所　弁護士向原）＞ <https://twitter.com/harrier0516osk/status/804126682567163904> ＞ 引用＞　 @take\_\_five 弁護士が扱う仕事は、聴く側はさほど重大だと思っておらず、話だけ聞けば自分でやれると思っているのかな？と感じることが多いですが、そういう人が抱えてる案件ほど実は厄介であるうえ、そういう人は知らず知らずのうちに他にも問題抱えてることが多い気がします。 2016-12-01　木曜日　11：59　＜＜ ［［　←これまでの記述範囲の終了時刻］］＜＜

2016-12-01　木曜日　12：06　＞＞ ［［　←これからの記述範囲の開始時刻］］＞＞ 追記：「私の気持ち変わらんし」という被害者安藤文さんの言葉 　これも追記をしておきたいと思います。大型トラック3068号の助手席に同乗してもらい、どちらも感情的になって喧嘩別れのようになったとき、トラックから降りる直前に安藤文さんが残した言葉です。 　2回とも全く同じ言葉でしたが、一度目は12月21日。時間は11時頃だったかもしれません。彼女は仕事中で年末のとても仕事の忙しい状態でした。過去の書面には詳しく書いてあるはずですが、走行コースも結構な距離で、時間も30分は一緒にいたと思います。 　自宅の電話に出なくなった理由を、「寝とったんじゃないか。私最近早く寝るし」などと言っていたことは7月の告訴状でも書いたと思います。 　2回目は1月21日の走行です。会社の裏駐車場を出て、北陸自動車道の金沢東インターまで行き、そこから高速に乗って次の金沢西インターで降りて会社に戻りました。道路はがらがらだったと記憶にありますが、スピードは抑えめでした。 　12月21日の走行より、距離数は倍近く長かったように思いますが、実際の時間としては30分もあったのかな、という感覚です。 　3月23日の夜の電話でも、何度も繰り返し、「諦めるし、ほんでいいやろ」と確認をとろうとしましたが、彼女はずっと返事をしませんでした。一時、母親が電話に変わり、一言、「いつまで話しとるが」と言ったことなど、過去の書面に何度も書いてきたはずです。 　このような彼女の気持ちを理解しようとはせず、安藤文さんの生命に危機を招く侵害を加えた被告訴人市場急配センター関係者の便宜を図り、事実を歪めて不当な判決を確定させました。その原因菌もまた手前勝手な理屈を押し通す弁護士脳であると考えます。 2016-12-01　木曜日　12：29　＜＜ ［［　←これまでの記述範囲の終了時刻］］＜＜

2016-12-01　木曜日　12：29　＞＞ ［［　←これからの記述範囲の開始時刻］］＞＞ 追記；平成3年9月12日水曜日、被害者安藤文さんのフィルム貼りの手伝いを見ていた被告訴人竹沢俊寿 　これは、昨夜、記述の作業をやりながら何度か思い出していたのですが、結局書き忘れてしまったので、補足しておきたいと思います。 　9月のフィルム貼りのことも、過去の書面には繰り返し詳細を書いてきたと思いますが、7月の告訴状ではさほど触れなかったような気もします。 　私自身、4月1日の事件直前の被害者安藤文さんの意思表示こそ重要とも考えていたのですが、当初はとても良かった関係が、いきなり悪くなって更に関係が悪化していくというのも世の常だからです。 　しかし、本件告訴事件においては、事件当日の詳細を今回は書かなかったものの、被害者安藤文さんの意思は、私の認識と一致して、平成3年8月から一貫したものです。 　9月12日と特定したのは、9月中頃の水曜日が金沢中央卸売市場の臨時休市だったからです。新しい試みとして休日を増やしたものだと聞きました。そういう話を聞いたのも初めてのことだったので、よけいに記憶に残っています。 　市場急配センターは金沢中央卸売市場の仕事がほとんどだったので、休市になると日曜日と変わらない状態で、会社には人の出入りもほとんどなかったのですが、事務員の安藤文さんと被告訴人池田宏美の二人は、普通に出勤をしていました。 　その数日前に、大倉さんという被告訴人松平日出男の友達で4t車の持ち込み運転手が、そのトラックで、会社前に駐車していた安藤文さんの車にぶつけるということがありました。事故の程度は忘れましたが後部のガラスが崩れ落ちていたかもしれません。 　安藤文さんの車は軽四でホンダトゥディという車種でしたが2ドアで、左右のドアの後ろに小さいガラスがありました。そのガラスにスモークのフィルムが貼ってあったのです。 　数人でぶつけられた彼女の車を見ているとき、たまたま彼女が横にいて、フィルムのことが気になったので、「自分で貼ったん？」などと一言掛けたのです。彼女は「友達と」と答えたように思います。 　時刻は13時03分です。今テレビに元横綱武蔵丸が出てきました。巨漢ということもありますがすごく個性的で印象の強い人物です。しかし、今テレビで見るまで、完全に記憶から消えていたことに気が付きました。1,2年前にはテレビで姿を見たような気はします。 　武蔵丸は同じく横綱だった貴乃花と同じ横綱時代で、刑務所でよく大相撲を見ていました。今も同じか施設によって違いがあるのかわかりませんが、17時半ぐらいから18時の直前まで、大相撲はすべての場所、テレビ視聴ができていました。 　9月12日の水曜日は、朝一番に前日東京から積んできたバナナを荷降ろししました。積み荷というのは卸先の営業開始と同時に降ろすのが基本です。中央市場の裏側で道路を挟んだ向かい側にあるバナナセンターで荷降ろしをしました。 　すぐ近くですが、会社に戻ると被告訴人松平日出男が、午後に梨の集荷に行ってほしいと指示を出しました。館山という地名だったと思いますが、金沢市内のはずれの山間部で、そこから梨を運んでくる仕事は、他にも数回やったことがありました。 　梨の集荷は午後でも遅めの時間だったように思います。午後4時からだったかもしれません。午前中はまるまるの空き時間ができました。一度アパートに帰って、また会社に出てくるのも面倒です。 　フィルムは前の休日に、たまたま立ち寄ったホームセンターかオートバックスのようなカー用品店で買ったものを、車に積んでいたのかもしれません。とにかくフィルム貼りを始めたのが早い時間だったことは憶えています。 　現在は宇出津新港にあるホームセンターむさし、も朝9時からの営業になっていますが、平成3年の頃だとホームセンターなどは10時からの営業が当たり前だったような気がします。 　市場急配センターでの事務員の出社時間は朝9時だったと思います。普通は8時とか8時間が多かったので、珍しいように感じていました。 　9時半頃だったと思います事務所の前でフィルム貼りを始めたのは。正面は駐車場になっていました。いわゆる捨てコンのような不要なコンクリートを雑に流しこんだようなコンクリート舗装です。 　その時はちょうど、1階休憩室の工事中でした。工事は10日ぐらいで完成していたと思います。もう少し短かったようにも思いますが、9月の20日頃には出来上がっていました。 　フィルム貼りを始めた頃は、建築の作業をする人の姿も少しあったような気がするのですが、後の方では人の姿があったという記憶がありません。後の方というのは、被告訴人竹沢俊寿が通りかかった時のことです。 　フィルム貼りを初めてまもなく、2階から安藤文さんが降りてきて、無言のまましゃがんで作業の手伝いをしれくれました。ガラスを取り外して地面をおいた状態で作業していましたが、車のガラスは2枚だったはずです。 　その少し先だったように思いますが、被告訴人多田敏明と山下強の二人が、同じようにしゃがんで手伝いをしていました。ヘラで空気を抜くような作業だったと思います。全体的にけっこう長い時間が掛かったように思いますが、全部で1時間程度かもしれません。 　彼女がいきなり手伝いを始めてくれたことも信じられない驚きでしたが、私の向かいの方で手伝いをしていた被告訴人多田敏明と山下強も、瞬間のけぞるような反応で驚いていました。 　その頃は被告訴人多田敏明とも直接言葉を交わすようなことは少なかったと思いますし、山下強とも似たような関係でした。のんびりした雰囲気で、ちょっとうきうき気分にも見えていたので、気まぐれで手伝ってくれたのかと思いました。 　二人はこれから4トンウィング車で、大阪府の高槻市の市場に馬鈴薯を降ろしに行くと話していました。気分転換の遠出で、それが遠足に出かけるような気分になっていたのだと思います。 　二人は、まもなく出発していきました。その場で手伝ってくれていたのも全部で5分程度の時間だったように思います。 　私の記憶では、彼女がフィルム貼りを手伝ってくれたのは2回に分かれます。私も何をしていたのか思い出せませんが、途中にけっこう長い中断時間があったように思います。当時のフィルム貼りの工程も、空気を抜いていたことぐらいしか思い出せません。 　まだ山下強と被告訴人多田敏明がいた時だったような気もするのですが、マルモ設備のパンチパーマの整備工の人が通りかかり、一瞬顔を引きつらせるほどのリアクションで心底驚いていました。 　このマルモ設備の整備工のことは、マルモ設備の工場や社長のことと一緒に7月の告訴状に書いたように思います。マルモ設備によく行っていたのは昭和62,3年のことで、その頃にパンチパーマの人の年は28歳と聞いたような記憶もあります。 　いつも短いパンチパーマの髪型でしたがヤクザっぽい感じではなく、生真面目そうな人で落ち着いていたので、私からはかなり年上という印象がありました。私の妻子のこともよく知っていたので、それだけに驚きも大きかったのだと思います。 　まだ昼前の午前中だったように思いますが、あるいは昼過ぎの午後だったかもしれません。周りに誰もいない状況で、一人でフィルム貼りの作業をしていると、またしても安藤文さんが2階から降りてきて、横にしゃがみこみ手伝いをしれくれました。 　黙っているわけにもいかないので、「前なにしとったん？」などと声を掛けましたが、会話の数は多くなく、時間もそんなに長くはなかったと思います。長くても15分程度でしょうか。質問には、県庁で臨時職員をしていたと答えましたが、初耳ではなかったかもしれません。 　偶然ではなかったように思うのですが、その間に、被告訴人竹沢俊寿とカベヤが通りかかりました。カベヤの名前は松岡と聞いていたように思います。本人に向かってカベヤという人もいなかったように思いますが、被告訴人松平日出男がよくカベヤと呼んでいました。 　その前に、先ほどのマルモ設備の整備工についてもう少し書いておきたいと思います。とにかくその時、姿を見たのは数年ぶりだったと思います。マルモ設備に行っていたのはオイル交換がほとんどでした。 　他もちょっとしたトラックの修理に行くことがあったと思いますし、定期点検のようなものもあるいは受けていたかも知れません。 　私は金沢市場輸送で大型車に乗務してから事故というのは一度も起こさなかったので修理というのも、故障や不調のことかと思います。そういう故障での修理でもほとんどは、いすゞや日野自動車の工場に行っていました。 　金沢市場輸送では1万キロの走行でオイル交換をしていました。平均して月に1万5千キロぐらい走行していたと思うので、月に1.5回はオイル交換にマルモ設備に行っていたことになります。 　昨日も書いたと思いますが、金沢市場輸送の事務所は昭和63年の7月に金沢市二口町に移りました。平屋の新築社屋でした。なお、現在、二口町という地名はなく、駅西本町の一部になっているはずです。平成17,18年ぐらいだったと思います。 　ついでに書いておきますと、同じ頃に市場急配センターのホームページで、代表取締役の名前が、被告訴人松平日出男から堂野俊一という名前に変更されていました。今、ホームページを開いて確認すると、「代表者」だけになっていました。 　新しい事務所には経由の給油所が出来ていました。それとは別に何時頃からなのかは記憶にないですが、事務所の裏の方に三角部分の小さな倉庫があって、そこにオイルのドラム缶があったことを憶えています。 　ささいなことで深くは考えてこなかったのですが、そこで容器にオイルを入れて、運転手は自分でオイル交換をするようになったように思います。オイル交換の2回に1回は、エレメントの交換をするように言われ、それも自分でやってきたような気がします。 　それでも二口前の金沢市場輸送の事務所では、たまにマルモ設備の整備工の姿を見ていたように思います。タイミングを狙って呼びだしたとは考えられないことですが、市場急配センターで姿を見たのはその1回だけでした。 　呼びだしたとは考えられないというのは、マルモ設備の工場から市場急配センターまでは、車で10分ぐらいは掛かっていたと思えるからです。 　被告訴人竹沢俊寿も思わずすくむようなリアクションで驚いていました。杖をつきながら歩くのがやっとで歩幅を細かくやや前屈みで歩くようなクセができていたので、実際そのように見えたのだと思います。 　糖尿病で目が悪いともずっと前から聞いていましたが、いつも色の濃い大きなサングラスを掛けていました。以前はメガネを掛けない姿を見ていたのですが、その頃はかなり元気そうで、体調も良さそうでした。 　糖尿病で重度であることは、昭和59年に初めて入社した頃から聞いていました。大酒飲みで体を壊したとも聞き、いちど市場の近くの店で、酒を飲み酒乱になって店に迷惑を掛けたような話も聞いたことがありましたが、その後酒を飲んだ話は聞いていません。 　糖尿病の持病があったことは事実だと思いますが、ことさらに悪く見せたり演技をしていた可能性というのはあると思います。 　過去の書面にも書いていると思いますが、佐賀県の鳥栖インターの近くのトラックステーションのレストランで、夜に金山さんと食事をしていたとき、となりのテーブルにいた日栄運送の運転手が、ずっと前からもうすぐ死ぬ、と言いながら生きていると呆れたように話していました。 　見覚えのない運転手でしたが、被告訴人竹沢俊寿のことをよく知っているように話していたので、金沢市場輸送で運転手をしていたと思われ、それだと昭和59年1月より前ということになります。 　金沢市場輸送では、大きな黒板に運転手の名前と運行状況を表にして書いていたので、運転手の名前はすぐわかり、特に昭和59年の頃は、4t車のほうが多かったぐらいで、大型車の運転手の数は二人の6ｔ車をあわせ10人もいなかったと思います。 　それでもめっきりと体調が悪そうに見えるようになったのは、平成3年秋頃かと思います。そう言えば6月に金沢市場輸送をやめるとき、金沢市場輸送の会長室で話をしましたが、その時の記憶は元気そうでした。体調のむらは大きかったのだと思います。姿を見る回数も減っていきました。 　昭和63年頃のことと思いますが、金沢市場輸送の運転手の武田さんが、普段いい話はしていなかった被告訴人竹沢俊寿に、赤いちゃんちゃんこをおくると話していました。その時に初めて知ったのだと思いますが、還暦祝いの風習とのことでした。 　調べて確認はしていないですが、還暦というのは60歳のことだったと思います。昭和の時代の60歳と現在の60歳は10歳以上の違いがあって、今の年寄りは本当に元気な人が多いです。これは時代を実際に生きてきた人ではないと理解が難しい感覚のようにも思います。 　そういうことを差し引いても平成3年当時の被告訴人竹沢俊寿は、60代半ばだったということになりそうなので、それにしてはよぼよぼでやっと生きているように見えました。 　先に通りかかったのは被告訴人竹沢俊寿でした、車で入ってきたのは見ていません。気がつくとすぐ近くにいたのですが、事務所の横の洗車機の前あたりを歩いているのを見たような記憶があります。 　朝、フィルム貼りを始めた頃は、事務所の階段の下に近い場所でした。再開した時は、洗車機に近い場所だったように思いますが、洗車機の前は裏駐車場への通行路になっています。その境近くでしょうか。 　被告訴人竹沢俊寿はずいぶん驚いていましたが、色の濃い大きなサングラスを掛けていたので表情はよくわかりませんでした。言葉を掛けることはなかったですが、神妙そうな面持ちでした。声を掛けることもなく、歩いてきた方向で2階の事務所に上がったのだと思います。 　そのあと被告訴人竹沢俊寿の姿を見たという記憶はないですが、私は2階の事務所には被告訴人池田宏美が一人でいるものだと思っていました。被告訴人松平日出男はいなかったはずです。 　いつ頃から被告訴人松平日出男が紺色のベンツに乗るようになったのかは憶えていませんが、被告訴人松平日出男が会社にいるときは、事務所の前にベンツがとまっていたと思います。車体が前の道路に飛び出しそうになるぐらいで、いつも少し斜めで駐車していたかもしれません。 　被告訴人竹沢俊寿の姿が見えなくなってすぐだったと思います。細かく書けばきりがないものですが、時間差というのも大事かと思いました。被告訴人竹沢俊寿のときは、声も掛けられないのに近づいて来たことに気が付きました。 　次に通りかかったカベヤの時は、掛けられた声で気づいたのがあるいは先であったかもしれません。人それぞれの性格の違いもありますが、カベヤは大きな声で、「お前ら夫婦やったんか？」と言いました。 　安藤文さんが、「そんなん、見えるけ」と答えていましたが、私は下を向いて作業をしていたので、どちらの表情も見ておらず、そのあとの会話というのも現在記憶はありません。 　普通、外来者は事務所の前に車を駐車していました。ただ、カベヤの車というのは見た記憶がなく、カベヤの姿を見るときは決まって被告訴人松平日出男が一緒で、被告訴人松平日出男のベンツに同乗していたものと考えられます。 　カベヤはかなり頻繁に会社に出入りをしていましたし、1月18日の片山津温泉「せきや」での一泊の新年慰安会にも参加をしていました。 　被告訴人松平日出男の友達と聞いていましたが、小さな工務店の社長とも聞いたことがありました。内装工事と聞いたこともあるのですが、カベヤと呼ばれたのもやっている仕事の聞いていたので、壁塗りというなら左官業のことではないかと考えてこともありました。 　私は一度被告訴人多田敏明にも、前にしていた仕事をことを尋ねたことがあるのですが、彼は内装工事をしていたといいながら、急に考えこんだように警戒し、言葉を選び始めたような印象を受けたことがありました。 　変に警戒されてもろくなことがないので、つっこんだ話はしませんでしたが、被告訴人多田敏明が前に働いていたというのは、カベヤの会社ではないかという可能性が頭をよぎりました。 　カベヤの会社の規模や、家や会社がどのあたりにあるのかも聞いたことはありませんでした。 　私は金沢市場輸送をやめる時点で、市場急配センターで仕事をすることなどまったく考えていなかったので、被告訴人松平日出男の友人関係もとりたてて考えたことがなかったのですが、彼は数人の仲間のような人を連れて、毎日のように金沢市場輸送に麻雀に来ていました。 　金沢市場輸送の事務員の退社時間も17時だったように思いますが、その時間に会社にいると、金沢市場輸送の社長になり配車係をしていた被告訴人本恒夫が、待ってましたとばかりに麻雀の用意を始めていました。 　被告訴人本恒夫も今回、被告訴人に名を連ねることを見送りましたが、他との区別のため被告訴人本恒夫としておきます。被告訴人本恒夫のことも過去の書面には必要十分な記述をしており、被告訴人東渡好信との関係など、事件の重要人物です。 　カベヤのことを意識するようになったのも市場急配センターで仕事をするようになってからですが、金沢市場輸送の麻雀のメンバーとしてのカベヤの記憶というのは、現在はっきり思い出せなくなっています。ゼンゴと呼ばれる人物がいたことは、過去の書面に書いてきたはずです。 　たぶんカベヤも被告訴人松平日出男と一緒にたびたび金沢市場輸送に麻雀に来ていたと思うのですが、そうであれば私の妻子のこともよく知っていたはずなのです。 　私は軽四のアルトワークスという車を一台所有しているだけでした、前妻も車の運転をするようになっていたのですが、車が一台だけだったので、しょっちゅう会社に迎えに来てもらっていました。 　金沢市場輸送も基本として、運行のない、あがりの日でも17時までは会社にいることになっていたと思います。17時過ぎに迎えに来てもらうことが多かったのですが、私は平気でずいぶん長い時間、車に前妻を待たせていました。 　車に戻ると前妻がふくれっ面でいることが多かったのですが、当時の私は、まったくおかまいなしでした。ちょうど麻雀をするメンバーが集まりだす時間とも重なっていたはずで、それだけにカベヤが私の妻子のことをよく知っていた可能性は高いと思うのです。 2016-12-01　木曜日　17：30　＜＜ ［［　←これまでの記述範囲の終了時刻］］＜＜

2016-12-04　日曜日　14：30　＞＞ ［［　←これからの記述範囲の開始時刻］］＞＞ 追記：被告訴人らの刑事罰の社会的意義、必要性と告訴の事実の詳細を情報公開する今後の今後の手続きの進め方について GitHubを使った全資料の情報公開と、書面の参考資料という位置づけについて,<https://hirono2016kk.wordpress.com/?p=116> 　上記のブログ記事としてまとめました。 　これから表題部の作成に取り掛かります。 2016-12-04　日曜日　15：40　＜＜ ［［　←これまでの記述範囲の終了時刻］］＜＜

以上